HITACHI

日立配電監視システム（H-NET）
パソコン用中央監視ソフトウェア
Ver. 2.01

Windows®95/98/NT版（ＤＥ－ＳＷ）

操作マニュアル

HN 0002A

使用上の禁止事項

⚠ 注　意

● 警報出力による制御

警報出力を制御には絶対に使用しないでください。
ブザー、ランプ等の警報のための出力で、制御を行うための出力ではありません。

● 「画面のプロパティ」でのフォントサイズ

「画面のプロパティ」でのフォントサイズの設定は「小さいフォント」を指定し、それ以外のサイズは使用しないでください。
画面表示が異常となり、本ソフトが停止することがあります。

● 省電力機能

ディスプレイや電源の省電力機能は解除してください。
本ソフトの動作が停止し、日報や月報のデータが抜けることがあります。

● サスペンドモード

本ソフトの動作中はサスペンドモードへ移行しないでください。
本ソフトの動作が停止し、日報や月報のデータが抜けることがあります。

● 時間に連動して動作するソフトウェア

時間に連動して自動的に動作するソフトウェアは使用しないでください。
本ソフトの動作が停止し、日報や月報のデータが抜けることがあります。

● 時計の変更

本ソフトの起動後にパソコンの内部の時計の日付や時刻等を変更しないでください。
電力量やデマンドの値などに誤差が発生する場合があります。
パソコンの内部の時計の日付や時刻を変更する場合は、本ソフトを終了してから行ってください。
本ソフトの動作中に日付や時刻を変更した場合、ファイルの作成、削除、書き込みに異常が発生することがあります。

● ユニット機種の変更

本ソフトの運用開始後に、「接続」状態で稼働していたユニットの「ユニット機種」の設定を変更しないでください。
それまでに記録した日報・月報データなどが正常に表示できなくなるおそれがあります。「ユニット機種」の設定変更は、運用開始時とユニット増設時にのみ行ってください。
「ユニット機種」の設定内容と、実際に接続しているユニットの機種を合わせて設定してください。
機種が異なる場合は、通信エラーとなったり、データが異常となったりします。

● 定時データ計測の時刻（00分、30分）での処理

日報の自動印刷開始時刻または自動保存開始時刻は、定時データ計測の時刻（00分、30分）を避けて設定してください。
日報や月報のデータが抜けることがあります。
本日の日報（または今月の月報）データを修正する場合、修正操作は毎時 :00、:30 の定時計測処理（または 0:00 の月報更新処理）に重ならない時間帯に行ってください。
データの値が異常となることがあります。

● 本ソフトの終了

日報・月報の作成、デマンド監視、状態監視を行っている場合は、本ソフトを終了しないでください。
計測データの取得、デマンド監視、状態監視等の通信処理も停止します。

ご注意

- 本ソフトウェアの著作権は、（株）日立製作所にあります。
- 本ソフトウェアやマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本ソフトウェアは、コンピュータ１台につき１セット購入が原則となっております。
- 本ソフトウェアの仕様は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本マニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本ソフトウェアとマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任をおいかねますのでご了承ください。
- 製品の内容については万全を期していますが、ご不審な点や誤り、マニュアルの記載もれなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。

MS、Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

Copyright © Hitachi, Ltd. 1997-2000. All rights reserved

安全上のご注意

取付、運転、保守・点検の前に必ずこの操作マニュアルとその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全上の情報そして注意事項のすべてについて習熟してご使用ください。

この操作マニュアルでは、安全注意事項を「注意」として、取り扱い上の補足説明を「補足」として下記のような記号で記載してあります。

記号	意味
⚠ 注　意	本ソフトウェアを操作する上で注意すべき点を示しています。
◆ 補　足 ◆	本ソフトウェアを操作する上で補足する点を示しています。

目次

ページ

1　はじめに ･････････････････････････････････････ 1
1.1　機能概要 ･････････････････････････････････ 1
1.2　表記規則 ･････････････････････････････････ 4
1.3　基本操作 ･････････････････････････････････ 5
1.4　画面構成 ･････････････････････････････････ 10
2　ご使用の前に ･････････････････････････････････ 11
2.1　システム環境 ･････････････････････････････ 11
2.2　システム構成 ･････････････････････････････ 12
2.3　インストール前の準備 ･････････････････････ 13
2.4　ソフトウェアのインストール ･･･････････････ 14
2.5　ソフトウェアの起動 ･･･････････････････････ 16
2.6　ソフトウェアの終了 ･･･････････････････････ 17
2.7　バージョン情報 ･･･････････････････････････ 18
2.8　立ち上げ後の設定 ･････････････････････････ 19
2.9　各画面の注意 ･････････････････････････････ 21
2.10 本ソフトの時間的な動作 ･･･････････････････ 22
3　メニュー ･････････････････････････････････････ 23
3.1　メニューバー ･････････････････････････････ 23
3.2　コマンドボタン ･･･････････････････････････ 25
4　データ ･･･････････････････････････････････････ 26
4.1　計測値 ･･･････････････････････････････････ 26
4.2　デマンド監視 ･････････････････････････････ 29
4.3　トレンドグラフ ･･･････････････････････････ 36
4.4　日報・月報 ･･･････････････････････････････ 44
4.5　警報情報 ･････････････････････････････････ 86
4.6　入出力接点 ･･･････････････････････････････ 95
4.7　上下限超過回数 ･･･････････････････････････ 98
5　設定 ･･･ 101
5.1　ユニット登録 ･････････････････････････････ 101
5.2　監視対象登録 ･････････････････････････････ 118
5.3　ユニット設定 ･････････････････････････････ 125
5.4　オプション ･･･････････････････････････････ 127
6　トラブルシューティング ･･･････････････････････ 131
7　資料 ･･･ 140
7.1　データファイル ･･･････････････････････････ 140

索引 ･･･ 141

1 はじめに

日立配電監視システム「H－NET」は、配電監視ネットワークに接続されるH－NET機器（ユニット）の計測データや状態監視情報をパソコンで収集することにより、省力・省エネのためのデータ分析を容易にするシステムです。

本マニュアルでは、定時データ計測や日報および月報の作成、デマンド監視等を行う中央監視ソフトウェア（以下本ソフトまたはDE－SWと称す）について、その操作方法をご説明いたします。

1.1 機能概要

1.1.1 計測値表示

- 各ユニットから計測データを取得し、リアルタイムデータを表示します。

図 1.1-1　計測値画面の例

1.1.2 デマンド監視

- 指定された一つのユニットで電力量データ（一点のみ）に対しデマンド監視を行います。
- 電力量データを 30 秒ごとに取得し、30 分限時のデマンドデータを予測・表示します。
- 予測デマンドが目標デマンドを超過した場合、あるいは現在デマンドが警報ラインを上回った場合を「異常」と判断し、警報情報データとして記録します。警報出力接点が設定されていた場合には、その出力接点を動作させます。

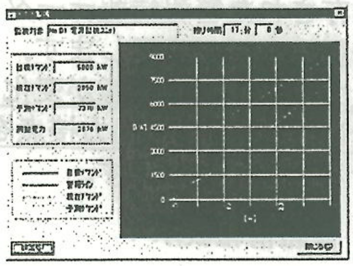


図 1.1-2　デマンド監視画面の例

1.1.3 トレンドグラフ表示

- 定時（毎時 00 分と 30 分）に各ユニットから取得した計測データを、24 時間トレンドグラフとして表示します。
- トレンドグラフとして表示できるのは、本日から前 32 日分です。

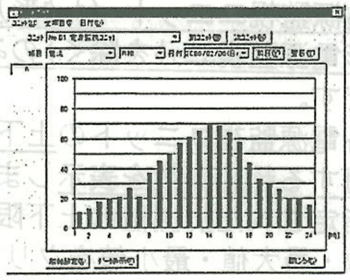


図 1.3-3　トレンドグラフ画面の例

1.1.4 入出力接点

- 電源監視ユニット（ﾒｰﾀ形及び収納形電源監視ﾕﾆｯﾄを除く）のみの機能です。（パルス入力ユニットの入出力接点状態は、「計測値」画面に表示します）
- 各電源監視ユニットの入出力接点の状態を表示します。
- 各電源監視ユニットの出力接点を動作させます。

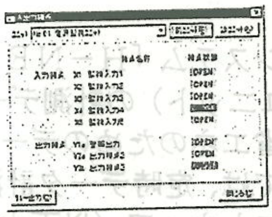


図 1.1-4　入出力接点画面の例

1.1.5 状態監視

- 指定された20台までのユニットの入出力接点データを取得します。開閉状態に変化があった場合を「異常」と判断し、警報情報データとして記録します。
- 保存された警報情報データは「警報情報」画面で表示します。
- 入力接点の開閉状態が変化した場合に、指定された出力接点を動作させることができます。

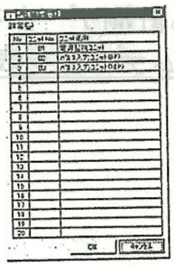


図 1.1-5　監視対象登録画面の例

1.1.6 警報情報表示

- デマンド監視・状態監視などで「異常」と判断されて記録したデータの来歴を表示・印刷します。

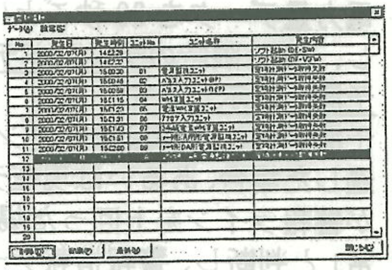


図 1.1-6　警報情報画面の例

1.1.7 上下限超過回数表示

- 電源監視ユニット（ﾒｰﾀ形及び収納形電源監視ﾕﾆｯﾄを除く）のみの機能です。
- 各電源監視ユニットの上下限値に対する超過回数を表示します。
- 指定された計測値の上下限超過回数・最大値・最小値をクリア、または、電力量のカウント値を初期値にリセットします。

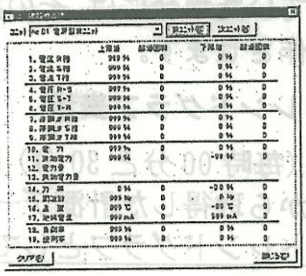


図 1.1-7　上下限超過回数画面の例

1.1.8 日報・月報

- 定時（毎時 00 分と 30 分）に各ユニットから計測データを取得し、ユーザーが設定したフォーマットに従い、日報および月報を作成・表示します。
- 日報及び月報は、プリンタで印刷することができます。
- 日報及び月報のデータは、市販の表計算ソフトなどで読むことが可能なファイル形式で、フロッピーディスク等へ保存することができます。
- 毎日指定した時刻に、指定したページ範囲の前日の日報を、自動的にプリンタで印刷することができます。
- 毎日指定した時刻に、指定したページ範囲の前日の日報データを、自動的にフロッピーディスク等へ保存することができます。
- 日報及び月報は、１ページあたり 24 項目で最大 100 ページまで、表示するデータを設定できます。
- 日報は本日から前 32 日分、月報は当月から前 24 ヶ月分のデータファイルをハードディスクに保存します。それよりも古いデータファイルは自動的に削除します。

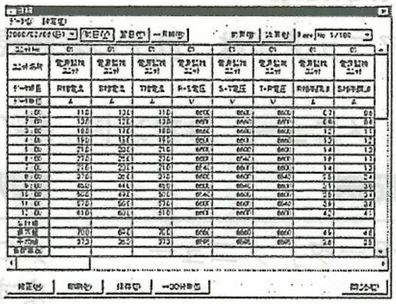


図 1.1-8　日報画面の例

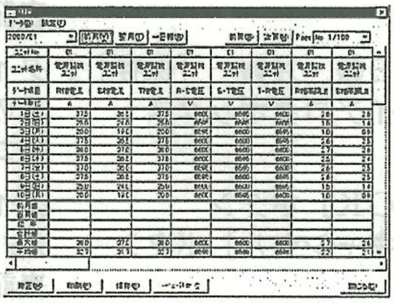


図 1.1-9　月報画面の例

1.1.9 ユニット設定表示

- 電源監視ユニット（ﾒｰﾀ形及び収納形電源監視ﾕﾆｯﾄを除く）のみの機能です。
- 各電源監視ユニットの計測値の比率、定格、警報上・下限値、初期値や、電力量に対する倍率などの設定を表示します。

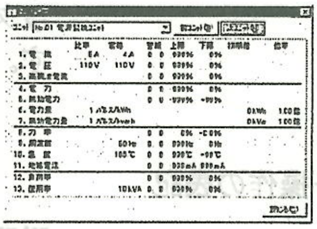


図 1.1-10　ユニット設定画面の例

1.2 表記規則

本マニュアルは、以下の表記規則に基づいて記述されています。

1.2.1 メニュー、コマンド、ダイアログボックスの表記

表記例	説明
[データ] メニュー	メニュー名は、角カッコ（ [] ）で囲んで表記します。
[データ] ー [計測値] コマンド	コマンド名は、そのコマンドが含まれているメニューの名前を付けて、角カッコ（ [] ）で囲んで表記します。
[日報・月報ー [保存]] ダイアログボックス	ダイアログボックス名は、そのダイアログボックスのタイトルバーに表示されている名前を角カッコ（ [] ）で囲んで表記します。
[OK] ボタン [キャンセル] ボタン	ダイアログボックス内のコマンドボタンやツールバーのボタン名は、角カッコ（ [] ）で囲んで表記します。

1.2.2 マウス操作の表記

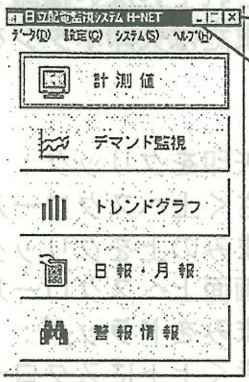
表記例	説明
クリック	マウスのボタン（通常左ボタン）を１回押して離すことです。
ダブルクリック	マウスのボタン（通常左ボタン）を続けて２回すばやく押して離すことです。
ドラッグ	マウスのボタン（通常左ボタン）を押したままマウスを移動し、目的の位置でボタンを離すことです。

1.2.3 キー操作の表記

表記例	説明
[Enter]	キーは角カッコ（ [] ）で囲んで表記します。
[Alt] ＋ [F1]	プラス記号（＋）は、キー操作の組み合わせを表します。例えば [Alt] ＋ [F1] は、 [Alt] キーを押しながら [F1] キーを押すことを示します。
[Alt] 、 [W] 、 [S]	キーが読点（、）で区切られているときは、それぞれのキーを順に押すことを示します。この例では、 [Alt] 、 [W] 、 [S] の各キーを順に押すことを示します。
方向キー	[→] 、 [←] 、 [↑] 、 [↓] キーの総称です。

1.3 基本操作

1.3.1 ウィンドウボタン



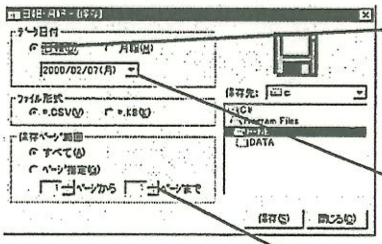
閉じるボタン：
プログラムが終了し、ウィンドウが閉じます。
「キャンセル」＋「閉じる」と同じ意味です。
最小化ボタン：
ウィンドウが最小化され、タスクバーのボタンになります。

1.3.2 ウィンドウの移動

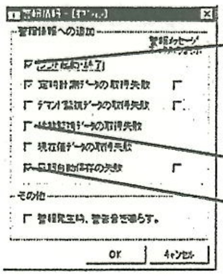
タイトルバーをドラッグします。

タイトルバー

1.3.3 ダイアログボックス



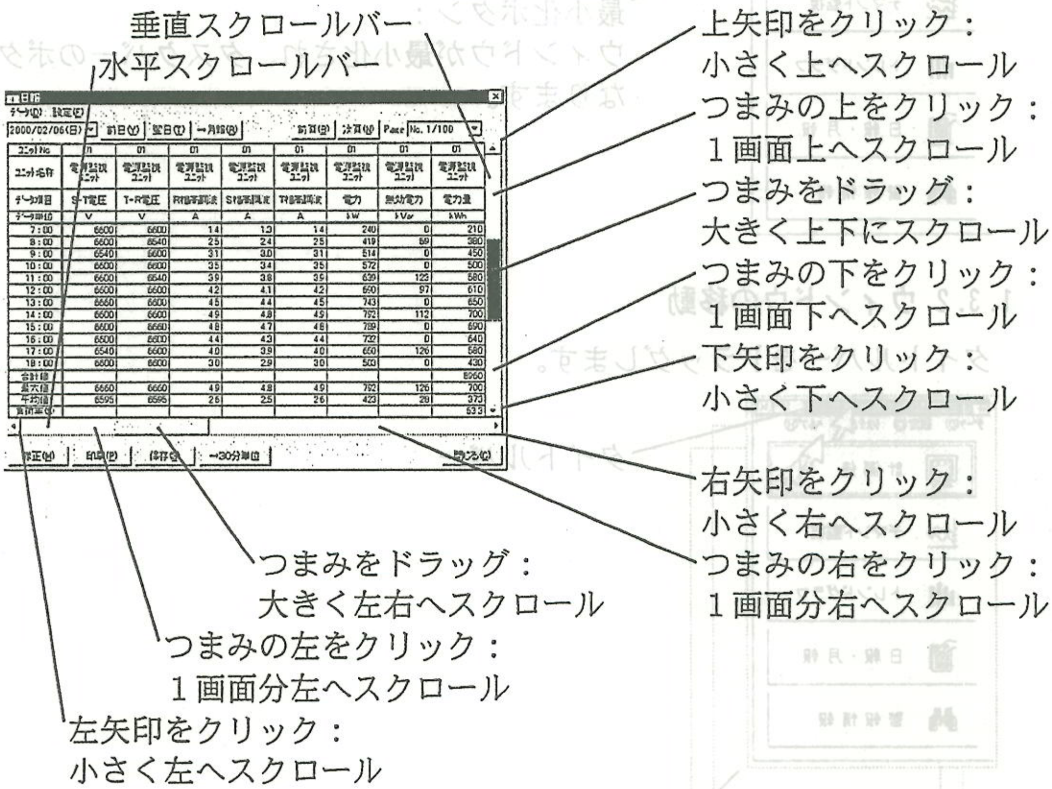
オプションボタン：
オプションを選びます。一度に選択できるオプションは、１つだけです。オプションを選ぶと、円の中に黒い点が表示されます。
矢印ボタン：
選択肢の一覧が表示されます。次に、目的の項目をクリックします。
上下矢印ボタン：
項目の値を１ずつ変えます。



チェックボックス：
オプションを選びます。一度に複数のオプションを選択できます。オプションを選ぶと、チェックボックスの中に印が表示されます。
チェックボックスがオフの状態
チェックボックスがオンの状態

1.3.4 スクロール

ウィンドウの中に情報が入りきらない場合は、ウィンドウの右端や下端にスクロールバーが表示されます。ウィンドウに表示されていない情報を見るには、スクロールバーのつまみをドラッグするか、または矢印ボタンをクリックします。



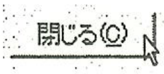
1.3.5 コマンドの選択

コマンドとは、本ソフトに処理を行わせるための命令です。コマンドを選択するには、次のいずれかの操作を行います。

- コマンドボタンでコマンドを選択する。
- メニューからコマンドを選択する。

(1) コマンドボタンの使い方

本ソフトには、作業を行うためのコマンドボタンが用意されています。



(a) マウスでコマンドを選択する

マウスを使ってコマンドを選択するには、コマンドボタンをクリックします。

例えば、画面を閉じるには、［閉じる］ボタンをクリックします。

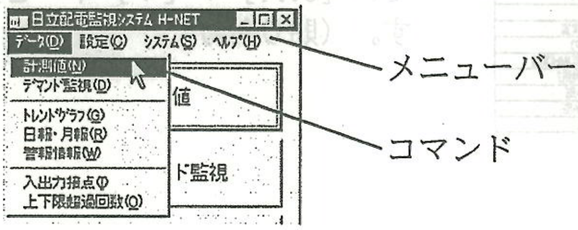
(b) キーボードでコマンドを選択する

キーボードを使ってコマンドを選択するには、［Alt］キーを押しながら、コマンドボタンの下線付きの文字に対応するキーを押します。

例えば、画面を閉じるには、［Alt］キーを押しながら［C］キーを押します。

(2) メニューからのコマンドの選択

コマンドは、グループ化してメニューに収められています。



(a) マウスでコマンドを選択する

マウスを使ってコマンドを選択するには、メニューバーのメニュー名をクリックし、続けてコマンド名をクリックします。コマンドを選択せずにメニューを閉じるには、メニューの外側をクリックします。

例えば、計測値画面を表示するには、メニュー画面から［データ］メニューの［計測値］コマンドをクリックします。

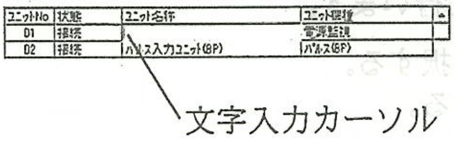
(b) キーボードでコマンドを選択する

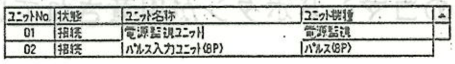
キーボードを使ってコマンドを選択するには、［Alt］キーまたは［F10］キーを押してメニューバーをアクティブにし、メニュー名の後の下線付きの文字に対応するキーを押します。次に、コマンド名の後の下線付きの文字に対応するキーを押します。コマンドを選択せずにメニューを閉じるには、［Esc］キーを押します。

例えば、計測値画面を表示するには、メニュー画面から［Alt］、［D］、［N］キーを順に押します。

1.3.6 文字の入力

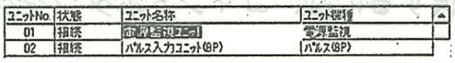
(1) 文字を入力するには





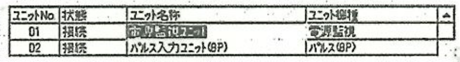
① 文字を入力するボックスまたはセルを１回または２回クリックして文字入力カーソルを表示させます。
② 文字を入力する位置にカーソルを移動します。
③ 文字を入力します。

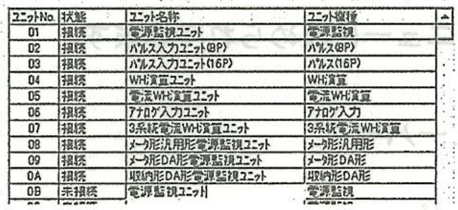
(2) 文字を選択するには



① 選択範囲の開始位置に文字入力カーソルを置き、マウスのボタンを押したまま、選択範囲の終了位置までドラッグし、マウスのボタンを離します。

(3) 文字をコピーするには





① コピーする範囲を選択し、［Ctrl］＋［C］キーを押します。（コピー）
② コピー先に文字入力カーソルを置いて、［Ctrl］＋［V］キーを押します。（貼り付け）

1.3.7 日本語の入力

以下に、「MS-IME95 日本語入力システム」かつ「106 日本語キーボード」の場合の入力方法の例を示します。

詳細は、ご使用のパソコンにインストールされている日本語入力システムの操作マニュアルを参照してください。

(1) 日本語を入力するには

① [Alt] + [半角/全角（漢字）] キーを押します。
日本語が入力可能な状態になります。

(2) 日本語入力モードを解除するには

① [Alt] + [半角/全角（漢字）] キーを押します。
もとの状態になります。

(3) 特殊な文字を入力するには

① 日本語入力モードにて、[Ctrl] + [F10] キーを押し、[F4] キーを押します。
② コード一覧から目的の文字または記号を選択し、[Enter] キーを押します。

(4) 記号を入力するには

① 日本語入力モードにて、「きごう」と入力して、[F5] キーを押します。
② コード一覧から目的の記号を選択し、[Enter] キーを押します。

(5) 特殊な単位を入力するには

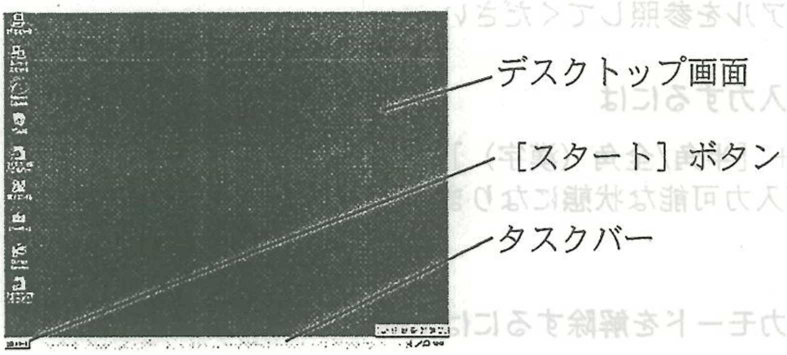
① 日本語入力モードにて、「たんい」と入力して、[F5] キーを押します。
② コード一覧から目的の単位を選択し、[Enter] キーを押します。

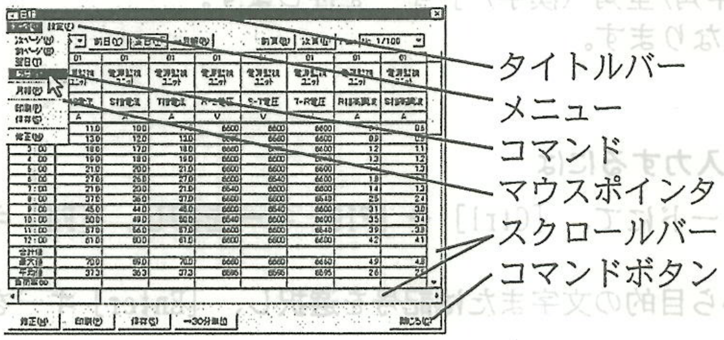
◆ 補 足 ◆
● 入力可能な文字は、ご使用の日本語入力システムに従い制限されます。

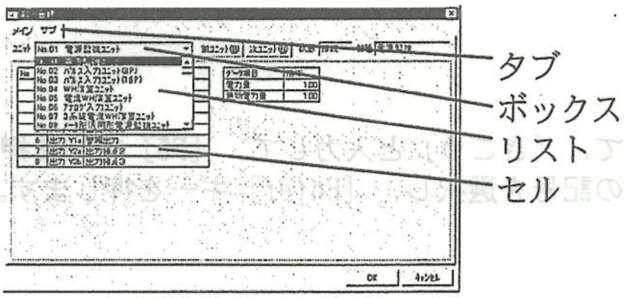
1.4 画面構成

1.4.1 画面構成要素

本マニュアルで使用する画面構成要素の名称を以下に示します。







2 ご使用の前に

2.1 システム環境

ＤＥ－ＳＷをインストールする前に、使用するシステム環境が下記の要求条件を満たしていることを確認してください。

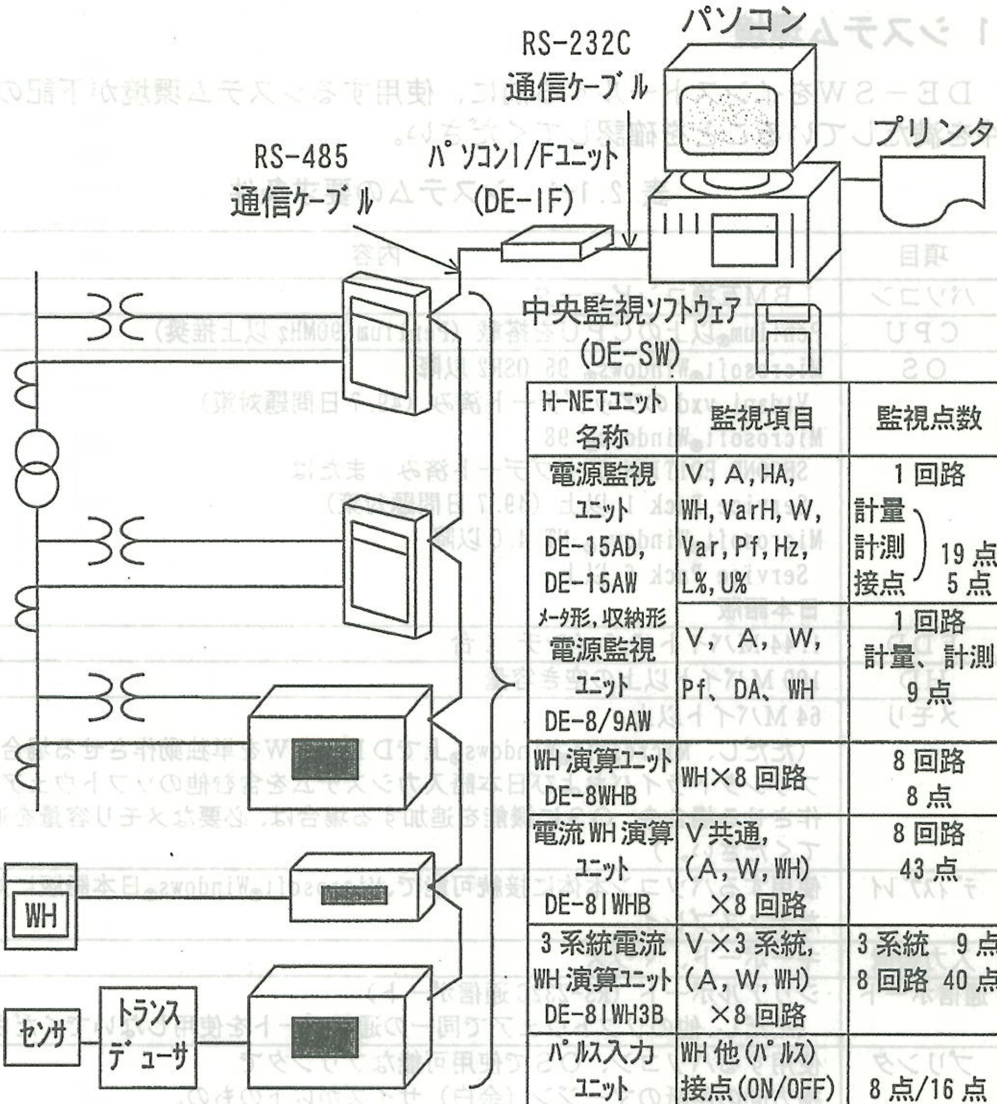
表 2.1-1 システムの要求条件

項目	内容
パソコン	ＩＢＭ互換コンピュータ
ＣＰＵ	Pentium®以上のＣＰＵを搭載（Pentium 90MHz 以上推奨）
ＯＳ	Microsoft®Windows® 95 OSR2 以降 Vtdapi.vxd のアップデート済み（49.7 日問題対策） Microsoft®Windows® 98 SECOND EDITION アップデート済み　または Service Pack 1 以上（49.7 日問題対策） Microsoft®Windows® NT 4.0 以降 Service Pack 6 以上 日本語版
ＦＤＤ	1.44 Ｍバイト 3.5インチ　1台
ＨＤ	100 Ｍバイト以上の空き容量
メモリ	64 Ｍバイト以上 （ただし、Microsoft®Windows®上でＤＥ－ＳＷを単独動作させる場合です。プリンタドライバおよび日本語入力システムを含む他のソフトウェアを動作させる場合や、ＯＳに機能を追加する場合は、必要なメモリ容量を追加してください。）
ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	使用するパソコン本体に接続可能で、Microsoft®Windows®日本語版に対応したディスプレイ
入力装置	キーボード、マウス
通信ポート	シリアルポート（RS-232C 通信ポート） （ただし、他のソフトウェアで同一の通信ポートを使用しないでください。）
プリンタ	使用するパソコン、ＯＳで使用可能なプリンタで 横方向の用紙のマージン（余白）サイズが以下のもの。 上のマージン＋下のマージン＝20mm 以下 左のマージン＋右のマージン＝20mm 以下 （ただし、連続紙への出力には対応しておりません。）
プリンタドライバ	使用するパソコン、ＯＳに対応するもので、使用するプリンタに対応したプリンタドライバ
日本語入力システム	日本語を入力する場合は、使用するパソコン、ＯＳに対応した日本語入力システム

⚠ 注　意

- 時間に連動して自動的に動作するソフトウェアは使用しないでください。
- ディスプレイや電源の省電力機能は使用しないでください。
- 本ソフトの動作中はサスペンドモードへ移行しないでください。
- マルチタスク動作はＯＳの機能に全面的に依存します。
- ご使用のパソコンでシステムリソース（メモリ）の残量が少しずつ減っていくような場合は、パソコンまたはソフトウェアが停止する可能性がありますので、定期的にパソコンを再起動してください。
  その場合は、定時計測の時刻（00 分、30 分）を避けて本ソフトを終了し、パソコンの再起動を行い、再度本ソフトを起動してください。

2.2 システム構成



H-NETユニット名称	監視項目	監視点数
電源監視ユニット DE-15AD, DE-15AW	V, A, HA, WH, VarH, W, Var, Pf, Hz, L%, U%	1 回路 計量・計測 19 点 接点 5 点
メータ形, 収納形 電源監視ユニット DE-8/9AW	V, A, W, Pf、DA、WH	1 回路 計量、計測 9 点
WH 演算ユニット DE-8WHB	WH×8 回路	8 回路 8 点
電流 WH 演算ユニット DE-8IWHB	V 共通, (A, W, WH) ×8 回路	8 回路 43 点
3 系統電流 WH 演算ユニット DE-8IWH3B	V×3 系統, (A, W, WH) ×8 回路	3 系統 9 点 8 回路 40 点
パルス入力ユニット DE-8/16PB	WH 他(パルス) 接点(ON/OFF) 計 8/16	8 点/16 点
アナログ入力ユニット DE-14ARB	温度, 圧力, 濃度, PH, A_{DC}, V_{DC}など	14 点

図 2.2-1 システム構成図

⚠ 注 意

● パルス入力ユニット（DE-8PB, DE-16PB）またはWH演算ユニット（DE-8WHB）の電源を切ってから再び投入した場合は、「計測値」画面にて先頭No.から順にユニットを表示する操作を行ってください。

この操作を行わない場合、上記のユニットは現在設定されているアドレスから監視点数分のアドレスに対して応答を返すため、アドレスが重複している他のユニットは通信が正常に行えず、データが欠落する場合があります。

但し、30 分毎の定時計測取得処理以後は必要ありません。

2.3 インストール前の準備

本ソフトをインストールする前に行わなければならない操作について説明します。

① 各H-NETユニット～I/Fユニットの接続（RS-485通信ケーブル）

↓

② パソコン～I/Fユニットの接続（RS-232C通信ケーブル）

↓

③ 各H-NETユニットの設定、電源投入
（各H-NETユニットの取扱説明書を参照してください。）

↓

④ I/Fユニットの電源投入

↓

⑤ パソコン～プリンタの接続
（ご使用する環境に応じてプリンタを接続してください。）

↓

⑥ プリンタの設定、電源投入
（ご使用するプリンタの操作マニュアルを参照してください。）

↓

⑦ パソコンの電源投入、Windows起動

↓

⑧ パソコンの環境設定
（ご使用するパソコンの操作マニュアルを参照してください。）

● プリンタドライバのインストール、プリンタの設定
・ご使用するプリンタのドライバをインストールしてください。
（ご使用するプリンタの操作マニュアルを参照してください。）
・ご使用するプリンタを設定してください。
[スタート] － [設定] － [プリンタ]

● 通信ポートの確認
RS-232C通信ケーブルを接続しているポートが使用可能かどうかを確認してください。
[スタート] － [設定] － [コントロールパネル]
－ [システム] － [デバイスマネージャ] － [ポート]
または － [シリアルポート]

● その他の設定
時間に連動して自動的に動作するソフトウェアは使用しないでください。
ディスプレイや電源の省電力機能は使用しないでください。

● 「画面のプロパティ」でのフォントサイズ
「画面のプロパティ」でのフォントサイズの設定が、「小さいフォント」に指定されていることを確認してください。
[スタート] － [設定] － [コントロールパネル] － [画面]
－ [ディスプレイの詳細]
または － [設定] － [詳細]
または － [ディスプレイの設定]

↓

終了

図 2.3-1 インストール前の準備の流れ

2.4 ソフトウェアのインストール

2.4.1 実行ファイル

本ソフトは、以下の２つの実行ファイルから構成されています。

(1) DE-SW.EXE

通信プログラムです。

(2) DE-VIEW.EXE

ユーザインタフェースプログラムです。

2.4.2 ソフトウェアのインストール

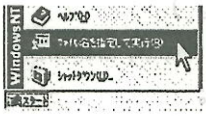
本ソフトのセットアップディスクから、ご使用のパソコンのハードディスクに本ソフトをインストールしてください。

セットアップディスクは３枚あります。

以下に WindowsNT の場合のインストール手順を示します。ＯＳによっては多少画面が異なる場合が有ります。

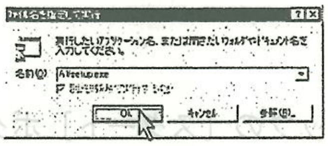
画面の指示に従って操作してください。

① パソコンのフロッピーディスクドライブ（ＦＤＤ）に、セットアップディスク 1/3 をセットします。



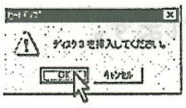
② Windows のデスクトップの［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

⚠ 注　意
● 既に本ソフトまたは以前のバージョンの中央監視ソフト（ＤＥ－ＳＷ）（以下旧ソフトと称す）がインストールされている場合は、必ず［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［アプリケーションの追加と削除］にて、「日立配電監視システム」を削除してから本ソフトのインストールを行ってください。 同じディレクトリへの上書きインストールや別ディレクトリへの２重インストールを行った場合、インストールまたは本ソフトの動作が正常に行われません。 ● 旧ソフトと本ソフトでは、日報・月報データに互換性がありません。 旧ソフトから本ソフトへバージョンＵＰする場合は、本ソフトをインストールしたディレクトリの中の「DATA」ディレクトリごとファイルを削除してから、本ソフトを起動してください。 そのまま本ソフトを起動しますと、日報・月報の値が異常となります。

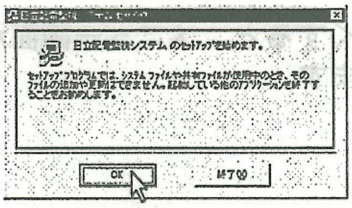


③ ［名前］ボックスにフロッピーディスクドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）の順に入力し、続けて「setup.exe」と入力します。お使いのフロッピーディスクドライブがドライブＡの場合は、「A:¥setup.exe」と入力します。
［ＯＫ］ボタンをクリックし、画面に表示される指示に従って操作します。

④ セットアップディスク２挿入画面が表示したら、ディスク 1/3 をＦＤＤから取り出し、ディスク 2/3 を挿入し、［ＯＫ］ボタンをクリックします。

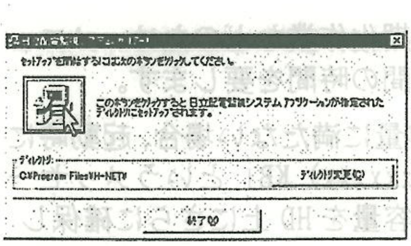


⑤ セットアップディスク３挿入画面が表示したら、ディスク 2/3 をＦＤＤから取り出し、ディスク 3/3 を挿入し、［ＯＫ］ボタンをクリックします。

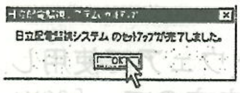


⑥ 確認画面が表示したら、［ＯＫ］ボタンをクリックします。

⑦ 開始画面が表示したら、本ソフトをインストールするディレクトリを確認してください。デフォルトではインストール先は「¥Program Files¥H-NET」になっていますが、別のディレクトリにインストールする場合には、ディレクトリを変更してください。
変更の必要が無い場合は、⑧へ進みます。
ディレクトリを変更する場合は、［ディレクトリ変更］ボタンをクリックし、「ディレクトリ変更」画面にて、ディレクトリを変更してください。



⑧ ディレクトリを確認したら、大きなボタンをクリックします。

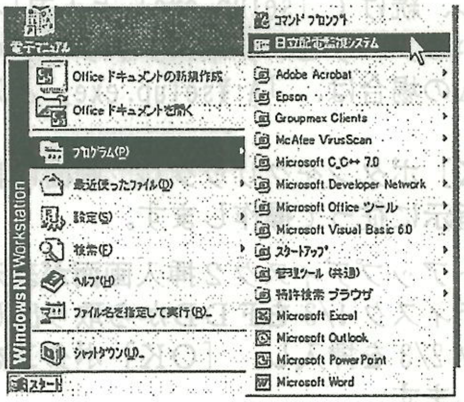


⑨ セットアップ完了画面が表示したら、［ＯＫ］ボタンをクリックします。

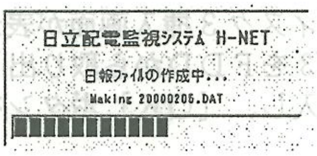
⑩ ＦＤＤからディスク 3/3 を取り出します。

2.5 ソフトウェアの起動

本ソフトを起動します。



① デスクトップの［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］をクリックし、［日立 配電監視システム］をクリックします。



② 初期画面が表示されます。

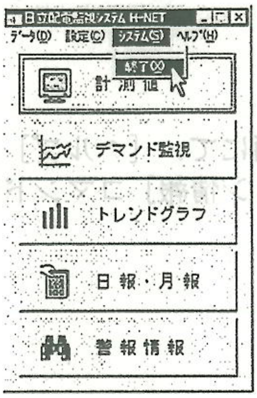
③ しばらくすると、メニュー画面が表示されます。

◆ 補 足 ◆

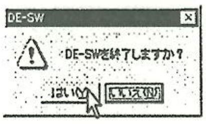
- ［DE-SW.EXE］を起動すると、［DE-VIEW.EXE］は自動的に起動されます。
- ソフト起動時はデータファイル作成や初期化作業などのため、メニュー画面が表示されるまでに数十秒～数分間の時間を要します。
- HD の空き容量がソフトの動作に必要な容量に満たない場合、起動時に「ディスクの空き容量が足りません。（xxxxxx）KB」というメッセージが表示されます。表示された分の空き容量を HD 上にさらに確保したうえで、再度起動してください。
- 本ソフト起動時に、「COM1 通信ポート」を他のソフトウェアで使用している場合、「通信－[オプション]」画面が表示されますので、「COM1 通信ポート」以外のポートに設定してください。

2.6 ソフトウェアの終了

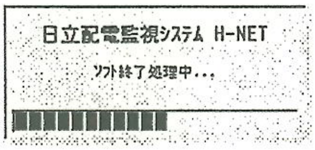
本ソフトを終了してWindows の画面に戻ります。



① 「メニュー」画面にて、［システム］メニューの［終了］コマンドをクリックします。



② 終了確認画面が表示されます。
［はい］をクリックすると、本ソフトを終了します。



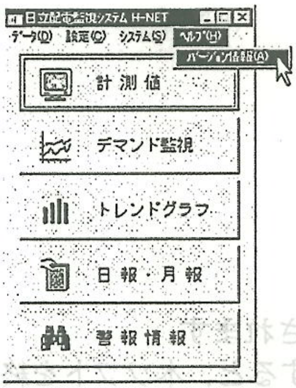
③ 終了画面が表示され、しばらくすると、Windows の画面に戻ります。

⚠ 注　意
● 本ソフトを終了しますと、計測データの取得、デマンド監視、状態監視等の通信処理も停止しますので、日報・月報の作成、デマンド監視、状態監視等を行っている場合は、終了しないでください。

2.7 バージョン情報

本ソフトの「バージョン情報」画面を表示します。

以下に WindowsNT の場合の画面を示します。ＯＳによって表示内容は異なります。



① 「メニュー」画面にて、［ヘルプ］メニューの［バージョン情報］コマンドをクリックします。

② 「バージョン情報」画面を表示します。

③ ［閉じる］ボタンをクリックすると、「バージョン情報」画面を閉じて、「メニュー」画面へ戻ります。

2.8 立ち上げ後の設定

ここでは、ソフト立ち上げ後に行わなければならない設定について説明します。

立ち上げ後の設定	本マニュアルの章番号
① [設定] － [ユニット登録] － [メイン]	5.1 ユニット登録 5.1.2 ユニット登録（メイン）画面
↓	
② [設定] － [ユニット登録] － [サブ]	5.1 ユニット登録 5.1.3 ユニット登録（サブ）画面
↓	
③ [データ] － [日報・月報] － [設定] － [オプション]	4.4 日報・月報 4.4.2 日報・月報オプション
↓	
④ [データ] － [日報・月報] － [設定] － [フォーマット]	4.4 日報・月報 4.4.3 フォーマット設定
↓	
⑤ [データ] － [デマンド監視] － [設定]	4.2 デマンド監視 4.2.3 デマンド監視設定
↓	
⑥ [設定] － [監視対象登録]	5.2 監視対象登録 5.2.2 監視対象登録
↓	
⑦ [データ] － [警報情報] － [設定] － [オプション]	4.5 警報情報 4.5.4 警報情報オプション
↓	
⑧ [データ] － [トレンドグラフ] － [縦軸設定]	4.3 トレンドグラフ 4.3.2 縦軸の設定
↓	
設定終了	

図 2.8-1 立ち上げ後の設定の流れ

> ⚠ 注　意
>
> ● 本ソフトの運用開始後に、「接続」状態で稼働していたユニットの「ユニット機種」の設定を変更されますと、それまでに記録した日報・月報データなどが正常に表示できなくなるおそれがあります。
> 「ユニット機種」の設定変更は、運用開始時とユニット増設時にのみ行ってください。

2.8.1 ユニット登録（メイン）

ユニットとの通信を行うには、本ソフト上で各ユニットを「接続」状態にする必要があります。

各ユニットとパソコンとを「接続」状態にすることで、「計測値」、「トレンドグラフ」、「入出力接点」、「上下限超過回数」、「ユニット設定」画面を表示することができます。

各ユニットの接続状態、名称、機種の設定を行います。

2.8.2 ユニット登録（サブ）

各ユニットの入力毎の接続状態、名称、データ項目、データ単位、スケーリング値などの設定を行います。

設定内容は、ユニット機種により異なります。

2.8.3 日報・月報オプション設定

日報の自動印刷、自動保存、月報の開始日、日報・月報のフォーマット設定を共通にする／しない、検印欄、天候欄、コメント欄などの設定を行います。

2.8.4 日報・月報フォーマット

日報及び月報を表示または印刷する場合、表示するユニットの種類やデータを設定しておく必要があります。

2.8.5 デマンド設定

デマンドの監視を行う場合、監視対象ユニット、目標デマンドなどの設定を行います。

2.8.6 監視対象登録

入出力接点の開閉状態の変化の監視を行う場合、監視対象ユニットの設定を行います。

2.8.7 警報情報オプション設定

警報情報への追加をする／しない、メッセージの表示をする／しないなどの設定を行います。

2.8.8 トレンドグラフの縦軸設定

計測項目の値に適した縦軸の最大値、最小値を設定します。

計測項目毎に設定を行う必要があります。

2.9 各画面の注意

「ユニット登録」が終了すると、データの収集が始まります。各画面においては、次の点にご注意ください。

（1）　本ソフト及びマニュアルにおけるデータ表示及び表記は、三相３線式のユニット（電源監視ユニット、電流WH演算ユニット）を対象としています。

（2）　接続するユニットの種類によって内容の表現が異なる場合がありますので、ご注意ください。

代表的なものに電圧があります。表 2.9-1 をご覧ください。() 内の数字は相順を示します。

表 2.9-1　各相線式と本ソフトにおける表示の対応

表示	三相３線式	三相４線式	単相３線式	単相２線
電圧R－S	電圧R－S （1－2）	電圧R－N （1－0）	電圧R－N （1－2）	電圧R－N （1－2）
電圧S－T	電圧S－T （2－3）	電圧S－N （2－0）	電圧N－T （2－3）	――
電圧T－R	電圧T－R （3－1）	電圧T－N （3－0）	電圧T－R （3－1）	――

（3）　メータ形及び収納形電源監視ユニットには、入出力接点、上下限超過回数表示、ユニット設定表示の機能はありません。

2.10 本ソフトの時間的な動作

以下に本ソフトの時間的な動作を示します。これらの処理は表示されている画面と関係なく行われます。

(1) 30秒単位処理（:00秒，:30秒）

- デマンド監視

(2) 30分単位処理（:00分，:30分）

- 定時データ計測

(3) 1時間単位処理（:00分）

- 使用率・負荷率のリセット（定時データ計測後、電源監視ユニットに対してのみ）

(4) 日付更新時処理（24時間ごと）

- 定時計測データから日報データファイルへの書き込み
- 日報データファイルの新規作成・削除
- 日報データから月報データファイルへの書き込み

(5) 月替わり時処理（1ヶ月ごと）

- 月報データファイルの新規作成・削除

(6) 常時（(1)～(5)の処理の待機中）

- 状態監視

⚠ 注　意

- 本ソフトはパソコン内部の時計の時刻に従って動作します。従って、本ソフトの起動後に内部時計の日付や時刻等を変更されますと、電力量やデマンドの値などに誤差が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。

- パソコン内部の時計の日付や時刻を変更する場合は、本ソフトを終了してから行ってください。本ソフトの動作中に日付や時刻を変更した場合、ファイルの作成、削除、書き込みに異常が発生することがあります。

3 メニュー

本ソフトを起動すると、メニュー画面が表示されます。
本画面から各表示画面を選択します。
メニューバーまたはコマンドボタンにより項目を選択し、クリックすることで各画面へ移行します。

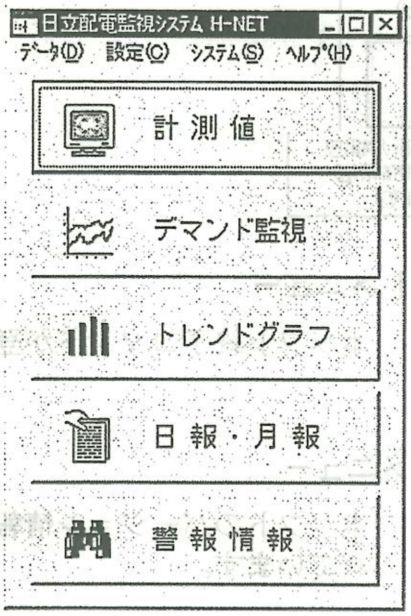
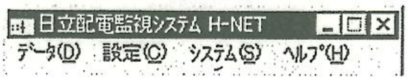


図 3-1 メニュー画面

3.1 メニューバー

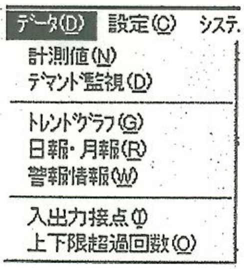
3.1.1 メニュー構成

メニュー画面のメニューバーの構成は次のようになっています。



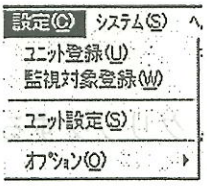
3.1.2 各メニューについて

(1) ［データ］メニュー

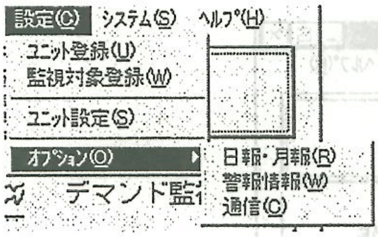


「計測値」、「デマンド監視」、「トレンドグラフ」、「日報・月報」、「警報情報」、「入出力接点」、「上下限超過回数」画面の表示コマンドが登録されています。

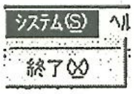
(2) ［設定］メニュー



「ユニット登録」、「監視対象登録」、「ユニット設定」、「オプション」画面の表示コマンドが登録されています。



(3) ［システム］メニュー



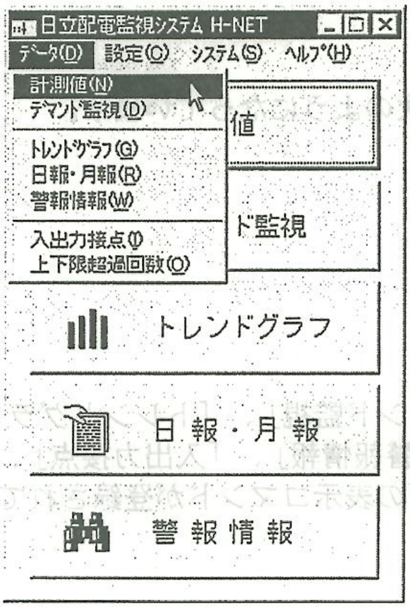
本ソフト終了コマンドが登録されています。

(4) ［ヘルプ］メニュー

本ソフトのバージョン情報の表示コマンドが登録されています。

例 「計測値」画面を表示するには

・［データ］メニューの［計測値］コマンドをクリックします。



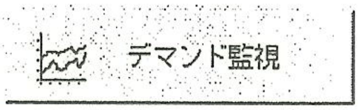
3.2 コマンドボタン

3.2.1 各コマンドボタンについて

(1) ［計測値］ボタン

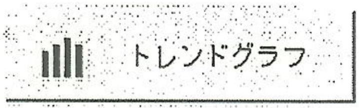
「計測値」画面の表示コマンドが登録されています。

(2) ［デマンド監視］ボタン



「デマンド監視」画面の表示コマンドが登録されています。

(3) ［トレンドグラフ］ボタン



「トレンドグラフ」画面の表示コマンドが登録されています。

(4) ［日報・月報］ボタン

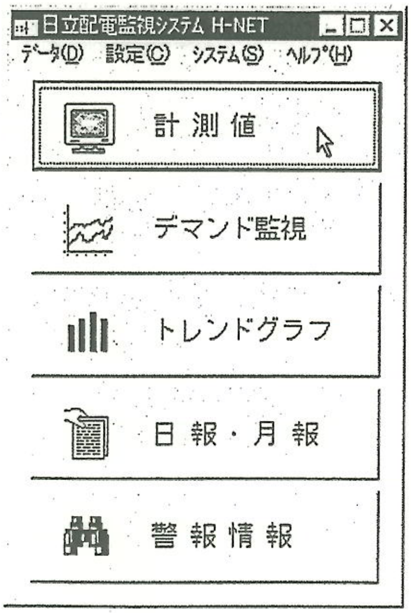
「日報・月報」画面の表示コマンドが登録されています。

(5) ［警報情報］ボタン

「警報情報」画面の表示コマンドが登録されています。

例　「計測値」画面を表示するには

・［計測値］ボタンをクリックします。

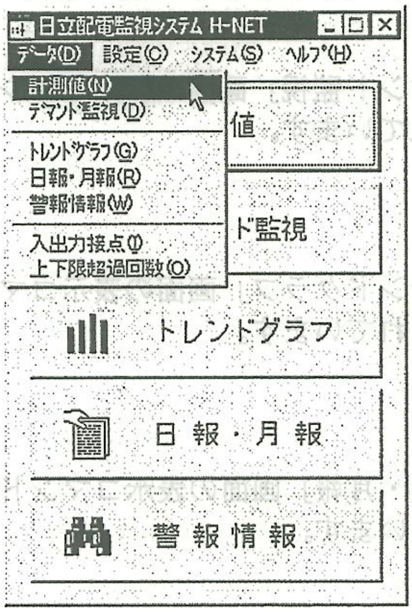


4 データ

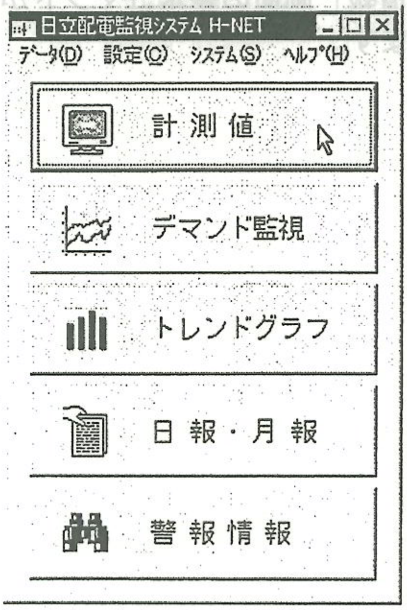
4.1 計測値

「計測値」画面を表示するには
次の２つの方法があります。

（1）［データ］メニューの［計測値］コマンドをクリックします。



（2）［計測値］ボタンをクリックします。



4.1.1 計測値

- 「ユニット登録」画面で「接続」状態に設定した各ユニットから取得したリアルタイムデータを表示します。
- 表示する内容はユニット機種により異なります。
- 表示データは約１秒毎に更新され、常に最新のデータを表示します。
- 通信異常の場合は、計測値表示ボックスを黄色で表示します。

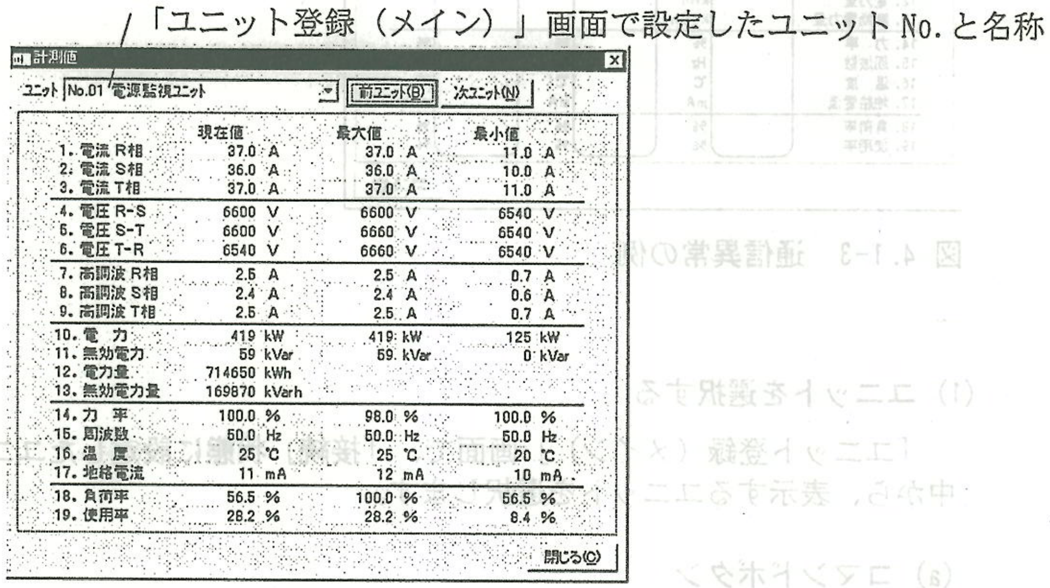


図 4.1-1　計測値画面の例
（電源監視ユニットの場合）

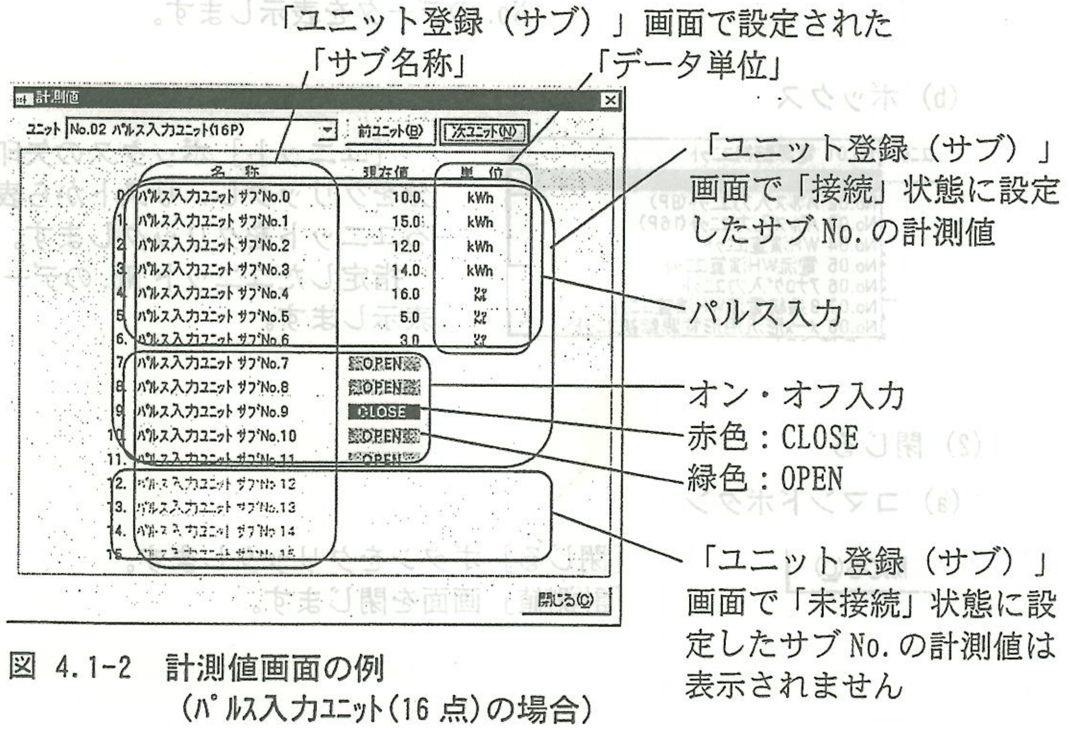


図 4.1-2　計測値画面の例
（パルス入力ユニット(16点)の場合）

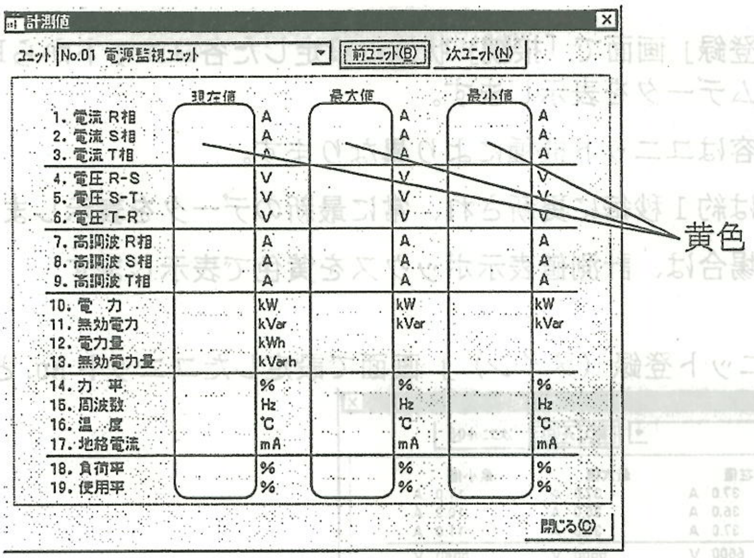


図 4.1-3 通信異常の例

(1) ユニットを選択する

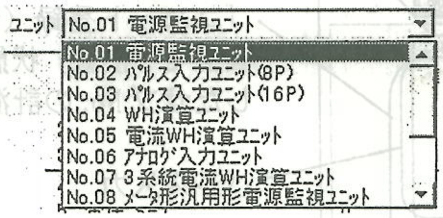
「ユニット登録（メイン）」画面で、「接続」状態に設定したユニットの中から、表示するユニットを選択します。

(a) コマンドボタン

［前ユニット］ボタンまたは、［次ユニット］ボタンをクリックします。

前のユニットNo.または、次のユニットNo.のデータを表示します。

(b) ボックス

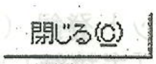


［ユニット］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示するユニットをクリックします。

指定したユニットNo.のデータを表示します。

(2) 閉じる

(a) コマンドボタン



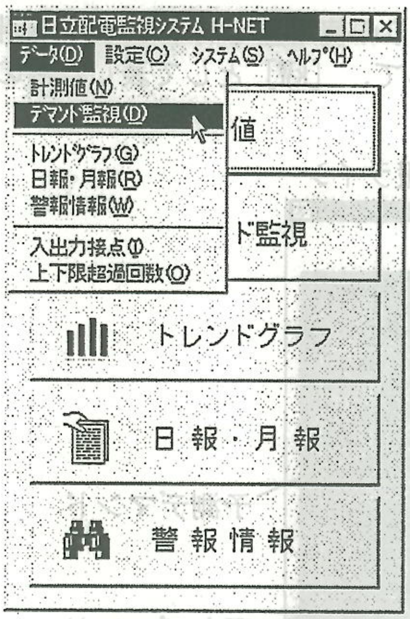
［閉じる］ボタンをクリックします。
「計測値」画面を閉じます。

4.2 デマンド監視

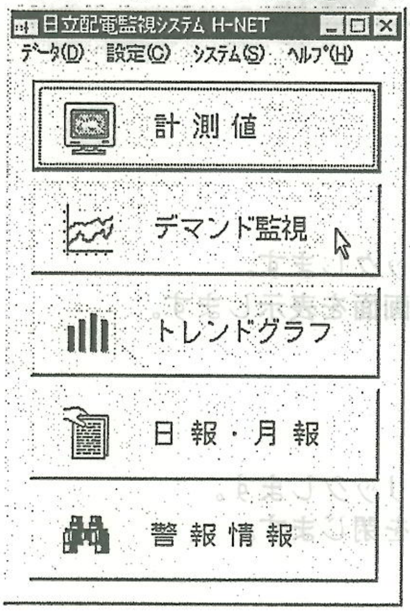
「デマンド監視」画面を表示するには

次の２つの方法があります。

（1）［データ］メニューの［デマンド監視］コマンドをクリックします。



（2）［デマンド監視］ボタンをクリックします。



4.2.1 デマンド監視

- 指定された一つのユニットで電力量データ（一点のみ）に対しデマンド監視を行います。
- 電力量データを 30 秒ごとに取得し、30 分限時のデマンドデータを予測・表示します。
- 「デマンド」とは電力量の 1 時間当たりの使用量を前半 30 分と後半 30 分の 2 つに分け、大きい方の値を 2 倍して、［kW］として表したものです。

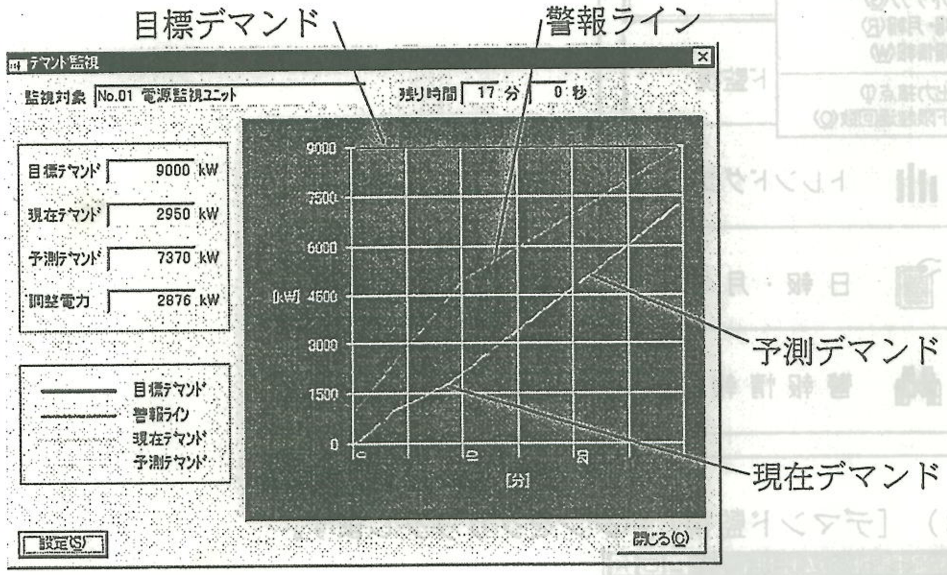
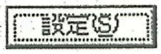


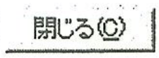
図 4.2-1　デマンド監視画面

(1) デマンド監視用設定値の設定を行う



［設定］ボタンをクリックします。
「デマンド監視設定」画面を表示します。

(2) 閉じる



［閉じる］ボタンをクリックします。
「デマンド監視」画面を閉じます。

4.2.2 デマンド監視機能

デマンド監視機能は表示されている画面に関係なく実行され、その結果は「デマンド監視」画面あるいは「警報情報」画面で表示されます。デマンド監視機能のはたらきについて以下に説明します。

- 「デマンド監視」内「設定」画面にて指定された1つのユニットで電力量データ（一点のみ）に対しデマンド監視を行います。
- 電力量データを 30 秒ごとに取得し、時限 30 分のデマンドを予測します。（ただし、開始してから 2 分 30 秒経過するまでは予測は行いません。）
- デマンド値が異常になってから正常な値に復帰するまでのデータを記録・保存し、「警報情報」画面で表示します。
- デマンド予測は最近の 2 分 30 秒間のデータを元に最小二乗法を用いて予測を行います。
- 調整電力は以下の計算式から求めます。
  調整電力＝（目標デマンドー予測デマンド）＊（３０分／残り時間）
- 「デマンド異常」と判断するのは、以下の２つの場合です。
  (1) 予測デマンド異常
  予測デマンド値が設定された目標デマンド値を上回った場合
  (2) 現在デマンド異常
  現在デマンド値が設定された警報ラインを上回った場合
- 「デマンド異常」になったとき、「デマンド監視」内「設定」画面にて各ユニットの警報出力接点が指定されていればその出力接点を動作させます。デマンド値が正常な値に復帰したときは、その出力接点を元の状態に戻します。

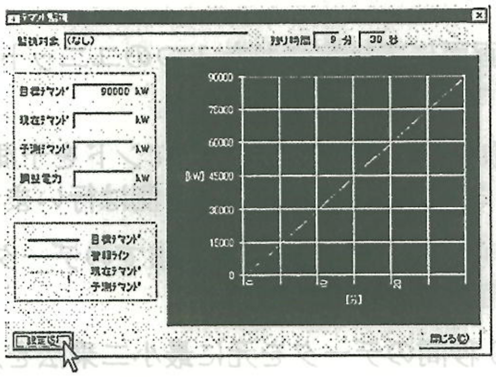
◆ 補 足 ◆

- デマンド予測は定時（:00 分, :30 分）に取得した電力量の値を起点にして行っています。従って初期の立ち上げ時など、定時のデータを取得していない場合には、その時限（30 分間）にデマンド監視は行いません。

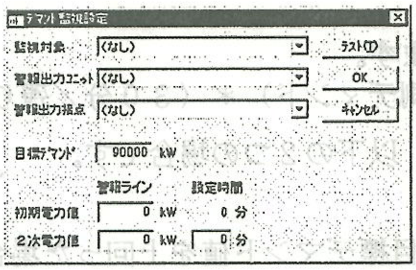
4.2.3 デマンド監視設定

デマンド監視のための各種設定を表示・変更します。

(1) 「デマンド監視設定」画面を表示する



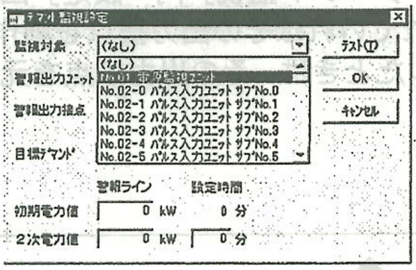
「デマンド監視」画面にて、［設定］ボタンをクリックします。



「デマンド監視設定」画面を表示します。

図 4.2-2　デマンド監視設定画面

(2) 監視対象ユニットを設定する



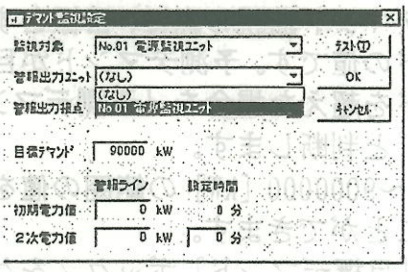
デマンド監視の対象となるユニットを設定します。

［監視対象ユニット］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから監視対象のユニットをクリックします。

◆ 補　足 ◆

- デマンド監視対象として設定できるのは、以下のユニットです。
  - （a）電源監視ユニット（DE-15A），メータ形及び収納形電源監視ユニット（DE-8/9AW）
  - （b）パルス入力ユニット（DE-8PB，DE-16PB）のパルス入力
  - （c）WH演算ユニット（DE-8WHB）
  - （d）電流WH演算ユニット（DE-8IWHB）
  - （e）3系統電流WH演算ユニット（DE-8IWH3B）
- デマンド監視の対象に設定できるパルス入力ユニットは、「ユニット登録（サブ）」画面で「データ単位」に「Wh」の文字を含む単位を設定したパルス入力のみです。（大文字、小文字、全角、半角を区別しません）

(3) 警報出力ユニットを設定する



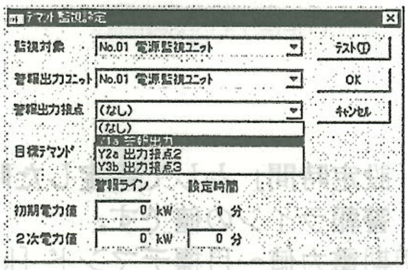
監視デマンドが異常となったときに出力接点を動作させるユニットを設定します。

[警報出力ユニット] ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから警報出力のユニットをクリックします。

◆ 補 足 ◆

● 警報出力ユニットとして設定できるユニットは、電源監視ユニット（メータ形及び収納形電源監視ユニットを除く）のみです。

(4) 警報出力接点を設定する



監視デマンドが異常となったときに動作させる出力接点を設定します。

電源監視ユニットのY1a, Y2a, Y3b 接点を設定することができます。

[警報出力接点] ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから警報出力の接点をクリックします。

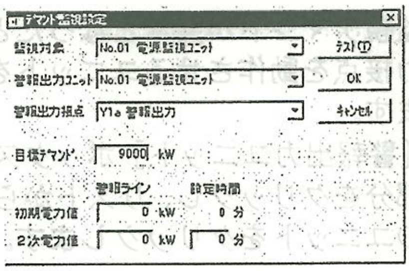
⚠ 注 意

● 警報出力はブザー、ランプ等の警報のための出力で、制御を行うための出力ではありません。制御には絶対に使用しないでください。

● 出力接点の動作とは、Y1a,Y2a 接点の場合は「閉（CLOSE）」状態に、Y3b 接点の場合は「開（OPEN）」状態にすることを意味します。

● デマンド異常時に動作させた出力接点は、デマンドが正常に復帰したときに元の状態（Y1a,Y2a 接点の場合は「開（OPEN）」状態、Y3b 接点の場合は「閉（CLOSE）」状態）に戻ります。

(5) 目標デマンドを設定する

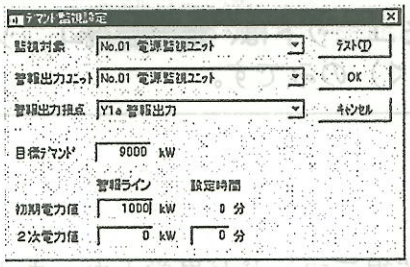


デマンド監視の際に、目標とするデマンドの値です。予測デマンドが目標デマンドを超えた場合を「予測デマンド異常」と判断します。

1～9000000［kW］の範囲の値を設定することができます。

［目標デマンド］ボックスをクリックし、値を入力します。

(6) 初期電力値を設定する

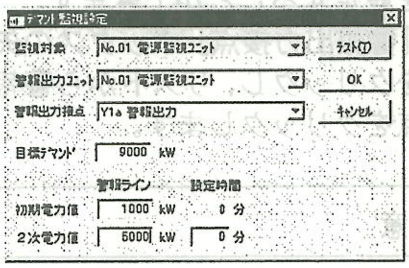


0分時での警報ラインの値です。

0～目標デマンド［kW］の範囲の値を設定することができます。

［初期電力値］ボックスをクリックし、値を入力します。

(7) 2次電力値を設定する



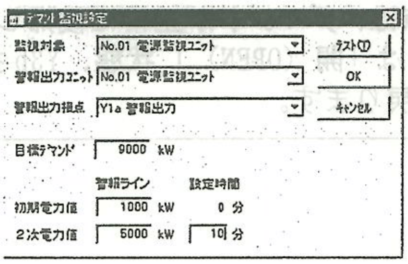
「設定時間」として設定した時間での、警報ラインの値です。

初期電力値～目標デマンド［kW］の範囲の値を設定することができます。

［2次電力値］ボックスをクリックし、値を入力します。

「初期電力値≦2次電力値」となるように値を入力してください。

(8) 設定時間を設定する

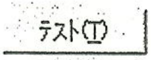


「2次電力値」として設定した値が有効となる時間です。

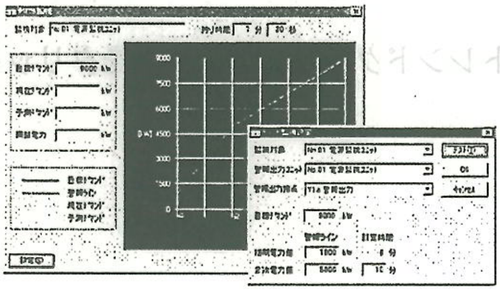
0～29［分］の範囲の値を設定することができます。

［設定時間］ボックスをクリックし、値を入力します。

(9) テストする

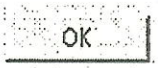


［テスト］ボタンをクリックします。



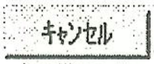
設定した内容で「デマンド監視」画面のテスト表示を行います。

(10) 設定する



［ＯＫ］ボタンをクリックします。
設定内容を保存し、「デマンド監視設定」画面を閉じます。

(11) キャンセルする



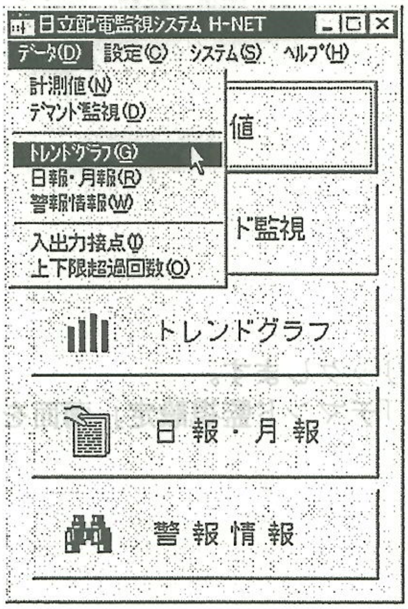
［キャンセル］ボタンをクリックします。
設定内容を保存せずに、「デマンド監視設定」画面を閉じます。

4.3 トレンドグラフ

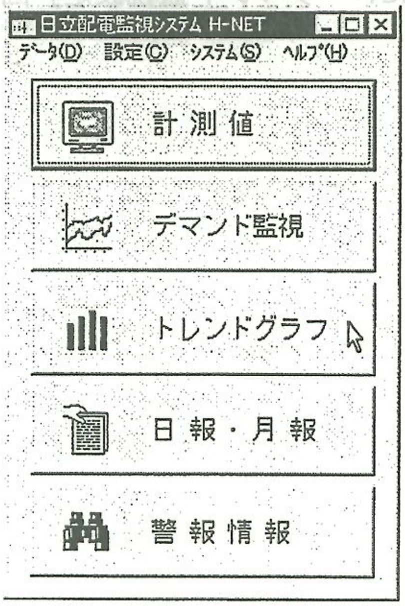
「トレンドグラフ」画面を表示するには

次の２つの方法があります。

（1）［データ］メニューの［トレンドグラフ］コマンドをクリックします。



（2）［トレンドグラフ］ボタンをクリックします。



4.3.1 トレンドグラフ

- 「ユニット登録」画面で「接続」状態に設定した各ユニットから定時に取得したデータを、24 時間のトレンドグラフとして表示します。

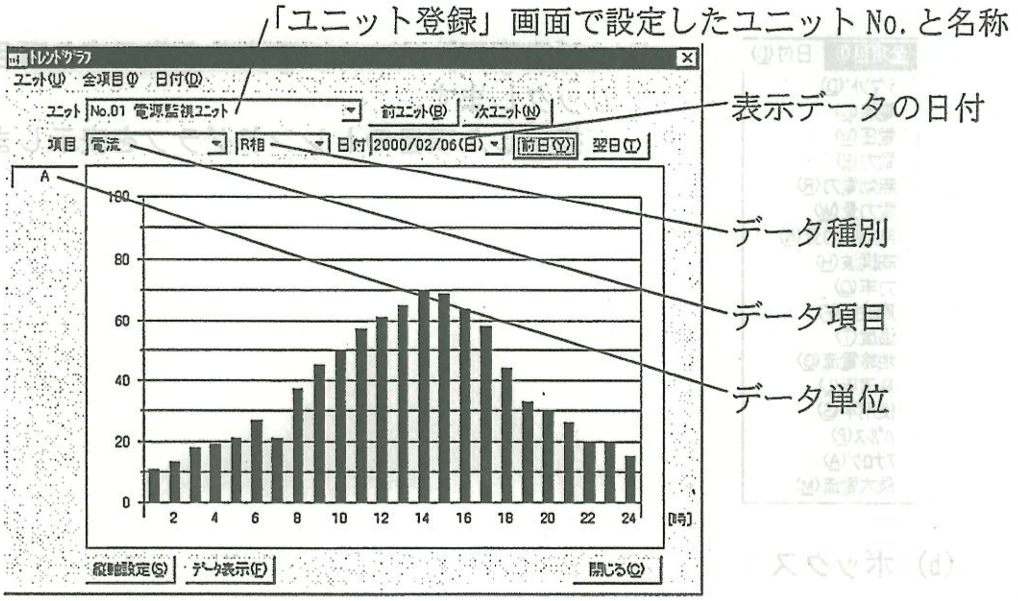
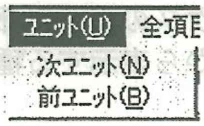


図 4.3-1　トレンドグラフ画面の例（電流の場合）

(1) ユニットを選択する

［項目］ボックスに表示している項目のトレンドグラフを表示するユニットを、「ユニット登録」画面で「接続」状態に設定したユニットの中から選択します。

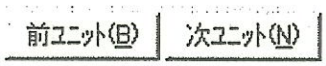
(a) メニューバー



［ユニット］メニューの［前ユニット］コマンドまたは、［次ユニット］コマンドをクリックします。

前のユニットNo.または、次のユニットNo.のデータを表示します。

(b) コマンドボタン



［前ユニット］ボタンまたは、［次ユニット］ボタンをクリックします。

前のユニットNo.または、次のユニットNo.のデータを表示します。

(c) ボックス

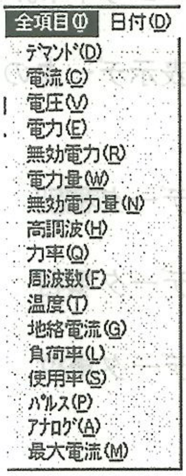
［ユニット］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示するユニットをクリックします。

指定したユニットNo.のデータを表示します。

(2) 項目を選択する

(a) メニューバー

全部の項目の中から、トレンドグラフを表示する項目を選択します。

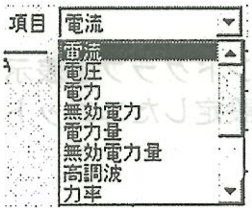


［全項目］メニューの中から表示する項目をクリックします。

指定した項目のトレンドグラフを表示します。

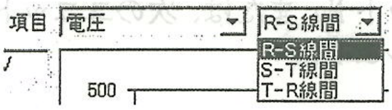
(b) ボックス

［ユニット］ボックスに表示しているユニットで計測している項目の中から、トレンドグラフを表示する項目を選択します。



［項目］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示する項目をクリックします。

指定した項目のトレンドグラフを表示します。



［種別］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示する種別をクリックします。

指定した種別のトレンドグラフを表示します。

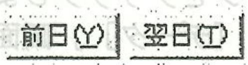
(3) 日付を選択する

本日から前32日分のデータの中から、トレンドグラフを表示する日付を選択します。

(a) メニューバー

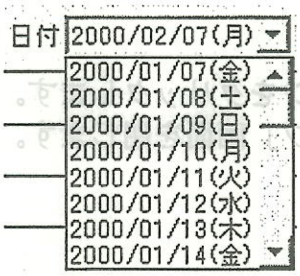
［日付］メニューの［前日］コマンドまたは、［翌日］コマンドをクリックします。
前日または翌日のデータを表示します。

(b) コマンドボタン



［前日］ボタンまたは、［翌日］ボタンをクリックします。
前日または翌日のデータを表示します。

(c) ボックス



［日付］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示する日付をクリックします。
指定した日付のデータを表示します。
本日から前32日分のデータを表示できます。
例えば、本日が2000年02月07日の場合は、2000年01月07日～2000年02月07日までのデータを表示できます。

(4) 縦軸を設定する

(a) コマンドボタン

縦軸設定(S)

[縦軸設定] ボタンをクリックします。
「トレンドグラフ－[縦軸の設定]」画面を表示します。

(5) データを表示する

(a) コマンドボタン

データ表示(F)

[データ表示] ボタンをクリックします。
「トレンドグラフ－[データ]」画面を表示します。

(6) 閉じる

(a) コマンドボタン

閉じる(C)

[閉じる] ボタンをクリックします。
「トレンドグラフ」画面を閉じます。

4.3.2 縦軸の設定

- 縦軸の最大値、最小値を設定します。
  （ただし、カンマ（,）は入力できません。）
- 最大値＞最小値となるように設定してください。

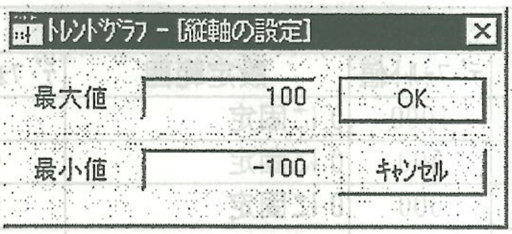
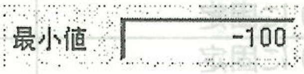


図 4.3-2　トレンドグラフ－［縦軸の設定］画面

(1) 最大値を設定する

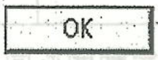
［最大値］ボックスに、値を入力します。
設定できる値は、項目により異なります。

(2) 最小値を設定する



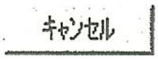
［最小値］ボックスに、値を入力します。
設定できる値は、項目により異なります。

(3) 設定する



［ＯＫ］ボタンをクリックします。
設定内容を保存し、「トレンドグラフ－［縦軸の設定］」画面を閉じます。

(4) キャンセルする



［キャンセル］ボタンをクリックします。
設定内容を保存せずに、「トレンドグラフ－［縦軸の設定］」画面を閉じます。

◆　補　足　◆
●「最大値」に＋（プラス）の値、「最小値」に－（マイナス）の値を設定した場合、「最大値」と「最小値」で絶対値の大きい方の目盛の間隔に合わせてグラフを表示しますので、設定した値と表示する値が異なることがあります。

(5) 縦軸の設定範囲

各項目毎の縦軸の設定範囲を表 4.3-1 に示します。
（ただし、カンマ（, ）は入力できません。）
最大値＞最小値となるように設定してください。

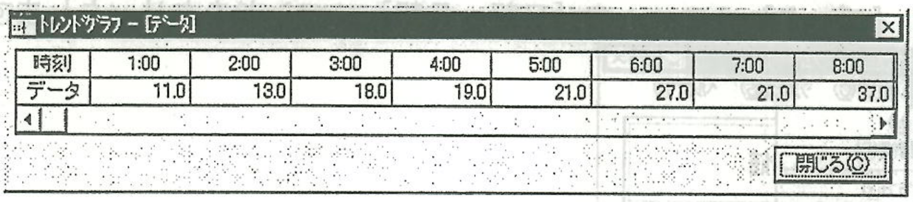
表 4.3-1　各項目毎の縦軸の設定範囲

データ項目	最大値		最小値	
	設定範囲	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値	設定範囲	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値
デマンド	1～10,000,000	1000	0 に固定	0
電流　　（注）	1～100,000	500	0 に固定	0
電圧	1～10,000,000	500	0 に固定	0
電力	1～10,000,000	1000	0 に固定	0
無効電力	-999,999～10,000,000	1000	-1,000,000～9,999,999	-1000
電力量	1～10,000,000	1000	0 に固定	0
無効電力量	1～10,000,000	1000	0 に固定	0
高調波	1～100,000	100	0 に固定	0
力率	100 に固定	100	0 に固定	0
周波数	1～1,000	100	0 に固定	0
温度	-999～1,000	100	-1,000～999	-25
地絡電流	1～1,000	1000	0 に固定	0
負荷率	1～1,000	100	0 に固定	0
使用率	1～1,000	100	0 に固定	0
パルス	1～10,000,000	1000	0 に固定	0
アナログ	-999,999～10,000,000	100	-1,000,000～9,999,999	-25
最大電流（注）	1～100,000	500	0 に固定	0

（注）　電流の縦軸の設定範囲を変更すると、最大電流の設定範囲も同じ値に変更されます。
　また逆に、最大電流の縦軸の設定範囲を変更すると、電流の設定範囲も同じ値に変更されます。

4.3.3 データの表示

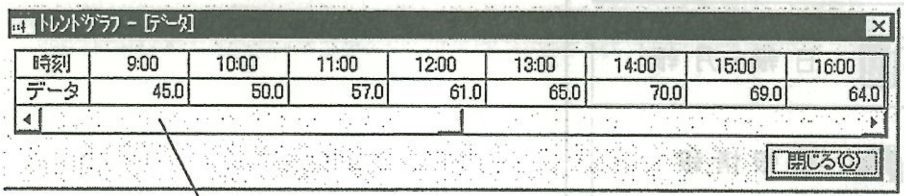
- トレンドグラフのデータを数値で表示します。
- 24 時間分のデータを表示します。



時刻	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00
データ	11.0	13.0	18.0	19.0	21.0	27.0	21.0	37.0

図 4.3-3　トレンドグラフ－［データ］画面

(1) 表示されていない部分を表示する



時刻	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
データ	45.0	50.0	57.0	61.0	65.0	70.0	69.0	64.0

(2) 閉じる

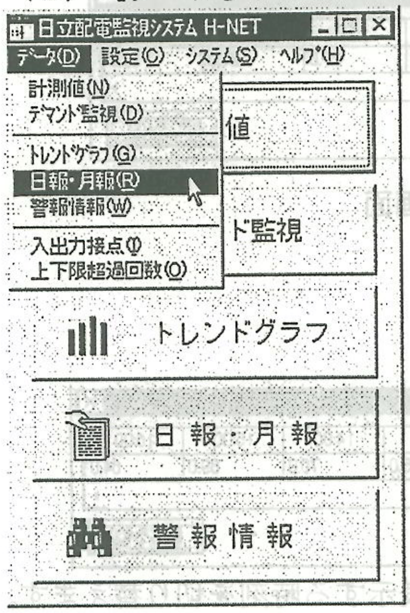
［閉じる］ボタンをクリックします。
「トレンドグラフ－［データ］」画面を閉じます。

4.4 日報・月報

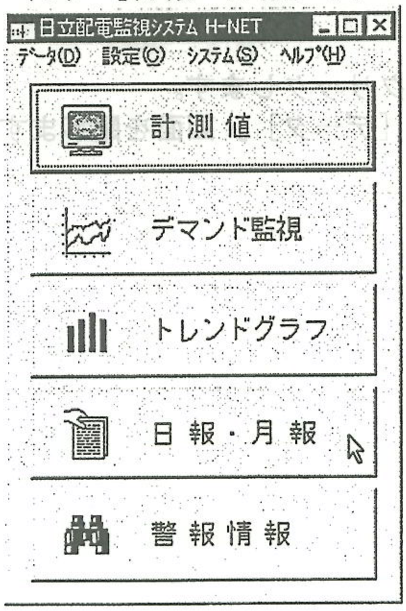
「日報・月報」画面を表示するには

次の２つの方法があります。

（１）［データ］メニューの［日報・月報］コマンドをクリックします。



（２）［日報・月報］ボタンをクリックします。

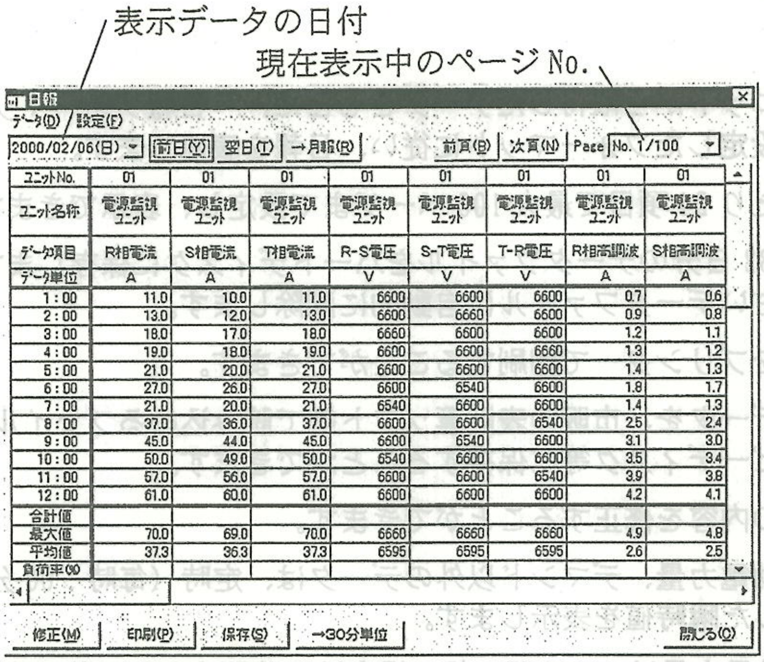


4.4.1 日報・月報

日報

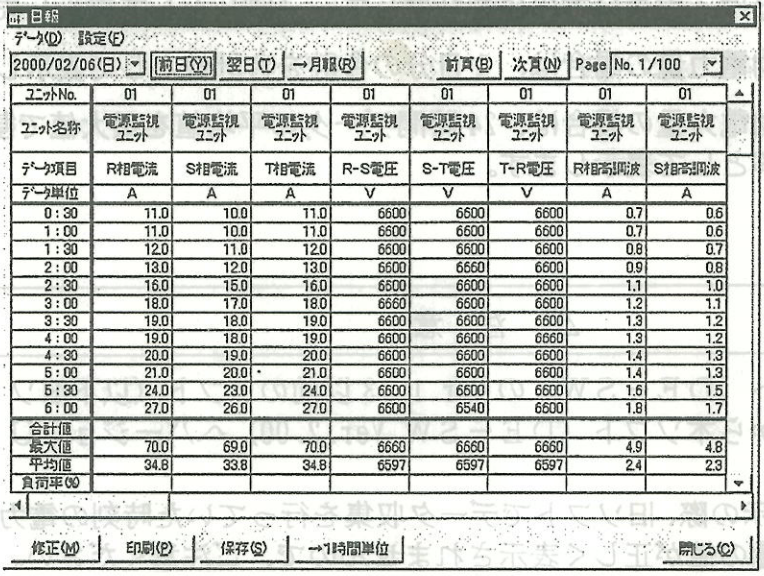
- 定時に各ユニットから取得したデータをもとに、「日報フォーマット設定」画面で設定したフォーマットに従い、日報を表示します。
- １ページあたり 24 項目で最大 100 ページまで設定し、表示できます。
- 当日から前 32 日分のデータファイルをハードディスクに保存します。それよりも古いデータファイルは自動的に削除します。
- 指定の日報をプリンターで印刷することができます。
- 指定の日報データを、市販の表計算ソフト等で読み込めるファイル形式で、フロッピーディスク等に保存することができます。
- 日報データの内容を修正することができます。
- 電力量、無効電力量、デマンド以外のデータは、定時（毎時：00 分，30 分）に計測した瞬時値を表示します。
- 電力量、無効電力量は、１時間日報の場合は１時間当たりの使用量を、30 分日報の場合は 30 分当たりの使用量を表示します。
- デマンドの場合は、電力量の１時間当たりの使用量を前半 30 分と後半 30 分の２つに分け、大きい方の値を２倍して、［kW］として表示します。
- 電力量、無効電力量の場合は、１日分の合計を合計値として表示します。
- 電力量、無効電力量の場合は、24 時間データの平均値を最大値で割った値を、負荷率として表示します。

⚠ 注 意
● 中央監視ソフト（ＤＥ－ＳＷ）の Ver.1.13 以前のソフト（以下旧ソフトと称す）から本ソフト（ＤＥ－ＳＷ Ver.2.00）へバージョンＵＰした場合、 30 分日報を表示の際、旧ソフトでデータ収集を行っていた時刻の電力量と無効電力量の値が正しく表示されませんので、ご注意ください。



ユニットNo.	01	01	01	01	01	01	01	01
ユニット名称	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット
データ項目	R相電流	S相電流	T相電流	R-S電圧	S-T電圧	T-R電圧	R相高調波	S相高調波
データ単位	A	A	A	V	V	V	A	A
1:00	11.0	10.0	11.0	6600	6600	6600	0.7	0.6
2:00	13.0	12.0	13.0	6600	6660	6600	0.9	0.8
3:00	18.0	17.0	18.0	6660	6600	6600	1.2	1.1
4:00	19.0	18.0	19.0	6600	6600	6660	1.3	1.2
5:00	21.0	20.0	21.0	6600	6600	6600	1.4	1.3
6:00	27.0	26.0	27.0	6600	6540	6600	1.8	1.7
7:00	21.0	20.0	21.0	6540	6600	6600	1.4	1.3
8:00	37.0	36.0	37.0	6600	6600	6540	2.5	2.4
9:00	45.0	44.0	45.0	6600	6540	6600	3.1	3.0
10:00	50.0	49.0	50.0	6540	6600	6600	3.5	3.4
11:00	57.0	56.0	57.0	6600	6600	6540	3.9	3.8
12:00	61.0	60.0	61.0	6600	6600	6600	4.2	4.1
合計値								
最大値	70.0	69.0	70.0	6660	6660	6660	4.9	4.8
平均値	37.3	36.3	37.3	6595	6595	6595	2.6	2.5
負荷率(%)								

図 4.4-1 日報画面（1時間日報）



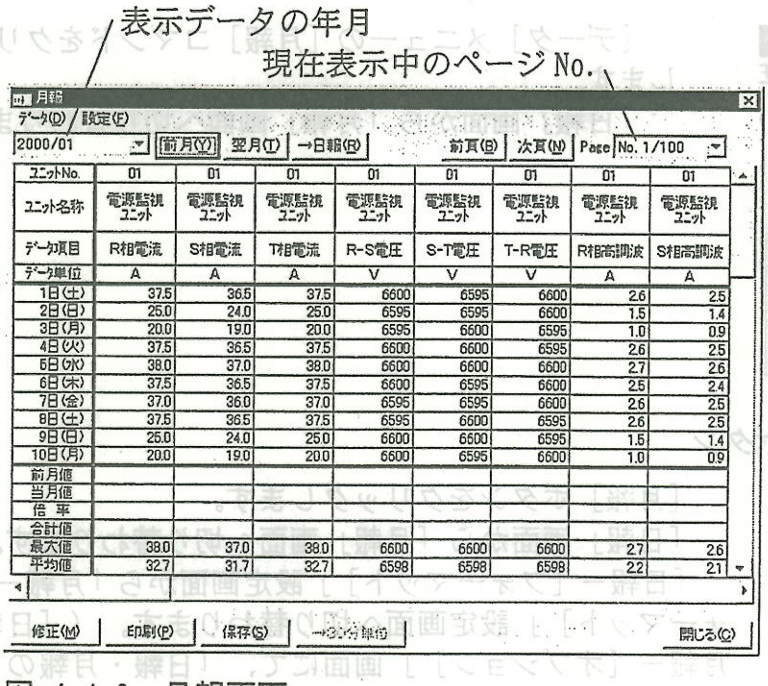
ユニットNo.	01	01	01	01	01	01	01	01
ユニット名称	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット
データ項目	R相電流	S相電流	T相電流	R-S電圧	S-T電圧	T-R電圧	R相高調波	S相高調波
データ単位	A	A	A	V	V	V	A	A
0:30	11.0	10.0	11.0	6600	6600	6600	0.7	0.6
1:00	11.0	10.0	11.0	6600	6600	6600	0.7	0.6
1:30	12.0	11.0	12.0	6600	6600	6600	0.8	0.7
2:00	13.0	12.0	13.0	6600	6660	6600	0.9	0.8
2:30	16.0	15.0	16.0	6600	6600	6600	1.1	1.0
3:00	18.0	17.0	18.0	6660	6600	6600	1.2	1.1
3:30	19.0	18.0	19.0	6600	6600	6600	1.3	1.2
4:00	19.0	18.0	19.0	6600	6600	6660	1.3	1.2
4:30	20.0	19.0	20.0	6600	6600	6600	1.4	1.3
5:00	21.0	20.0	21.0	6600	6600	6600	1.4	1.3
5:30	24.0	23.0	24.0	6600	6600	6600	1.6	1.5
6:00	27.0	26.0	27.0	6600	6540	6600	1.8	1.7
合計値								
最大値	70.0	69.0	70.0	6660	6660	6660	4.9	4.8
平均値	34.8	33.8	34.8	6597	6597	6597	2.4	2.3
負荷率(%)								

図 4.4-2 日報画面（３０分日報）

◆ 補 足 ◆
● 電力量の合計値が 214748364 を超えた場合は、オーバーフローとし、214748364 で置き換えます。

月報

- 定時に各ユニットから取得したデータをもとに、「月報フォーマット設定」画面で設定したフォーマットに従い、月報を作成します。
- 1ページあたり 24 項目で最大 100 ページまで設定し、表示できます。
- 当月から前 24 ヶ月分のデータファイルをハードディスクに保存します。それよりも古いデータファイルは自動的に削除します。
- 指定の月報をプリンターで印刷することができます。
- 指定の月報データを、市販の表計算ソフト等で読み込めるファイル形式で、フロッピーディスク等に保存することができます。
- 月報データの内容を修正することができます。
- 日付帯に表示するのは、電力量、無効電力量の場合は1日の合計値、デマンドの場合は1日の最大値、その他は1日の平均値です。(それぞれ、1時間日報の合計値、最大値、平均値です。)
- 電力量、無効電力量の場合は、前月および今月に取得したカウント値で最も新しいデータを、それぞれ「前月値」「今月値」として表示します。
- 電力量、無効電力量の場合は、「倍率」を表示します。
  電源監視ユニット、パルス入力ユニットの場合は、「ユニット登録(サブ)」画面で設定された値を表示します。
  その他のユニットの場合は、「1.00」を表示します。
- 電力量、無効電力量の場合は、1ヵ月分の合計を合計値として表示します。

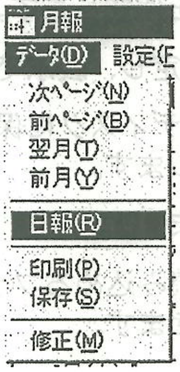


ユニットNo.	01	01	01	01	01	01	01	01
ユニット名称	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット
データ項目	R相電流	S相電流	T相電流	R-S電圧	S-T電圧	T-R電圧	R相高調波	S相高調波
データ単位	A	A	A	V	V	V	A	A
1日(土)	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.6	2.5
2日(日)	25.0	24.0	25.0	6595	6595	6600	1.5	1.4
3日(月)	20.0	19.0	20.0	6595	6600	6595	1.0	0.9
4日(火)	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6595	2.6	2.5
5日(水)	38.0	37.0	38.0	6600	6600	6600	2.7	2.6
6日(木)	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.5	2.4
7日(金)	37.0	36.0	37.0	6595	6595	6600	2.6	2.5
8日(土)	37.5	36.5	37.5	6595	6600	6595	2.6	2.5
9日(日)	25.0	24.0	25.0	6600	6600	6595	1.5	1.4
10日(月)	20.0	19.0	20.0	6600	6595	6600	1.0	0.9
前月値								
当月値								
倍 率								
合計値								
最大値	38.0	37.0	38.0	6600	6600	6600	2.7	2.6
平均値	32.7	31.7	32.7	6598	6598	6598	2.2	2.1

図 4.4-3 月報画面

(1) 日報を表示する

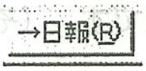
(a) メニューバー



［データ］メニューの［日報］コマンドをクリックします。

「月報」画面から「日報」画面へ切り替わります。

(b) コマンドボタン



［日報］ボタンをクリックします。

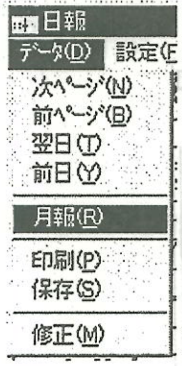
「月報」画面から「日報」画面へ切り替わります。

「月報ー［フォーマット］」設定画面から「日報ー［フォーマット］」設定画面へ切り替わります。（「日報・月報ー［オプション］」画面にて、「日報・月報のフォーマット設定」を「共通にしない」に設定した場合。）

「月報ー［修正］」画面から「日報ー［修正］」画面へ切り替わります。

(2) 月報を表示する

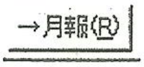
(a) メニューバー



［データ］メニューの［月報］コマンドをクリックします。

「日報」画面から「月報」画面へ切り替わります。

(b) コマンドボタン



［月報］ボタンをクリックします。

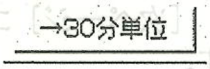
「日報」画面から「月報」画面へ切り替わります。

「日報ー［フォーマット］」設定画面から「月報ー［フォーマット］」設定画面へ切り替わります。（「日報・月報ー［オプション］」画面にて、「日報・月報のフォーマット設定」を「共通にしない」に設定した場合。）

「日報ー［修正］」画面から「月報ー［修正］」画面へ切り替わります。

(3) ３０分日報を表示する

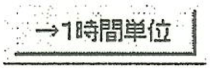
(a) コマンドボタン



［→３０分単位］ボタンをクリックします。
「１時間日報」画面から「３０分日報」画面へ切り替わります。

(4) １時間日報を表示する

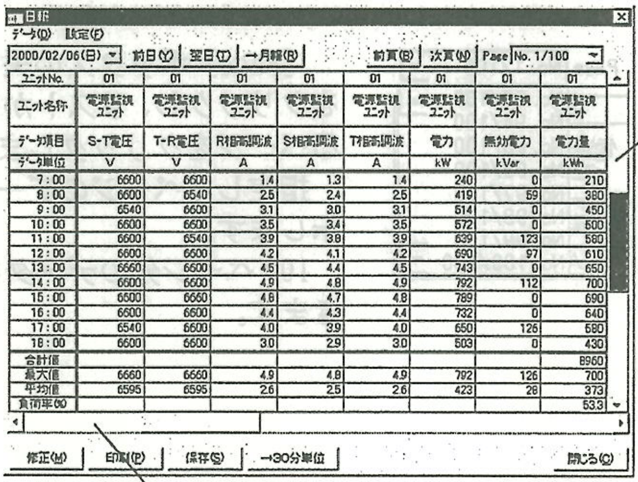
(a) コマンドボタン



［→１時間単位］ボタンをクリックします。
「３０分日報」画面から「１時間日報」画面へ切り替わります。

(5) 表示されていない部分を表示する

(a) 垂直スクロールバー、水平スクロールバー



ユニットNo.	01	01	01	01	01	01	01	01
ユニット名称	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット	電源監視ユニット
データ項目	S-T電圧	T-R電圧	R相高調波	S相高調波	T相高調波	電力	無効電力	電力量
データ単位	V	V	A	A	A	kW	kVar	kWh
7:00	6600	6600	1.4	1.3	1.4	240	0	210
8:00	6600	6540	2.5	2.4	2.5	419	59	380
9:00	6540	6600	3.1	3.0	3.1	514	0	450
10:00	6600	6600	3.5	3.4	3.5	572	0	500
11:00	6600	6540	3.9	3.8	3.9	639	123	580
12:00	6600	6600	4.2	4.1	4.2	690	97	610
13:00	6660	6600	4.5	4.4	4.5	743	0	650
14:00	6600	6600	4.9	4.8	4.9	792	112	700
15:00	6600	6660	4.8	4.7	4.8	789	0	690
16:00	6600	6600	4.4	4.3	4.4	732	0	640
17:00	6540	6600	4.0	3.9	4.0	650	126	580
18:00	6600	6600	3.0	2.9	3.0	503	0	430
合計値								8960
最大値	6660	6660	4.9	4.8	4.9	792	126	700
平均値	6595	6595	2.6	2.5	2.6	423	28	373
負荷率(%)								53.3

垂直スクロールバー：表示する時間帯、日付帯を切り替えます。

水平スクロールバー：表示する項目を切り替えます。

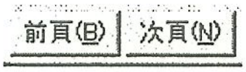
(6) ページを選択する

(a) メニューバー

［データ］メニューの［前ページ］コマンドまたは、［次ページ］コマンドをクリックします。

1ページ前または1ページ後のデータを表示します。

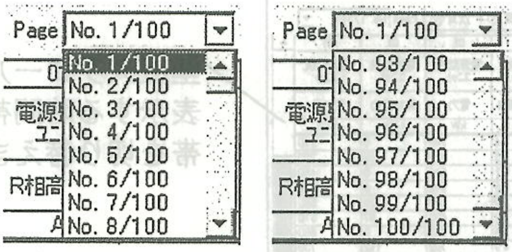
(b) コマンドボタン



［前頁］ボタンまたは、［次頁］ボタンをクリックします。

1ページ前または1ページ後のデータを表示します。

(c) ボックス



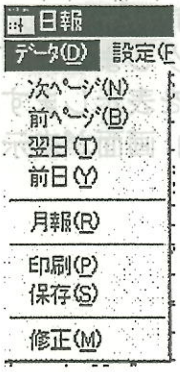
［Page］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示するページをクリックします。

指定したページのデータを表示します。

100 ページ分のデータを表示できます。

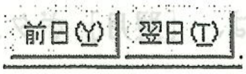
(7) 日付を選択する

(a) メニューバー



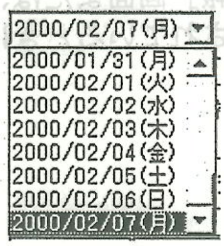
［データ］メニューの［前日］コマンドまたは、［翌日］コマンドをクリックします。
前日または翌日のデータを表示します。
このコマンドは、「日報」画面が表示されているときに表示されます。

(b) コマンドボタン



［前日］ボタンまたは、［翌日］ボタンをクリックします。
前日または翌日のデータを表示します。
このボタンは、「日報」画面または、「日報－［修正］」画面が表示されているときに表示されます。

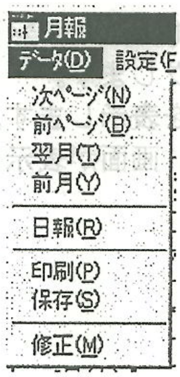
(c) ボックス



［日付］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示する日付をクリックします。
指定した日付のデータを表示します。
本日から前 32 日分のデータを表示できます。
例えば、本日が 2000 年 02 月 07 日の場合は、2000 年 01 月 07 日～2000 年 02 月 07 日までのデータを表示できます。
このボックスは、「日報」画面または、「日報－［修正］」画面が表示されているときに表示されます。

(8) 表示月を選択する

(a) メニューバー

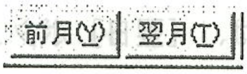


［データ］メニューの［前月］コマンドまたは、［翌月］コマンドをクリックします。

前月または翌月のデータを表示します。

このコマンドは、「月報」画面が表示されているときに表示されます。

(b) コマンドボタン

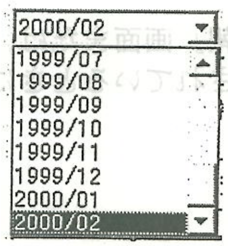


［前月］ボタンまたは、［翌月］ボタンをクリックします。

前月または翌月のデータを表示します。

このボタンは、「月報」画面または、「月報－［修正］」画面が表示されているときに表示されます。

(c) ボックス



［表示月］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示する月をクリックします。

指定した月のデータを表示します。

当月から前 24 ヶ月分のデータを表示できます。

例えば、当月が 2000 年 02 月の場合は、1998 年 03 月～2000 年 02 月までのデータを表示できます。

このボックスは、「月報」画面または、「月報－［修正］」画面が表示されているときに表示されます。

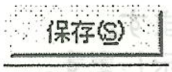
(9) 保存する

(a) メニューバー

［データ］メニューの［保存］コマンドをクリックします。

「日報・月報－［保存］」画面を表示します。

(b) コマンドボタン



［保存］ボタンをクリックします。
「日報・月報－［保存］」画面を表示します。

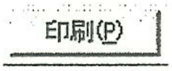
(10) 印刷する

(a) メニューバー

［データ］メニューの［印刷］コマンドをクリックします。

「日報・月報－［印刷］」画面を表示します。

(b) コマンドボタン



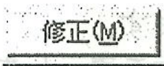
［印刷］ボタンをクリックします。
「日報・月報－［印刷］」画面を表示します。

(11) 修正する

(a) メニューバー

［データ］メニューの［修正］コマンドをクリックします。
「データ修正確認」画面を表示します。

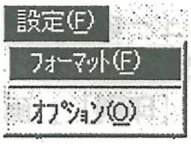
(b) コマンドボタン



［修正］ボタンをクリックします。
「データ修正確認」画面を表示します。

(12) フォーマットを設定する

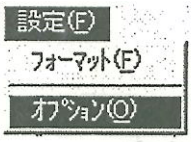
(a) メニューバー



［設定］メニューの［フォーマット］コマンドをクリックします。
「フォーマット設定確認」画面を表示します。

(13) オプションを設定する

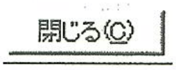
(a) メニューバー



［設定］メニューの［オプション］コマンドをクリックします。
「日報・月報－［オプション］」画面を表示します。

(14) 閉じる

(a) コマンドボタン

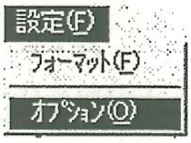


［閉じる］ボタンをクリックします。
「日報・月報」画面を閉じます。

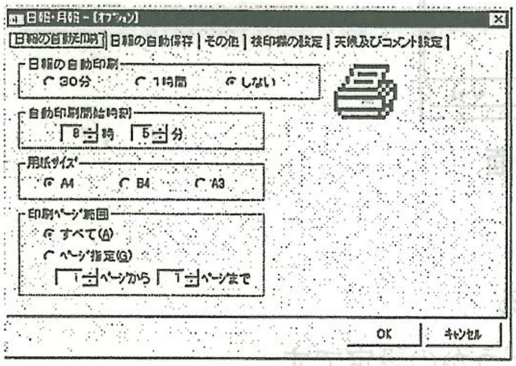
4.4.2 日報・月報オプション

日報・月報のオプションを設定します。

(1)「日報・月報－［オプション］」画面を表示する



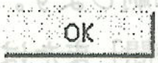
「日報」または「月報」画面から、［設定］メニューの［オプション］コマンドをクリックします。



「日報・月報－［オプション］」画面を表示します。

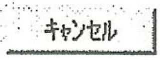
図 4.4-4 日報・月報－［オプション］画面

(a) オプション設定を登録し、終了する



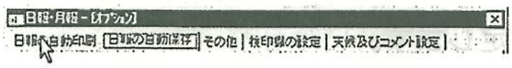
［OK］ボタンをクリックします。
設定内容を登録し、「日報・月報－［オプション］」画面を閉じます。

(b) オプション設定を登録せずに、終了する

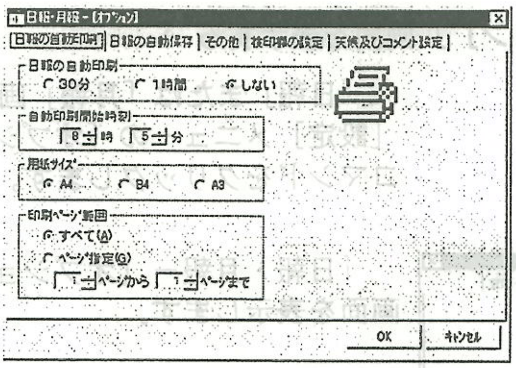


［キャンセル］ボタンをクリックします。
設定内容を登録せずに、「日報・月報－［オプション］」画面を閉じます。

(2) 「日報の自動印刷」画面を表示する



［日報の自動印刷］タブをクリックします。



「日報の自動印刷」画面が表示します。

図 4.4-5　日報の自動印刷画面

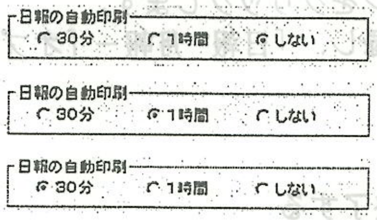
(a) 日報の自動印刷を設定する

日報の自動印刷を行うかどうかの設定です。

「３０分」に設定した場合、３０分単位の日報を午前と午後に分けて印刷します。

「１時間」に設定した場合、１時間単位の日報を印刷します。

「３０分」または「１時間」に設定した場合、「自動印刷開始時刻」として設定した時刻に、「印刷ページ範囲」として設定したページの前日の日報を、「用紙サイズ」として設定した用紙に、印刷します。

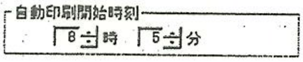


［３０分］、［１時間］または［しない］オプションボタンをクリックします。

(b) 自動印刷開始時刻を設定する

日報の自動印刷を行う時刻の設定です。

0 時 31 分から 23 時 59 分まで設定可能です。



上矢印または下矢印をクリックして時刻を設定します。

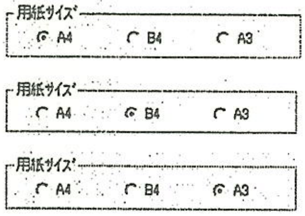
あるいは、［時］または［分］ボックスをクリックして、直接時刻を入力します。

⚠ 注　意
● 日報の自動印刷開始時刻は、定時データ計測の時刻（00 分、30 分）を避けて設定してください。

(c) 用紙サイズを設定する

日報を印刷する用紙のサイズの設定です。

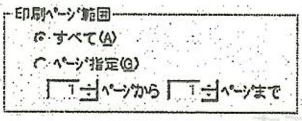
「Ａ４」、「Ｂ４」または「Ａ３」が設定可能です。プリンタの設定、セットされている用紙のサイズを確認して、設定してください。



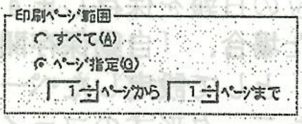
［Ａ４］、［Ｂ４］または［Ａ３］オプションボタンをクリックします。

(d) 印刷ページ範囲を設定する

日報の自動印刷の対象となるページの設定です。



［すべて］オプションボタンをクリックした場合、「日報フォーマット設定画面」で、フォーマットの設定を行った最初のページから最後のページまでを印刷します。



［ページ指定］オプションボタンをクリックした場合、指定したページのみ印刷します。

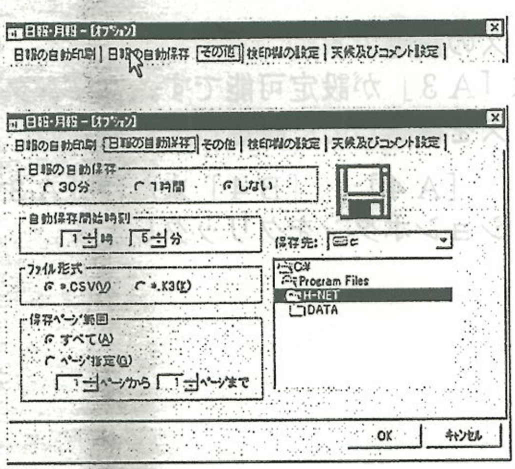
上矢印または下矢印をクリックしてページを指定します。

あるいは、［開始ページ］または［終了ページ］ボックスをクリックして、直接ページを入力します。

1～100 ページが設定可能です。

◆ 補 足 ◆
● 日報の自動印刷を行うためには、印刷開始時刻にプリンタが印刷可能な状態になっている必要があります。 ● プリンタの設定と用紙サイズの設定が合っている必要があります。

(3) 「日報の自動保存」画面を表示する



［日報の自動保存］タブをクリックします。

「日報の自動保存」画面が表示します。

図 4.4-6　日報の自動保存画面

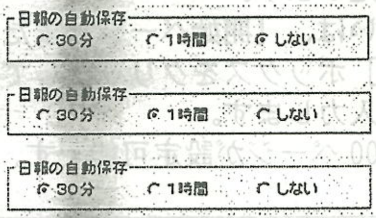
(a) 日報の自動保存を設定する

日報の自動保存を行うかどうかの設定です。

「３０分」に設定した場合、３０分単位の日報を保存します。

「１時間」に設定した場合、１時間単位の日報を保存します。

「３０分」または「１時間」に設定した場合、「自動保存開始時刻」として設定した時刻に、「保存ページ範囲」として設定したページの前日の日報を、「ファイル形式」として設定したデータ形式のファイルで、「保存先」として設定したディレクトリに保存します。

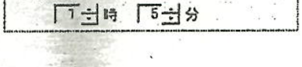


［３０分］、［１時間］または［しない］オプションボタンをクリックします。

(b) 自動保存開始時刻を設定する

日報の自動保存を行う時刻の設定です。

0 時 31 分から 23 時 59 分まで設定可能です。



上矢印または下矢印をクリックして時刻を設定します。

あるいは、［時］または［分］ボックスをクリックして、直接時刻を入力します。

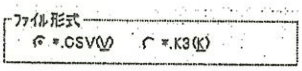
⚠ 注　意
● 日報の自動保存開始時刻は、定時データ計測の時刻（00 分、30 分）を避けて設定してください。

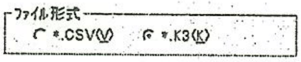
(c) ファイル形式を設定する

日報をフロッピーディスク等に保存するデータファイルの形式の設定です。

「ＣＳＶ」または「Ｋ３」が設定可能です。

使用する表計算ソフトのファイル形式に合わせて設定してください。

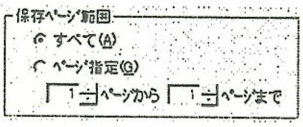




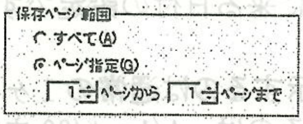
［*.CSV］または［*.K3］オプションボタンをクリックします。

(d) 保存ページ範囲を設定する

日報の自動保存の対象となるページの設定です。



［すべて］オプションボタンをクリックした場合、「日報フォーマット設定画面」で、フォーマットの設定を行った最初のページから最後のページまでを保存します。



［ページ指定］オプションボタンをクリックした場合、指定したページのみ保存します。

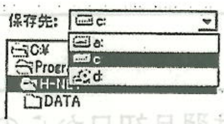
上矢印または下矢印をクリックしてページを指定します。

あるいは、［開始ページ］または［終了ページ］ボックスをクリックして、直接ページを入力します。

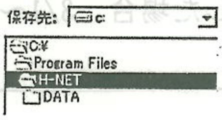
1～100 ページが設定可能です。

(e) 保存先を設定する

日報データを保存するドライブおよびディレクトリの設定です。



［保存先ドライブ］ボックスの矢印部分をクリックし、リストから保存先ドライブをクリックします。



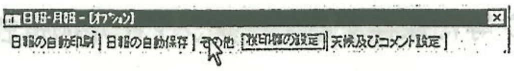
［保存先ディレクトリ］一覧から保存先ディレクトリを選択します。

［フォルダ］をダブルクリックすると、その下の階層を表示します。

◆ 補 足 ◆

● 存在しないドライブまたはディレクトリを指定することはできません。ドライブの存在を確認し、ディレクトリを作成後、再度設定を行ってください。

(4) 「その他」画面を表示する



[その他] タブをクリックします。

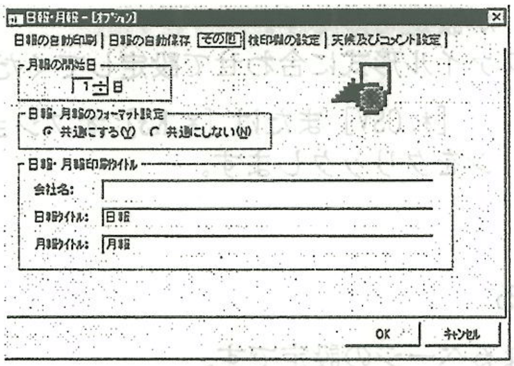


図 4.4-7　その他画面

「その他」画面が表示します。

(a) 月報の開始日を設定する

月報表示時または印刷時に、月の先頭に来る日付の設定です。
1 日から 31 日まで設定可能です。

開始日を「1 日」と設定した場合、表示するのは通常の 1 ヶ月間のデータです。例えば 4 月の月報として表示するのは、4/1～4/30 までのデータです。

「1 日」以外に設定した場合、表示するのは前月から当月にまたがったデータです。例えば「21 日」と設定した場合には、3/21～4/20 までのデータが 4 月の月報となります。

上矢印または下矢印をクリックして開始日を指定します。

あるいは、[開始日] ボックスをクリックして、直接開始日を入力します。

◆　補　足　◆
● 該当月に作成開始日がなかった場合には、月報は翌月初日からのデータとなります。例えば開始日を「30 日」と設定した場合、3/1～3/29 までのデータが 3 月の月報になります。

(b) 日報・月報のフォーマット設定を設定する

日報と月報のフォーマット設定を共通にするかどうかの設定です。

「共通にする」に設定した状態で、日報または月報のフォーマットを設定すると、日報と月報のフォーマットの設定が共通になります。

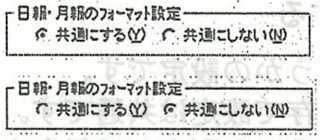
「共通にしない」に設定した状態では、日報と月報で異なるフォーマットの設定が可能です。

「共通にする」または「共通にしない」に設定を切り替えた後に、日報または月報のフォーマットを設定した部分が有効になります。それ以前にフォーマットを設定した部分は変わりません。

「共通にしない」に設定し、日報と月報で異なるフォーマットを設定した後で、「共通にする」に変更した場合、日報のフォーマットの設定で月報も表示します。

再び「共通にしない」に変更した場合、以前に日報と月報で異なるフォーマットに設定した部分は元に戻ります。

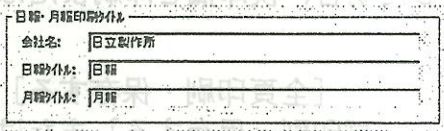
デフォルトの設定は「共通にする」になっています。



[共通にする] または [共通にしない] オプションボタンをクリックします。

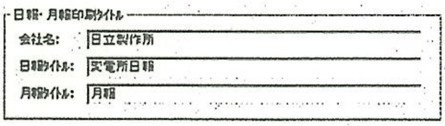
(c) 日報・月報印刷タイトルを設定する

日報と月報の印刷時のタイトルの設定です。



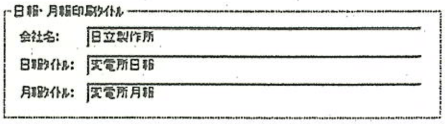
[会社名] ボックスをクリックし、会社名を入力します。

会社名は、全角文字で 20 文字（半角文字で 40 文字）の長さまで設定できます。



[日報タイトル] ボックスをクリックし、日報のタイトルを入力します。

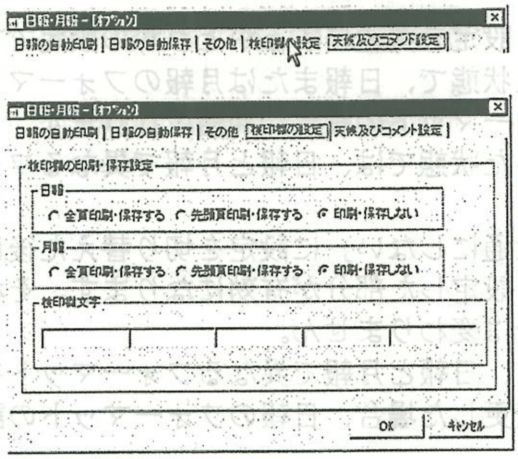
日報タイトルは、全角文字で 12 文字（半角文字で 24 文字）の長さまで設定できます。



[月報タイトル] ボックスをクリックし、月報のタイトルを入力します。

月報タイトルは、全角文字で 12 文字（半角文字で 24 文字）の長さまで設定できます。

(5) 「検印欄の設定」画面を表示する



［検印欄の設定］タブをクリックします。

「検印欄の設定」画面が表示します。

図 4.4-8 検印欄の設定画面

(a) 日報への検印欄の印刷・保存を設定する

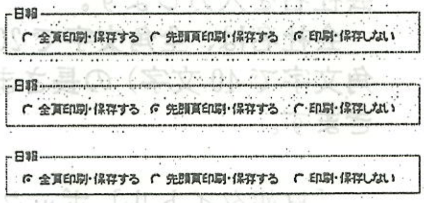
日報へ検印欄の印刷・保存を行うかどうかの設定です。

日報の手動印刷・保存、自動印刷・保存で設定は共通です。

「全頁印刷・保存する」に設定した場合、印刷または保存を行う全ての頁に検印欄を印刷または保存します。

「先頭頁印刷・保存する」に設定した場合、印刷または保存を行う最初の頁のみ検印欄を印刷または保存します。

「印刷・保存しない」に設定した場合、検印欄を印刷または保存しません。



［全頁印刷・保存する］、［先頭頁印刷・保存する］または［印刷・保存しない］オプションボタンをクリックします。

(b) 月報への検印欄の印刷・保存を設定する

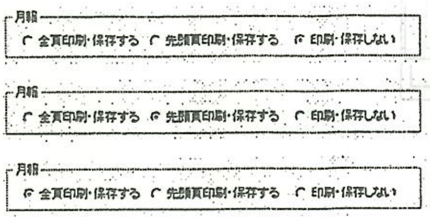
月報へ検印欄の印刷・保存を行うかどうかの設定です。

月報の手動印刷・保存で設定は共通です。

「全頁印刷・保存する」に設定した場合、印刷または保存を行う全ての頁に検印欄を印刷または保存します。

「先頭頁印刷・保存する」に設定した場合、印刷または保存を行う最初の頁のみ検印欄を印刷または保存します。

「印刷・保存しない」に設定した場合、検印欄を印刷または保存しません。



［全頁印刷・保存する］、［先頭頁印刷・保存する］または［印刷・保存しない］オプションボタンをクリックします。

(c) 検印欄の文字を設定する

検印欄の文字の設定です。

日報と月報で設定は共通です。

最大５列まで設定可能です。

右側の列から詰めて入力を行ってください。左側の空白の列は、検印欄枠を印刷しません。例えば以下のように設定した場合は、右から３列の検印欄が印刷または保存されます。

［検印欄文字］ボックスをクリックし、検印欄文字を入力します。

検印欄文字は、全角文字で５文字（半角文字で 10 文字）の長さまで設定できます。

(6) 「天候及びコメント設定」画面を表示する

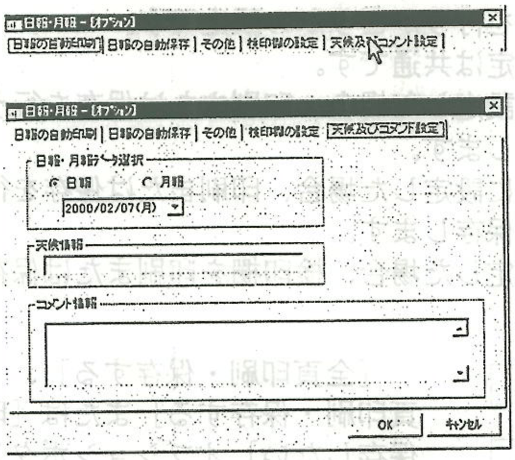


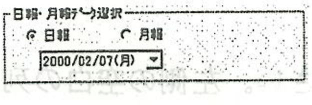
図 4.4-9　天候及びコメント設定画面

［天候及びコメント設定］タブをクリックします。

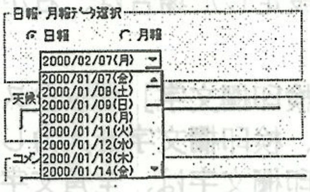
「天候及びコメント設定」画面が表示します。

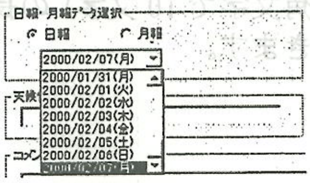
(a) 日報のデータを選択する

「天候情報」「コメント情報」を設定する日報データを選択します。



［日報］オプションボタンをクリックします。





［選択日付］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから選択する日付をクリックします。このボックスは、［日報］オプションボタンがチェックされているときに表示されます。

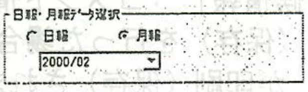
選択した日付の「天候情報」「コメント情報」を設定できます。

本日から前 32 日分の情報を設定できます。

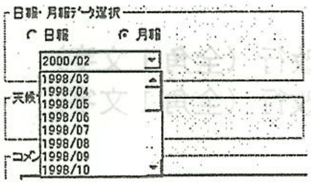
例えば、本日が 2000 年 02 月 07 日の場合は、2000 年 01 月 07 日～2000 年 02 月 07 日までの日付を選択できます。

(b) 月報のデータを選択する

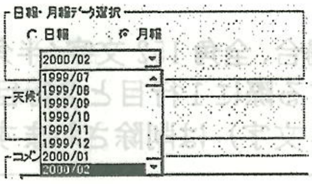
「コメント情報」を設定する月報データを選択します。



［月報］オプションボタンをクリックします。



［選択月］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから選択する月をクリックします。このボックスは、［月報］オプションボタンがチェックされているときに表示されます。



選択した月の「コメント情報」を設定できます。

当月から前24ヶ月分の情報を設定できます。

例えば、当月が2000年02月の場合は、1998年03月～2000年02月までの月を選択できます。

(c) 天候情報を設定する

日報の天候情報の設定です。（月報には設定できません。）

日報に「天候（入力文字）」を印刷または保存します。カッコの中は、入力文字数に関わらず、半角20文字分あけて印刷、または半角20文字分になるように空白文字を挿入して保存します。

日報の先頭頁にのみ天候情報を印刷または保存します。

［天候情報］ボックスをクリックし、天候情報を入力します。

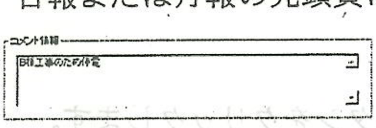
天候情報は、全角文字で10文字（半角文字で20文字）の長さまで設定できます。

(d) コメント情報を設定する

日報または月報のコメント情報の設定です。

日報または月報にコメント情報を印刷または保存します。入力文字数に関わらず、コメント枠を印刷します。

日報または月報の先頭頁にのみコメント情報を印刷または保存します。



［コメント情報］ボックスをクリックし、コメント情報を入力します。

コメント情報は、全角文字で50文字（半角文字で100文字）×3行＝全角文字で150文字（半角文字で300文字）の長さまで設定できます。

◆ 補　足 ◆

- 「天候及びコメント設定」画面にて、「天候情報」「コメント情報」の設定を行ってから、日報（月報）の印刷（保存）を行った場合、日報（月報）に「天候情報」「コメント情報」が印刷（保存）されます。
- 「コメント情報」の入力文字は、
  1行目：全角50文字（半角100文字）＋改行（全角1文字）
  2行目：全角50文字（半角100文字）＋改行（全角1文字）
  3行目：全角50文字（半角100文字）
  ＝全角152文字（半角304文字）
  となっています。
  改行を入れずに文字を連続して入力した場合、全角152文字（半角304文字）まで入力できますが、設定を登録する際に1行目と2行目に改行が挿入され、最後の全角2文字（半角4文字）は削除されます。

(e) 設定を変更し、日付または月を切り替える

設定を変更して、日報／月報切り替え、選択日付切り替え、または選択月切り替えを行うと、確認画面を表示します。

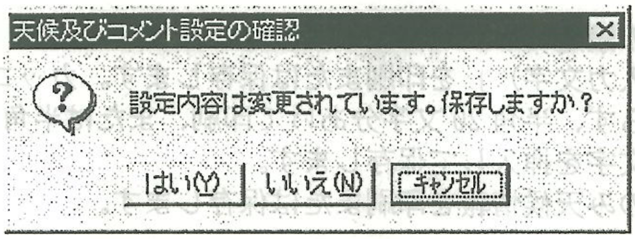
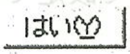


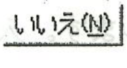
図 4.4-10　設定内容変更確認画面

(i) 設定を登録し、画面を切り替える



［はい］ボタンをクリックします。
表示されている設定を登録し、画面を切り替えます。

(ii) 設定を登録せずに、画面を切り替える



［いいえ］ボタンをクリックします。
表示されている設定を登録せずに、画面を切り替えます。

(iii) 画面を切り替えない

［キャンセル］ボタンをクリックします。
画面は切り替わりません。

(f) 設定を変更し、タブを切り替える

設定を変更して、「天候及びコメント設定」タブ以外を選択すると、確認画面を表示します。

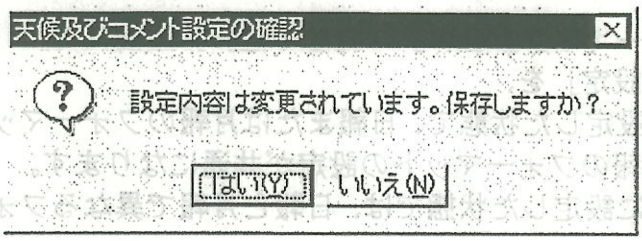
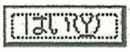


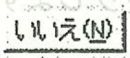
図 4.4-11 設定内容変更確認画面

(ⅰ) 設定を登録し、画面を切り替える



[はい] ボタンをクリックします。
表示されている設定を登録し、画面を切り替えます。

(ⅱ) 設定を登録せずに、画面を切り替える



[いいえ] ボタンをクリックします。
表示されている設定を登録せずに、画面を切り替えます。

4.4.3 フォーマット設定

● 日報または月報のフォーマットを設定します。

● 1ページあたり 24 項目、最大 100 ページまでの設定が可能です。

● 「［日報・月報］－［オプション］－［その他］」画面にて、［日報・月報のフォーマット設定］を、
「共通にする」に設定した状態で、日報または月報のフォーマットを設定すると、日報と月報のフォーマットの設定が共通になります。
「共通にしない」に設定した状態では、日報と月報で異なるフォーマットの設定が可能です。
「共通にする」または「共通にしない」に設定してから日報または月報のフォーマットの設定を行ってください。

(1) 「フォーマット設定」画面を表示する

「日報」または「月報」画面から、［設定］メニューの［フォーマット］コマンドをクリックします。

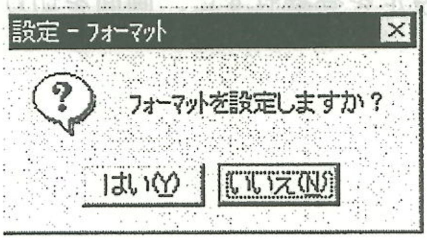


図 4.4-12 フォーマット設定確認画面

「フォーマット設定確認」画面を表示します。
［はい］ボタンをクリックすると、「日報－［フォーマット］」設定または「月報－［フォーマット］」設定画面を表示します。
［いいえ］ボタンをクリックすると、「日報」または「月報」画面へ戻ります。

列(項目)の番号 (24 項目設定可能)

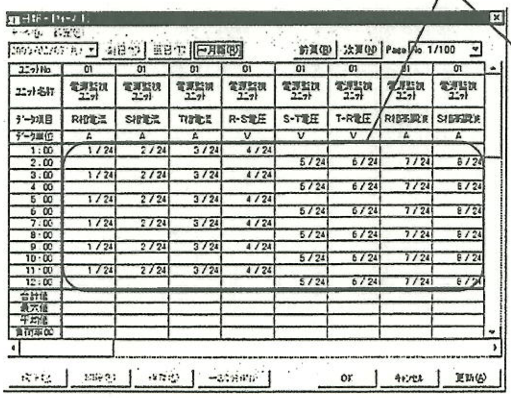


図 4.4-13 日報－［フォーマット］設定画面

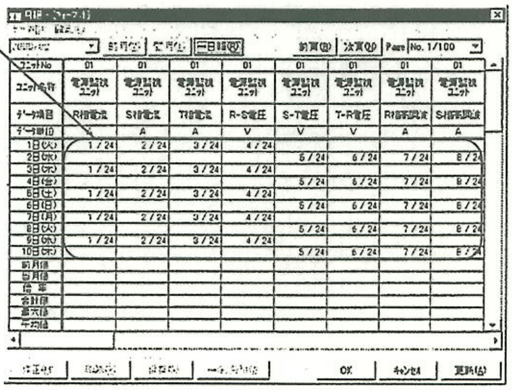


図 4.4-14 月報－［フォーマット］設定画面

(2) ユニットNo.を設定する

「ユニットNo.」行のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

ボックスをクリックすると、リストが表示します。

［ユニットNo.］ボックスのリストから設定するユニットNo.をクリックします。

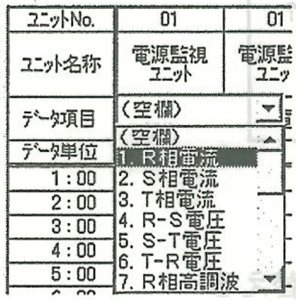
リストに表示されるのは、「ユニット登録」画面で「接続」に登録したユニットNo.です。

（空欄）に設定した列には、データは表示されません。

(3) データ項目を設定する

「データ項目」行のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

ボックスをクリックすると、リストが表示します。

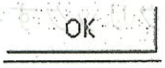


［データ項目］ボックスのリストから設定するデータ項目をクリックします。

リストに表示される項目は、［ユニットNo.］に設定した「ユニット機種」により異なります。

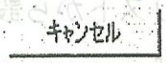
（空欄）に設定した列には、データは表示されません。

(4) フォーマット設定を登録し、終了する



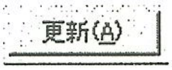
［ＯＫ］ボタンをクリックします。
表示されているフォーマットを登録し、「日報」または「月報」画面へ戻ります。

(5) フォーマット設定を登録せずに、終了する



［キャンセル］ボタンをクリックします。
表示されているフォーマットを登録せずに、「日報」または「月報」画面へ戻ります。

(6) フォーマット設定を登録する



［更新］ボタンをクリックします。
表示されているフォーマットを登録します。「フォーマット設定」画面のままです。

(7) フォーマット設定を登録するまえに、画面を切り替える

［更新］ボタンをクリックする前に、日報／月報切り替え、または頁切り替えを行うと、確認画面を表示します。

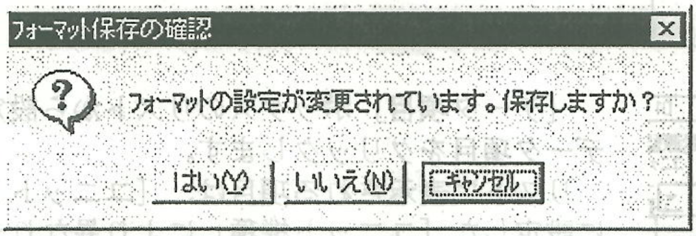
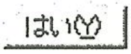


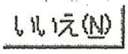
図 4.4-15　フォーマット設定変更確認画面

(a) フォーマット設定を登録し、画面を切り替える



［はい］ボタンをクリックします。
表示されているフォーマットを登録し、画面を切り替えます。

(b) フォーマット設定を登録せずに、画面を切り替える



［いいえ］ボタンをクリックします。
表示されているフォーマットを登録せずに、画面を切り替えます。

(c) 画面を切り替えない

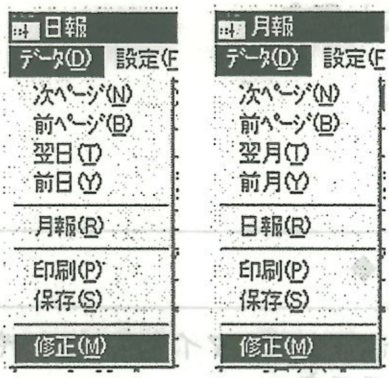
［キャンセル］ボタンをクリックします。
画面は切り替わりません。

4.4.4 データ修正

日報または月報のデータを修正します。

(1) 「修正」画面を表示する

「修正」画面を表示するには、次の2つの方法があります。



① 「日報」または「月報」画面から、[データ] メニューの [修正] コマンドをクリックします。

② 「日報」または「月報」画面から、[修正] ボタンをクリックします。

図 4.4-16 データ修正確認画面

「データ修正確認」画面を表示します。

[はい] ボタンをクリックすると、「日報－[修正]」または「月報－[修正]」画面を表示します。

[いいえ] ボタンをクリックすると、「日報」または「月報」画面へ戻ります。

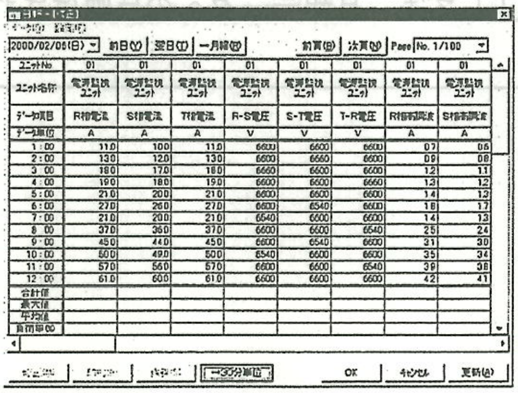


図 4.4-17 日報－[修正] 画面

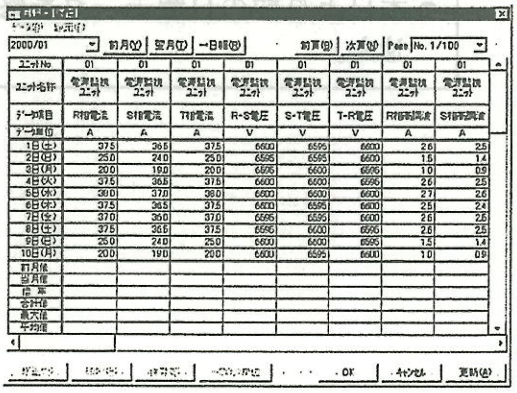
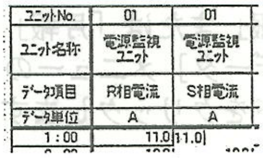


図 4.4-18 月報－[修正] 画面

(2) データを修正する

ユニットNo.	01	01
ユニット名称	電源監視ユニット	電源監視ユニット
データ項目	R相電流	S相電流
データ単位	A	A
1:00	11.0	10.0

修正するデータのセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。



ユニットNo.	01	01
ユニット名称	電源監視ユニット	電源監視ユニット
データ項目	R相電流	S相電流
データ単位	A	A
1:00	11.0	11.0

データを入力します。

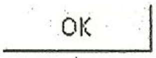
◆ 補　足 ◆

- 日報データまたは月報データに入力できるのは、マイナス（－）やコンマ（.）を含め、７文字のデータまでです。
- 修正可能な日報データは１時間毎（30分毎）のデータのみです。
- 修正可能な月報データは日毎のデータのみです。「前月値」「当月値」データの修正はできません。

⚠ 注　意

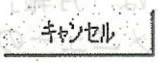
- 本日の日報（または今月の月報）データを修正する場合、修正操作は毎時 :00、:30 の定時計測処理（または0:00の月報更新処理）に重ならない時間帯に行ってください。データの値が異常となることがあります。
- 本日より前の日報データを修正しても、月報データへの反映はされません。

(3) データ修正を登録し、終了する



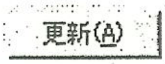
［ＯＫ］ボタンをクリックします。
表示されているデータを登録し、「日報」または「月報」画面へ戻ります。

(4) データ修正を登録せずに、終了する



［キャンセル］ボタンをクリックします。
表示されているデータを登録せずに、「日報」または「月報」画面へ戻ります。

(5) データ修正を登録する



［更新］ボタンをクリックします。
表示されているデータを登録します。「修正」画面のままです。

(6) データ修正を登録するまえに、画面を切り替える

［更新］ボタンをクリックする前に、日報／月報切り替え、頁切り替え、日付切り替え、または修正月切り替えを行うと、確認画面を表示します。

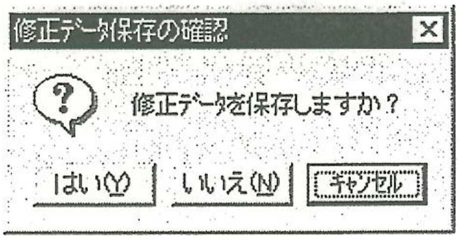
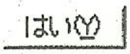


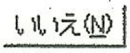
図 4.4-19　修正データ保存確認画面

(a) データ修正を登録し、画面を切り替える



［はい］ボタンをクリックします。
表示されているデータを登録し、画面を切り替えます。

(b) データ修正を登録せずに、画面を切り替える



［いいえ］ボタンをクリックします。
表示されているデータを登録せずに、画面を切り替えます。

(c) 画面を切り替えない

［キャンセル］ボタンをクリックします。
画面は切り替わりません。

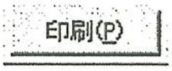
4.4.5 データ印刷

日報または月報のデータを印刷します。

(1) 「日報・月報－［印刷］」画面を表示する

「日報・月報－［印刷］」画面を表示するには、次の２つの方法があります。

① 「日報」または「月報」画面から、［データ］メニューの［印刷］コマンドをクリックします。



② 「日報」または「月報」画面から、［印刷］ボタンをクリックします。

「日報・月報－［印刷］」画面を表示します。

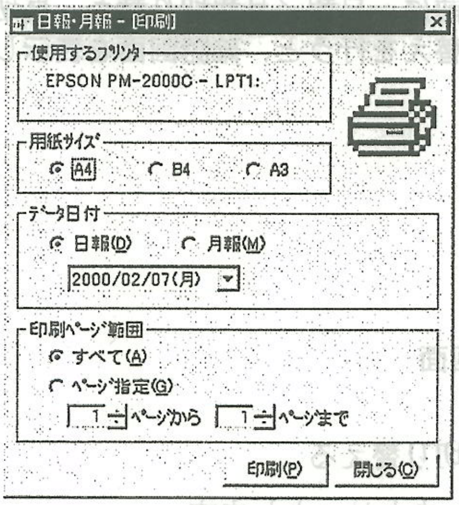
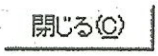


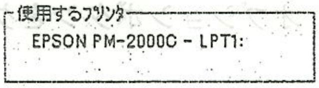
図 4.4-20　日報・月報
－［印刷］画面

(2) 閉じる



［閉じる］ボタンをクリックします。
「日報・月報－［印刷］」画面が閉じて、［日報］または「月報」画面へ戻ります。

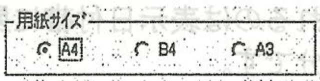
(3) 使用するプリンタの機種

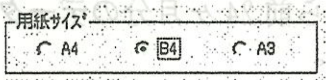


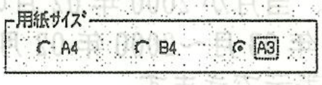
使用するプリンタの機種を表示します。
ご使用のパソコンにて、通常使うプリンタに設定しているプリンタの機種を表示します。

(4) 用紙サイズを設定する

日報および月報を印刷する用紙のサイズの設定です。
「A４」、「B４」または「A３」が設定可能です。プリンタの設定、セットされている用紙のサイズを確認して、設定してください。

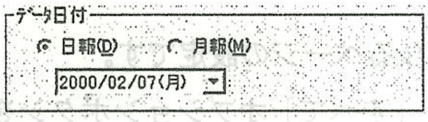




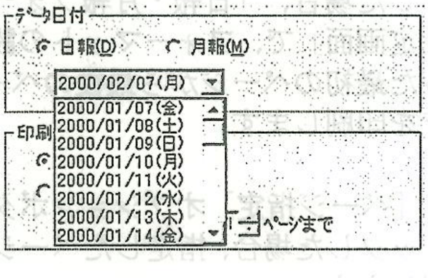


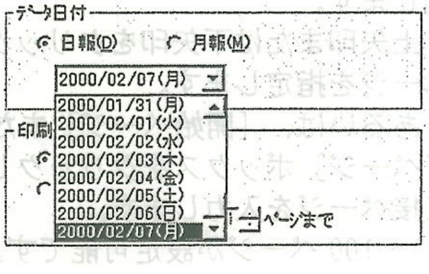
［A４］、［B４］または［A３］オプションボタンをクリックします。

(5) 日報データを印刷する



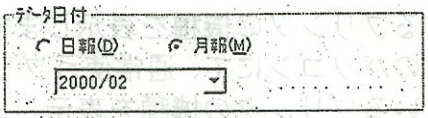
［日報］オプションボタンをクリックします。



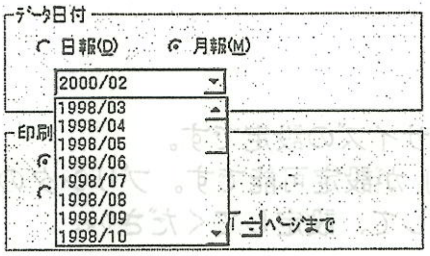


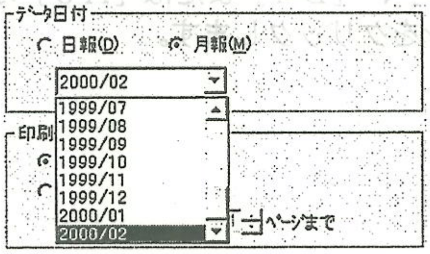
［日付］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから印刷する日付をクリックします。このボックスは、［日報］オプションボタンがチェックされているときに表示されます。
指定した日付のデータを印刷します。
印刷されるのは表示時間帯に関係なく１日分です。
本日から前 32 日分のデータを印刷できます。
例えば、本日が 2000 年 02 月 07 日の場合は、2000 年 01 月 07 日～2000 年 02 月 07 日までのデータを表示できます。

(6) 月報データを印刷する



［月報］オプションボタンをクリックします。





［印刷月］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから印刷する月をクリックします。このボックスは、［月報］オプションボタンがチェックされているときに表示されます。

指定した月のデータを印刷します。

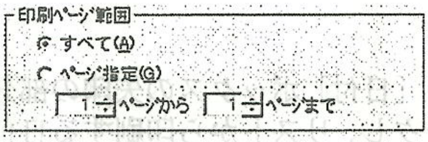
印刷されるのは表示日付帯に関係なく1ヶ月分です。

当月から前24ヶ月分のデータを印刷できます。

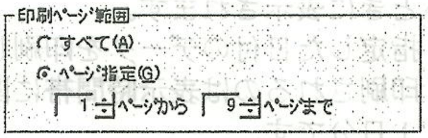
例えば、当月が2000年02月の場合は、1998年03月～2000年02月までのデータを表示できます。

(7) 印刷ページ範囲を設定する

日報および月報を印刷する対象となるページの設定です。



［すべて］オプションボタンをクリックした場合、「日報・月報フォーマット設定画面」で、フォーマットの設定を行った最初のページから最後のページまでを印刷します。



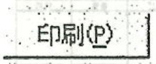
［ページ指定］オプションボタンをクリックした場合、指定したページのみ印刷します。

上矢印または下矢印をクリックしてページを指定します。

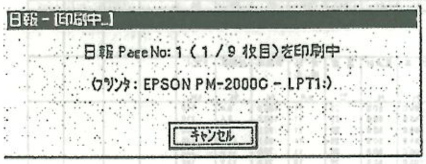
あるいは、［開始ページ］または［終了ページ］ボックスをクリックして、直接ページを入力します。

1～100ページが設定可能です。

(8) 印刷を開始する



［印刷］ボタンをクリックします。



「印刷中」画面を表示します。
印刷を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

図 4.4-21　印刷中画面

(9) 印刷例

日立製作所　　変電所日報　　2000年02月06日(日)　天候(晴れのち曇り　)　　PageNo. 1　2000年02月07日(月)発行

ユニット名称：電源監視ユニット

ユニットNo	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01
時刻	R相電流 A	S相電流 A	T相電流 A	R-S線間電圧 V	S-T線間電圧 V	T-R線間電圧 V	R相高調波電流 A	S相高調波電流 A	T相高調波電流 A	電力 kW	無効電力 kvar	電力量 kWh	無効電力量 kvarh	力率 %	周波数 Hz	温度 ℃	地絡電流 mA	負荷率 %	使用率 %	デマンド kW
1:00	11.0	10.0	11.0	6600	6600	6600	0.7	0.6	0.7	125	17	110	10	99.0	50.0	20	11	100.0	8.4	110
2:00	13.0	12.0	13.0	6600	6660	6600	0.9	0.8	0.9	147	20	130	10	99.0	50.0	20	11	83.5	10.0	140
3:00	18.0	17.0	18.0	6660	6600	6600	1.2	1.1	1.2	206	0	180	0	100.0	50.0	20	10	75.0	13.7	180
4:00	19.0	18.0	19.0	6600	6600	6660	1.3	1.2	1.3	217	0	200	0	100.0	50.0	21	10	81.5	14.5	200
5:00	21.0	20.0	21.0	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	235	45	210	30	-98.0	50.0	21	12	72.0	16.0	220
6:00	27.0	26.0	27.0	6600	6540	6600	1.8	1.7	1.8	309	0	270	0	100.0	50.0	22	10	77.0	20.6	280
7:00	21.0	20.0	21.0	6540	6600	6600	1.4	1.3	1.4	240	0	210	0	100.0	50.0	23	10	80.0	16.0	220
8:00	37.0	36.0	37.0	6600	6600	6540	2.5	2.4	2.5	419	59	380	40	-99.0	50.0	25	11	56.5	28.2	380
9:00	45.0	44.0	45.0	6600	6540	6600	3.1	3.0	3.1	514	0	450	0	100.0	50.0	26	10	55.5	34.3	460
10:00	50.0	49.0	50.0	6540	6600	6600	3.5	3.4	3.5	572	0	500	0	100.0	50.0	27	10	55.0	38.1	500
11:00	57.0	56.0	57.0	6600	6600	6540	3.9	3.8	3.9	630	123	580	110	98.0	50.0	28	12	51.0	43.4	580
12:00	61.0	60.0	61.0	6600	6600	6600	4.2	4.1	4.2	680	97	610	80	99.0	50.0	29	11	55.0	46.5	610
13:00	65.0	64.0	65.0	6600	6660	6600	4.5	4.4	4.5	743	0	650	0	100.0	50.0	30	10	54.5	49.5	660
14:00	70.0	69.0	70.0	6660	6600	6600	4.9	4.8	4.9	792	112	700	100	99.0	50.0	30	11	54.0	53.3	700
15:00	69.0	68.0	69.0	6600	6600	6660	4.8	4.7	4.8	789	0	690	0	100.0	50.0	30	10	57.0	52.6	700
16:00	64.0	63.0	64.0	6600	6600	6600	4.4	4.3	4.4	732	0	640	0	100.0	50.0	29	10	59.5	48.8	640
17:00	58.0	57.0	58.0	6600	6540	6600	4.0	3.9	4.0	650	126	580	110	-98.0	50.0	28	12	61.0	44.2	580
18:00	44.0	43.0	44.0	6540	6600	6600	3.0	2.9	3.0	503	0	430	0	100.0	50.0	27	10	61.0	33.5	440
19:00	33.0	32.0	33.0	6600	6600	6540	2.3	2.2	2.3	377	0	330	0	100.0	50.0	26	10	61.0	25.1	340
20:00	30.0	29.0	30.0	6600	6540	6600	2.1	2.0	2.1	340	48	300	30	99.0	50.0	25	11	60.0	22.9	300
21:00	26.0	25.0	26.0	6540	6600	6600	1.8	1.7	1.8	297	0	260	0	100.0	50.0	24	10	59.0	19.8	260
22:00	20.0	19.0	20.0	6600	6600	6540	1.4	1.3	1.4	226	32	200	20	99.0	50.0	23	11	57.0	15.2	200
23:00	20.0	19.0	20.0	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	229	0	200	0	100.0	50.0	22	10	56.0	15.2	200
24:00	16.0	14.0	16.0	6600	6660	6600	1.0	0.9	1.0	177	0	150	0	100.0	50.0	21	10	54.0	11.4	160
合計値												8980	540							
最大値	70.0	69.0	70.0	6660	6660	6660	4.9	4.9	4.9	792	126	700	110	99.0	50.0	30	12	100.0	53.3	700
平均値	37.3	36.3	37.3	6595	6595	6595	2.6	2.6	2.6	423	28	373	23	99.9	50.0	25	11	64.0	28.4	376
負荷率(%)												83.3	20.5							

［コメント］
B棟工事のため停電

図 4.4-22　1時間日報印刷例

日立製作所　　変電所月報　　2000年01月　　PageNo. 1　2000年02月07日(月)発行

ユニット名称：電源監視ユニット

日	曜	R相電流 A	S相電流 A	T相電流 A	R-S線間電圧 V	S-T線間電圧 V	T-R線間電圧 V	R相高調波電流 A	S相高調波電流 A	T相高調波電流 A	電力 kW	無効電力 kvar	電力量 kWh	無効電力量 kvarh	力率 %	周波数 Hz	温度 ℃	地絡電流 mA	負荷率 %	使用率 %	デマンド kW
ユニットNo		01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01	01
1	土	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50.0	25	11	64.0	28.0	373
2	日	25.0	24.0	25.0	6595	6595	6600	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.8	50.0	25	6	63.0	13.0	255
3	月	20.0	19.0	20.0	6595	6600	6595	1.0	0.9	1.0	228	8	4480	270	99.8	50.0	25	1	62.5	8.0	180
4	火	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6595	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50.0	26	11	63.0	28.0	373
5	水	38.0	37.0	38.0	6600	6600	6600	2.7	2.6	2.6	428	28	8960	540	99.9	50.0	26	11	63.0	28.0	380
6	木	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.5	2.4	2.6	423	28	8960	540	99.9	50.0	26	10	62.5	30.0	371
7	金	37.0	36.0	37.0	6595	6595	6600	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.9	50.0	26	11	62.0	29.0	373
8	土	37.5	36.5	37.5	6595	6600	6595	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50.0	26	11	61.5	28.0	375
9	日	25.0	24.0	25.0	6600	6600	6595	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.9	50.0	26	6	61.0	13.0	256
10	月	20.0	19.0	20.0	6600	6595	6600	1.0	0.9	1.0	228	8	4480	270	99.9	50.0	27	1	61.0	8.0	182
11	火	37.5	36.5	37.5	6595	6600	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50.0	27	11	60.5	28.0	373
12	水	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.6	50.0	27	11	60.5	30.0	258
13	木	37.0	36.0	37.0	6600	6600	6600	2.5	2.4	2.6	423	28	8960	540	99.9	50.0	27	10	60.0	28.0	183
14	金	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.9	50.0	27	11	59.5	28.0	375
15	土	38.0	37.0	38.0	6595	6595	6595	2.7	2.6	2.6	423	28	8960	540	99.5	50.0	27	11	59.0	28.0	370
16	日	25.0	24.0	25.0	6595	6595	6595	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.8	50.0	27	6	59.0	13.0	255
17	月	20.0	19.0	20.0	6595	6600	6595	1.0	0.9	1.0	228	8	4480	270	99.8	50.0	27	1	58.5	8.0	180
18	火	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50.0	26	11	58.5	28.0	373
19	水	38.0	37.0	38.0	6600	6595	6600	2.7	2.6	2.6	428	28	8960	540	99.5	50.0	26	11	58.0	29.0	375
20	木	37.0	36.0	37.0	6595	6600	6595	2.5	2.4	2.5	423	28	8960	540	99.5	50.0	25	10	58.0	28.0	377
21	金	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.9	50.0	25	11	57.5	30.0	375
22	土	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.5	50.0	25	11	57.0	28.0	376
23	日	25.0	24.0	25.0	6600	6595	6600	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.8	50.0	25	6	56.0	13.0	254
24	月	20.0	19.0	20.0	6595	6600	6595	1.0	0.9	1.0	228	8	4480	270	99.8	50.0	25	1	55.5	8.0	182
25	火	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.5	50.0	25	11	56.0	28.0	373
26	水	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.5	50.0	25	11	55.5	29.0	371
27	木	37.0	36.0	37.0	6595	6595	6595	2.5	2.4	2.6	423	28	8960	540	99.9	50.0	24	10	55.5	28.0	373
28	金	37.5	36.5	37.5	6595	6600	6595	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.5	50.0	24	11	55.0	29.0	370
29	土	38.0	37.0	38.0	6600	6600	6600	2.7	2.6	2.6	423	28	8960	540	99.5	50.0	24	11	54.5	28.0	375
30	日	25.0	24.0	25.0	6600	6600	6600	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.8	50.0	24	6	54.0	13.0	255
31	月	20.0	19.0	20.0	6600	6595	6600	1.0	0.9	1.0	422	8	4480	270	99.8	50.0	24	1	53.6	8.0	183
前月値													462630	184270							
当月値													703540	168760							
倍率													1.00	1.00							
合計値													240710	14490							
最大値		38.0	37.0	38.0	6600	6600	6600	2.7	2.6	2.6	428	28	8960	540	99.9	50.0	27	11	64.0	30.0	380
平均値		32.7	31.7	32.7	6598	6598	6598	2.2	2.1	2.2	377	22	7765	467	99.9	50.0	26	9	58.9	22.7	314

［コメント］
12月29日(水)から1月4日(火)まで冬期休暇

図 4.4-23　月報印刷例

日立製作所　　　　変電所日報　　　　2000年02月06日(日)　天候(晴れのち曇り　　)

Page No: 1-AM
2000年02月07日(月)発行

承認	審査	作成

ユニットNo: 01（各列）
ユニット名称: 電源監視ユニット

時刻	R相電流 A	S相電流 A	T相電流 A	R-S線間電圧 V	S-T線間電圧 V	T-R線間電圧 V	R相高調波電流 A	S相高調波電流 A	T相高調波電流 A	電力 kW	無効電力 kvar	電力量 kWh	無効電力量 kvarh	力率 %	周波数 Hz	温度 ℃	地絡電流 mA	負荷率 %	使用率 %	デマンド kW
0:30	11.0	10.0	11.0	6600	6600	6600	0.7	0.6	0.7	125	17	60	0	99.0	50.0	20	11	100.0	8.4	110
1:00	11.0	10.0	11.0	6600	6600	6600	0.7	0.6	0.7	125	17	60	10	95.0	50.0	20	11	100.0	8.4	110
1:30	12.0	11.0	12.0	6600	6600	6600	0.8	0.7	0.8	136	19	60	0	99.0	50.0	20	11	92.0	9.2	130
2:00	13.0	12.0	13.0	6600	6660	6600	0.9	0.8	0.9	147	20	70	10	99.0	50.0	20	11	83.5	10.0	140
2:30	16.0	15.0	16.0	6600	6600	6600	1.1	1.0	1.1	177	0	90	0	100.0	50.0	20	11	79.5	11.5	160
3:00	18.0	17.0	18.0	6660	6600	6600	1.2	1.1	1.2	206	0	90	0	100.0	50.0	20	10	75.0	13.7	180
3:30	19.0	18.0	19.0	6600	6600	6600	1.3	1.2	1.3	212	0	100	0	100.0	50.0	21	10	78.5	14.1	190
4:00	19.0	18.0	19.0	6600	6660	6660	1.3	1.2	1.3	217	0	100	0	100.0	50.0	21	10	81.5	14.5	200
4:30	20.0	19.0	20.0	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	228	23	100	10	-99.0	50.0	21	11	77.0	15.3	210
5:00	21.0	20.0	21.0	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	235	45	110	20	-99.0	50.0	21	12	72.0	16.0	220
5:30	24.0	23.0	24.0	6600	6600	6600	1.6	1.5	1.6	272	0	130	0	-99.0	50.0	22	11	74.5	18.3	250
6:00	27.0	26.0	27.0	6600	6540	6600	1.9	1.7	1.8	309	0	140	0	100.0	50.0	22	10	77.0	20.8	280
6:30	24.0	23.0	24.0	6600	6600	6600	1.6	1.5	1.6	275	0	100	0	100.0	50.0	23	10	78.5	18.3	250
7:00	21.0	20.0	21.0	6540	6600	6600	1.4	1.3	1.4	240	0	110	0	100.0	50.0	23	10	80.0	16.0	220
7:30	29.0	28.0	29.0	6600	6600	6600	2.0	1.9	2.0	330	55	190	20	100.0	50.0	24	11	65.5	22.1	300
8:00	37.0	36.0	37.0	6600	6600	6540	2.5	2.4	2.5	419	59	190	20	-99.0	50.0	25	11	56.5	28.2	380
8:30	41.0	40.0	41.0	6600	6600	6600	2.8	2.7	2.8	467	0	220	0	100.0	50.0	26	11	56.0	31.3	420
9:00	45.0	44.0	45.0	6600	6540	6600	3.1	3.0	3.1	514	0	230	0	100.0	50.0	26	10	55.5	34.3	460
9:30	48.0	47.0	48.0	6600	6600	6600	3.3	3.2	3.3	543	0	250	0	100.0	50.0	27	10	55.5	36.2	480
10:00	50.0	49.0	50.0	6540	6600	6600	3.5	3.4	3.5	572	0	250	0	100.0	50.0	27	10	55.0	38.1	500
10:30	54.0	53.0	54.0	6600	6600	6600	3.7	3.6	3.7	608	100	290	80	99.0	50.0	28	11	53.0	40.8	540
11:00	57.0	56.0	57.0	6600	6600	6540	3.9	3.8	3.9	639	123	290	60	98.0	50.0	28	12	51.0	43.4	580
11:30	59.0	58.0	59.0	6600	6600	6600	4.1	4.0	4.1	665	110	300	40	99.0	50.0	29	12	53.0	45.0	600
12:00	61.0	60.0	61.0	6600	6600	6600	4.2	4.1	4.2	690	97	310	40	99.0	50.0	29	11	55.0	46.5	610

図 4.4-24　30 分日報（午前）印刷例

承認	審査	作成

日立製作所　　　　変電所日報　　　　2000年02月06日(日)

Page No: 1-PM
2000年02月07日(月)発行

ユニットNo: 01（各列）
ユニット名称: 電源監視ユニット

時刻	R相電流 A	S相電流 A	T相電流 A	R-S線間電圧 V	S-T線間電圧 V	T-R線間電圧 V	R相高調波電流 A	S相高調波電流 A	T相高調波電流 A	電力 kW	無効電力 kvar	電力量 kWh	無効電力量 kvarh	力率 %	周波数 Hz	温度 ℃	地絡電流 mA	負荷率 %	使用率 %	デマンド kW
12:30	63.0	62.0	63.0	6600	6600	6600	4.4	4.3	4.4	717	0	320	0	100.0	50.0	30	11	55.0	48.0	640
13:00	65.0	64.0	65.0	6600	6660	6600	4.5	4.4	4.5	743	0	330	0	100.0	50.0	30	10	54.5	49.5	660
13:30	68.0	67.0	68.0	6600	6600	6600	4.7	4.6	4.7	769	100	350	50	100.0	50.0	30	11	54.5	51.4	680
14:00	70.0	69.0	70.0	6660	6600	6600	4.9	4.8	4.9	792	112	350	50	99.0	50.0	30	11	54.0	53.3	700
14:30	70.0	69.0	70.0	6600	6600	6600	4.9	4.8	4.9	791	0	340	0	100.0	50.0	30	11	55.5	53.0	700
15:00	69.0	68.0	69.0	6600	6600	6660	4.8	4.7	4.8	789	0	350	0	100.0	50.0	30	10	57.0	52.6	700
15:30	67.0	66.0	67.0	6600	6600	6600	4.6	4.5	4.6	761	0	320	0	100.0	50.0	30	10	58.5	50.7	380
16:00	64.0	63.0	64.0	6600	6600	6600	4.4	4.3	4.4	732	0	320	0	100.0	50.0	29	10	59.5	48.8	640
16:30	61.0	60.0	61.0	6600	6600	6600	4.2	4.1	4.2	691	100	290	50	-99.0	50.0	29	11	60.5	46.5	320
17:00	58.0	57.0	58.0	6600	6540	6600	4.0	3.9	4.0	650	126	290	60	-98.0	50.0	28	12	61.0	44.2	580
17:30	51.0	50.0	51.0	6600	6600	6600	3.5	3.4	3.5	577	0	210	0	-99.0	50.0	28	11	61.0	38.9	520
18:00	44.0	43.0	44.0	6540	6600	6600	3.0	2.9	3.0	503	0	220	0	100.0	50.0	27	10	61.0	33.5	440
18:30	39.0	38.0	39.0	6600	6600	6600	2.7	2.6	2.7	440	0	180	0	100.0	50.0	27	10	61.0	29.3	400
19:00	33.0	32.0	33.0	6600	6600	6540	2.3	2.2	2.3	377	0	170	0	100.0	50.0	26	10	61.0	25.1	340
19:30	32.0	31.0	32.0	6600	6600	6600	2.2	2.1	2.2	358	20	150	10	100.0	50.0	26	11	60.8	24.0	320
20:00	30.0	29.0	30.0	6600	6540	6600	2.1	2.0	2.1	340	49	150	20	99.0	50.0	25	11	60.0	22.9	300
20:30	28.0	27.0	28.0	6600	6600	6600	2.0	1.9	2.0	319	0	130	0	100.0	50.0	25	11	59.5	21.4	280
21:00	26.0	25.0	26.0	6540	6600	6600	1.8	1.7	1.8	297	0	130	0	100.0	50.0	24	10	59.0	19.8	260
21:30	23.0	22.0	23.0	6600	6600	6600	1.6	1.5	1.6	262	30	100	10	100.0	50.0	24	11	58.0	17.5	240
22:00	20.0	19.0	20.0	6600	6600	6540	1.4	1.3	1.4	226	32	100	10	99.0	50.0	23	11	57.0	15.2	200
22:30	20.0	19.0	20.0	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	226	0	100	0	100.0	50.0	23	11	56.5	15.2	200
23:00	20.0	19.0	20.0	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	229	0	100	0	100.0	50.0	22	10	56.0	15.2	200
23:30	18.0	17.0	18.0	6600	6600	6600	1.2	1.1	1.2	201	0	70	0	100.0	50.0	22	10	55.0	13.3	180
24:00	15.0	14.0	15.0	6600	6600	6600	1.0	0.9	1.0	172	0	80	0	100.0	50.0	21	10	54.0	11.4	160
合計値												8960	640							
最大値	70.0	69.0	70.0	6660	6660	6660	4.9	4.8	4.9	792	126	350	60	98.0	50.0	30	12	100.0	53.3	700
平均値	37.3	36.3	37.3	6599	6598	6598	2.6	2.5	2.6	423	26	187	11	99.9	50.0	25	11	65.0	28.4	368
負荷率 (%)												50.3	18.8							

【コメント】
日曜工事のため停電

図 4.4-25　30 分日報（午後）印刷例

◆ 補　足 ◆

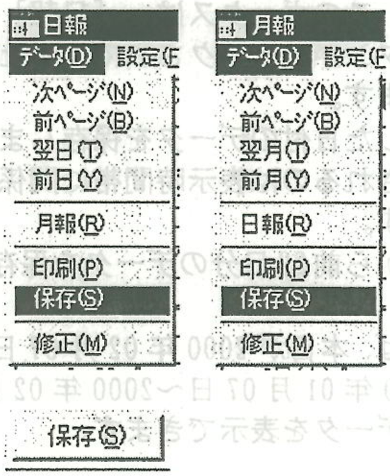
● 日報または月報に印刷できるのは、マイナス（－）やコンマ（.）を含め、７文字のデータまでです。データが７文字を超える値の場合、「*******」もしくは「*****.*」が印刷されます。

4.4.6 データ保存

日報または月報のデータを保存します。

(1) 「日報・月報－［保存］」画面を表示する

「日報・月報－［保存］」画面を表示するには、次の２つの方法があります。



① 「日報」または「月報」画面から、［データ］メニューの［保存］コマンドをクリックします。

② 「日報」または「月報」画面から、［保存］ボタンをクリックします。

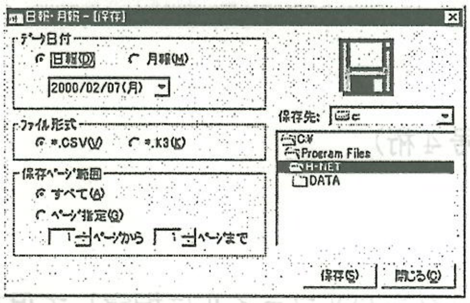
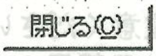


図 4.4-26 日報・月報－［保存］画面

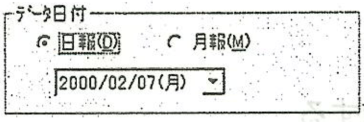
「日報・月報－［保存］」画面を表示します。

(2) 閉じる

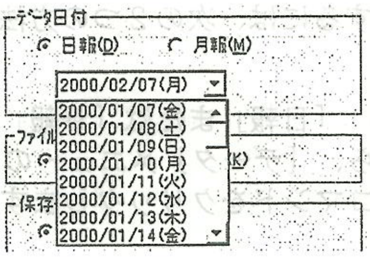


［閉じる］ボタンをクリックします。
「日報・月報－［保存］」画面が閉じて、［日報］または「月報」画面へ戻ります。

(3) 日報データを保存する



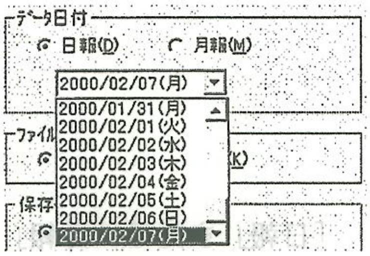
［日報］オプションボタンをクリックします。



［日付］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから保存する日付をクリックします。このボックスは、［日報］オプションボタンがチェックされているときに表示されます。

指定した日付のデータを保存します。

保存されるのは表示時間帯に関係なく１日分です。



本日から前32日分のデータを保存できます。

例えば、本日が2000年02月07日の場合は、2000年01月07日～2000年02月07日までのデータを表示できます。

日報データファイルの名称は、開始・終了ページに関係なく以下のような名称になります。

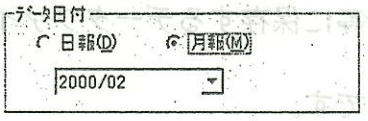
[yyyymmdd].[CSVまたはK3]

yyyy：データ取得年（西暦年号４桁）
mm　：データ取得月
dd　：データ取得日

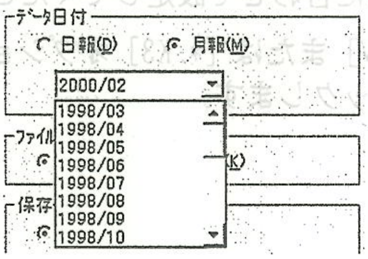
例えば2000年02月07日のデータをCSVファイルに指定して保存したとすると、ファイル名称は「20000207.CSV」となります。

⚠ 注　意
● １時間日報と30分日報のファイル名称は同じため、上書き保存を行った場合、保存データが書き換えられてしまいますので、ご注意ください。 両方の日報を保存する場合は、予め１時間日報用と30分日報用のフォルダを作成しておき、別々のフォルダに保存を行ってください。

(4) 月報データを保存する



［月報］オプションボタンをクリックします。



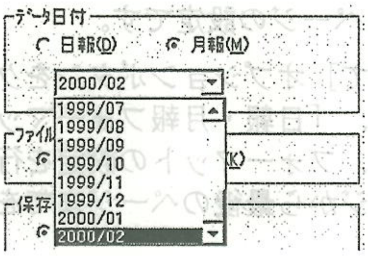
［保存月］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから保存する月をクリックします。このボックスは、［月報］オプションボタンがチェックされているときに表示されます。

指定した月のデータを保存します。

保存されるのは表示日付帯に関係なく1ヶ月分です。

当月から前24ヶ月分のデータを保存できます。

例えば、当月が2000年02月の場合は、1998年03月～2000年02月までのデータを表示できます。



月報データファイルの名称は、開始・終了ページに関係なく以下のような名称になります。

[yyyymm].[CSVまたはK3]

yyyy：月報に表示されている年（西暦年号４桁）
mm　：月報に表示されている月

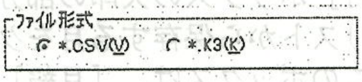
例えば2000年02月のデータをCSVファイルに指定して保存したとすると、ファイル名称は「200002.CSV」となります。

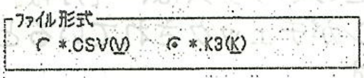
(5) ファイル形式を選択する

日報および月報をフロッピーディスク等に保存するデータファイルの形式の設定です。

「ＣＳＶ」または「Ｋ３」が設定可能です。

使用する表計算ソフトのファイル形式に合わせて設定してください。

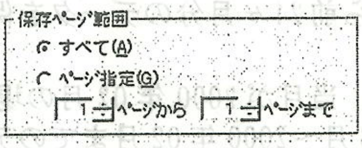




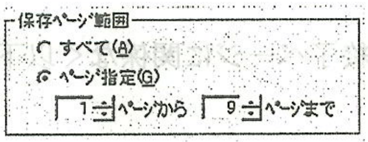
[*.CSV] または [*.K3] オプションボタンをクリックします。

(6) 保存ページ範囲を選択する

日報および月報を保存する対象となるページの設定です。



[すべて] オプションボタンをクリックした場合、「日報・月報フォーマット設定画面」で、フォーマットの設定を行った最初のページから最後のページまでを保存します。



[ページ指定] オプションボタンをクリックした場合、指定したページのみ保存します。

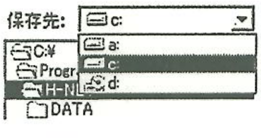
上矢印または下矢印をクリックしてページを指定します。

あるいは、[開始ページ] または [終了ページ] ボックスをクリックして、直接ページを入力します。

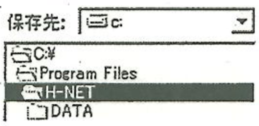
1～100 ページが設定可能です。

(7) 保存先を設定する

日報、月報データを保存するドライブおよびディレクトリの設定です。



[保存先ドライブ] ボックスの矢印部分をクリックし、リストから保存先ドライブをクリックします。

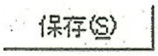


[保存先ディレクトリ] 一覧から保存先ディレクトリを選択します。

[フォルダ] をダブルクリックすると、その下の階層を表示します。

◆ 補　足 ◆
● 存在しないドライブまたはディレクトリを指定することはできません。ドライブの存在を確認し、ディレクトリを作成後、再度設定を行ってください。

(8) 保存を開始する



［保存］ボタンをクリックします。

「保存中」画面を表示します。
保存を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

図 4.4-27　保存中画面

(9) 保存位置

日報・月報データの保存位置を示します。
検印欄、コメント情報の設定の有無に関わらず、1ページ当たりの行数は固定です。
セルの番号は、列をアルファベット（A～）、行を数字（1～）で示します。
例えば、「A1」はA列1行のセルのことです。

(a) 1時間日報データの保存位置

Ａ１～Ｙ３８／1ページ分データ

Ｕ１～Ｙ１：検印欄文字，Ａ３：会社名，Ｆ３：日報タイトル
Ｋ３：日報年月日曜日，Ｐ３：天候情報，Ｕ３：ページNo.
Ｂ４～Ｙ４：ユニットNo.，Ｂ５～Ｙ５：ユニット名称
Ｂ６～Ｙ６：データ項目，Ｂ７～Ｙ７：データ単位
Ｂ８～Ｙ３１：1時間毎のデータ
Ｂ３２～Ｙ３２：合計値，Ｂ３３～Ｙ３３：最大値
Ｂ３４～Ｙ３４：平均値，Ｂ３５～Ｙ３５：負荷率
Ａ３６～Ａ３８：コメント情報

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1																							承認	審査	作成
2																									
3	日立製作所					受電用日報					2000/02/06(日)					天候(晴れのち曇り　)					Page.1				
4	ユニットNo.	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
5	ユニット名称	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視	電力監視ユニット				
6	データ項目	R相電流	S相電流	T相電流	R-S電圧	S-T電圧	T-R電圧	R相高調	S相高調	T相高調	電力	無効電力	電力量	無効電力量	力率	周波数	温度	地絡電流	負荷率	使用率	デマンド				
7	データ単位	A	A	A	V	V	V	A	A	A	kW	kVar	kWh	kVarh	%	Hz	℃	mA	%	%	kW				
8	1:00	11	10	11	6600	6600	6600	0.7	0.6	0.7	125	17	110	10	99	50	20	11	100	8.4	110				
9	2:00	13	12	13	6600	6660	6600	0.9	0.8	0.9	147	20	130	10	99	50	20	11	83.5	10	140				
10	3:00	18	17	18	6660	6600	6600	1.2	1.1	1.2	206	0	180	0	100	50	20	10	75	13.7	180				
11	4:00	19	18	19	6600	6600	6660	1.3	1.2	1.3	217	0	200	0	100	50	21	10	91.5	14.5	200				
12	5:00	21	20	21	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	235	45	210	30	-98	50	21	12	72	16	220				
13	6:00	27	26	27	6600	6540	6600	1.8	1.7	1.8	309	0	270	0	100	50	22	10	77	20.6	280				
14	7:00	21	20	21	6540	6600	6600	1.4	1.3	1.4	240	0	210	0	100	50	23	10	80	16	220				
15	8:00	37	36	37	6600	6600	6540	2.5	2.4	2.5	419	59	380	40	-99	50	25	11	56.5	28.2	380				
16	9:00	45	44	45	6600	6540	6600	3.1	3	3.1	514	0	450	0	100	50	26	10	65.5	34.3	460				
17	10:00	50	49	50	6540	6600	6600	3.5	3.4	3.5	572	0	500	0	100	50	27	10	55	38.1	500				
18	11:00	57	56	57	6600	6600	6540	3.9	3.8	3.9	639	123	580	110	98	50	28	12	51	43.4	580				
19	12:00	61	60	61	6600	6600	6600	4.2	4.1	4.2	690	97	610	80	99	50	29	11	65	46.5	610				
20	13:00	65	64	65	6600	6660	6600	4.5	4.4	4.5	743	0	650	0	100	50	30	10	54.5	49.5	660				
21	14:00	70	69	70	6660	6600	6600	4.9	4.8	4.9	792	112	700	100	99	50	30	11	64	53.3	700				
22	15:00	69	68	69	6600	6600	6660	4.8	4.7	4.8	789	0	690	0	100	50	30	10	57	52.6	700				
23	16:00	64	63	64	6600	6600	6600	4.4	4.3	4.4	732	0	640	0	100	50	29	10	59.5	48.8	640				
24	17:00	58	57	58	6600	6540	6600	4	3.9	4	650	126	580	110	-98	50	28	12	61	44.2	580				
25	18:00	44	43	44	6540	6600	6600	3	2.9	3	503	0	430	0	100	50	27	10	61	33.5	440				
26	19:00	33	32	33	6600	6600	6540	2.3	2.2	2.3	377	0	330	0	100	50	26	10	61	25.1	340				
27	20:00	30	29	30	6600	6540	6600	2.1	2	2.1	340	48	300	30	99	50	25	11	60	22.9	300				
28	21:00	26	25	26	6540	6600	6600	1.8	1.7	1.8	297	0	260	0	100	50	24	10	69	19.8	260				
29	22:00	20	19	20	6600	6600	6540	1.4	1.3	1.4	226	32	200	20	99	50	23	11	57	15.2	200				
30	23:00	20	19	20	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	229	0	200	0	100	50	22	10	56	15.2	200				
31	24:00	15	14	15	6600	6600	6600	1	0.9	1	172	0	150	0	100	50	21	10	64	11.4	160				
32	合計値												8960	540											
33	最大値	70	69	70	6660	6660	6660	4.9	4.8	4.9	792	126	700	110	98	50	30	12	100	53.3	700				
34	平均値	37.3	36.3	37.3	6595	6595	6595	2.6	2.5	2.6	423	26	373	23	96.9	50	25	11	64	26.4	376				
35	負荷率(%)												53.3	20.5											
36	B棟工事のための停電																								
37																									
38																									

図 4.4-28　1時間日報保存例

(b) ３０分日報データの保存位置

Ａ１～Ｙ６２／１ページ分データ

Ｕ１～Ｙ１：検印欄文字，Ａ３：会社名，Ｆ３：日報タイトル
Ｋ３：日報年月日曜日，Ｐ３：天候情報，Ｕ３：ページNo.
Ｂ４～Ｙ４：ユニットNo.，Ｂ５～Ｙ５：ユニット名称
Ｂ６～Ｙ６：データ項目，Ｂ７～Ｙ７：データ単位
Ｂ８～Ｙ５５：３０分毎のデータ
Ｂ５６～Ｙ５６：合計値，Ｂ５７～Ｙ５７：最大値
Ｂ５８～Ｙ５８：平均値，Ｂ５９～Ｙ５９：負荷率
Ａ６０～Ａ６２：コメント情報

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1																							承認	審査	作成
2																									
3	日立製作所					変電所日報					2000/02/06(日)					天候(晴れのち曇り　)					Page:1				
4	ユニットNo.	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
5	ユニット名称	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視	電気監視ユニット				
6	データ項目	R相電流	S相電流	T相電流	R-S電圧	S-T電圧	T-R電圧	R相高調	S相高調	T相高調	電力	無効電力	電力量	無効電力量	力率	周波数	温度	地絡電流	負荷率	使用率	デマンド				
7	データ単位	A	A	A	V	V	V	A	A	A	kW	kVar	kWh	kVarh	%	Hz	℃	mA	%	%	kW				
8	0:30	11	10	11	6600	6600	6600	0.7	0.6	0.7	125	17	60	0	99	50	20	11	100	8.4	110				
9	1:00	11	10	11	6600	6600	6600	0.7	0.6	0.7	125	17	60	10	99	50	20	11	100	8.4	110				
10	1:30	12	11	12	6600	6600	6600	0.8	0.7	0.8	136	19	60	0	99	50	20	11	92	9.2	130				
11	2:00	13	12	13	6600	6660	6600	0.9	0.8	0.9	147	20	70	10	99	50	20	11	83.5	10	140				
12	2:30	16	15	16	6600	6600	6600	1.1	1	1.1	177	0	90	0	100	50	20	11	79.5	11.9	160				
13	3:00	18	17	18	6660	6600	6600	1.2	1.1	1.2	206	0	90	0	100	50	20	10	76	13.7	180				
14	3:30	19	18	19	6600	6600	6600	1.3	1.2	1.3	212	0	100	0	100	50	21	10	78.5	14.1	190				
15	4:00	19	18	19	6600	6600	6660	1.3	1.2	1.3	217	0	100	0	100	50	21	10	81.5	14.5	200				
16	4:30	20	19	20	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	226	23	100	10	-99	50	21	11	77	15.3	210				
17	5:00	21	20	21	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	235	45	110	20	-99	50	21	12	72	16	220				
18	5:30	24	23	24	6600	6600	6600	1.6	1.5	1.6	272	0	130	0	-99	50	22	11	74.5	18.3	250				
19	6:00	27	26	27	6600	6540	6660	1.8	1.7	1.8	309	0	140	0	100	50	22	10	77	20.6	280				
20	6:30	24	23	24	6600	6600	6600	1.6	1.5	1.6	275	0	100	0	100	50	23	10	78.5	18.3	250				
21	7:00	21	20	21	6540	6600	6600	1.4	1.3	1.4	240	0	110	0	100	50	23	10	80	16	220				
22	7:30	29	28	29	6600	6600	6600	2	1.9	2	330	55	100	20	100	50	24	11	68.5	22.1	300				
23	8:00	37	36	37	6600	6600	6640	2.5	2.4	2.5	419	59	100	20	-99	50	25	11	56.5	28.2	380				
24	8:30	41	40	41	6600	6600	6600	2.8	2.7	2.8	467	0	220	0	100	50	25	11	56	31.3	420				
25	9:00	45	44	45	6600	6540	6600	3.1	3	3.1	514	0	230	0	100	50	26	10	55.5	34.3	460				
26	9:30	48	47	48	6600	6600	6600	3.3	3.2	3.3	543	0	250	0	100	50	27	10	55.5	36.2	480				
27	10:00	50	49	50	6540	6600	6600	3.5	3.4	3.5	572	0	250	0	100	50	27	10	55	38.1	500				
28	10:30	54	53	54	6600	6600	6600	3.7	3.6	3.7	606	100	290	50	99	50	28	11	53	40.8	540				
29	11:00	57	56	57	6600	6600	6540	3.9	3.8	3.9	639	123	290	60	99	50	28	12	51	43.4	580				
30	11:30	59	58	59	6600	6600	6600	4.1	4	4.1	665	110	300	40	99	50	29	12	53	45	600				
31	12:00	61	60	61	6600	6600	6600	4.2	4.1	4.2	690	97	310	40	99	50	29	11	55	46.5	610				
32	12:30	63	62	63	6600	6600	6600	4.4	4.3	4.4	717	0	320	0	100	50	30	11	55	48	640				
33	13:00	65	64	65	6600	6660	6600	4.5	4.4	4.5	743	0	330	0	100	50	30	10	54.5	49.5	660				
34	13:30	68	67	68	6600	6600	6600	4.7	4.6	4.7	768	100	350	50	100	50	30	11	54.5	51.4	680				
35	14:00	70	69	70	6660	6600	6600	4.9	4.8	4.9	792	112	350	60	99	50	30	11	54	53.3	700				
36	14:30	70	69	70	6600	6600	6600	4.9	4.8	4.9	791	0	340	0	100	50	30	11	55.5	53	700				
37	15:00	69	68	69	6600	6600	6660	4.8	4.7	4.8	789	0	350	0	100	50	30	10	57	52.6	700				
38	15:30	67	66	67	6600	6600	6600	4.6	4.5	4.6	761	0	320	0	100	50	30	10	58.5	50.7	680				
39	16:00	64	63	64	6600	6600	6600	4.4	4.3	4.4	732	0	320	0	100	50	29	10	59.5	48.8	640				
40	16:30	61	60	61	6600	6600	6600	4.2	4.1	4.2	691	100	290	50	-99	50	29	11	60.5	46.5	620				
41	17:00	59	57	58	6600	6540	6600	4	3.9	4	650	126	290	60	-99	50	28	12	61	44.2	580				
42	17:30	51	50	51	6600	6600	6600	3.5	3.4	3.5	577	0	210	0	-99	50	28	11	61	38.9	520				
43	18:00	44	43	44	6540	6600	6600	3	2.9	3	503	0	220	0	100	50	27	10	61	33.5	440				
44	18:30	39	38	39	6600	6600	6600	2.7	2.6	2.7	440	0	160	0	100	50	27	10	61	29.3	400				
45	19:00	33	32	33	6600	6600	6540	2.3	2.2	2.3	377	0	170	0	100	50	26	10	61	25.1	340				
46	19:30	32	31	32	6600	6600	6600	2.2	2.1	2.2	358	20	150	10	100	50	26	11	60.5	24	320				
47	20:00	30	29	30	6600	6540	6600	2.1	2	2.1	340	40	150	20	99	50	25	11	60	22.9	300				
48	20:30	28	27	28	6600	6600	6600	2	1.9	2	319	0	130	0	100	50	25	11	59.5	21.4	280				
49	21:00	26	25	26	6540	6600	6600	1.8	1.7	1.8	297	0	130	0	100	50	24	10	59	19.8	260				
50	21:30	23	22	23	6600	6600	6600	1.6	1.5	1.6	262	30	100	10	100	50	24	11	58	17.5	240				
51	22:00	20	19	20	6600	6600	6540	1.4	1.3	1.4	226	32	100	10	99	50	23	11	57	15.2	200				
52	22:30	20	19	20	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	228	0	100	0	100	50	23	11	56.5	15.2	200				
53	23:00	20	19	20	6600	6600	6600	1.4	1.3	1.4	229	0	100	0	100	50	22	10	56	15.2	200				
54	23:30	18	17	18	6600	6600	6600	1.2	1.1	1.2	201	0	70	0	100	50	22	10	55	13.3	180				
55	24:00	15	14	15	6600	6600	6600	1	0.9	1	172	0	80	0	100	50	21	10	54	11.4	160				
56	合計値												8960	540											
57	最大値	70	69	70	6660	6660	6660	4.9	4.8	4.9	792	126	350	60	99	50	30	12	100	53.3	700				
58	平均値	37.3	36.3	37.3	6598	6598	6598	2.6	2.5	2.6	423	26	186.7	11	99.9	50	25	11	65	28.4	366				
59	負荷率(%)												83.3	18.8											
60	B棟工事のため停電																								
61																									
62																									

図 4.4-29　30分日報保存例

(c) 月報データの保存位置

Ａ１～Ｙ４７／１ページ分データ

Ｕ１～Ｙ１：検印欄文字，Ａ３：会社名，Ｆ３：月報タイトル
Ｋ３：月報年月，Ｕ３：ページNo.
Ｂ４～Ｙ４：ユニットNo.，Ｂ５～Ｙ５：ユニット名称，
Ｂ６～Ｙ６：データ項目，Ｂ７～Ｙ７：データ単位
Ｂ８～Ｙ３８：１日毎のデータ
Ｂ３９～Ｙ３９：前月値，Ｂ４０～Ｙ４０：当月値
Ｂ４１～Ｙ４１：倍率，Ｂ４２～Ｙ４２：合計値
Ｂ４３～Ｙ４３：最大値，Ｂ４４～Ｙ４４：平均値
Ａ４５～Ａ４７：コメント情報

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1																							承認	審査	作成
2																									
3	日立製作所					受電所日報					2000/01										Page:1				
4	ユニットNo.	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
5	ユニット名称	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視	電源監視ユニット				
6	データ項目	R相電流	S相電流	T相電流	R-S電圧	S-T電圧	T-R電圧	R相高調	S相高調	T相高調	電力	無効電力	電力量	無効電力	力率	周波数	温度	地絡電流	負荷率	使用率	デマンド				
7	データ単位	A	A	A	V	V	V	A	A	A	kW	kVar	kWh	kVarh	%	Hz	℃	mA	%	%	kW				
8	1日(土)	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	25	11	64	28	373				
9	2日(日)	25	24	25	6595	6595	6600	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.8	50	25	6	63	13	255				
10	3日(月)	20	19	20	6595	6600	6595	1	0.9	1	228	8	4480	270	99.8	50	25	1	62.5	8	180				
11	4日(火)	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6595	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	26	11	63	28	373				
12	5日(水)	38	37	38	6600	6600	6600	2.7	2.6	2.6	428	28	8960	540	99.9	50	26	11	63	28	380				
13	6日(木)	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.5	2.4	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	26	10	62.5	30	371				
14	7日(金)	37	36	37	6595	6595	6600	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.9	50	26	11	62	29	373				
15	8日(土)	37.5	36.5	37.5	6595	6600	6595	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	26	11	61.5	28	375				
16	9日(日)	25	24	25	6600	6600	6595	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.9	50	26	6	61	13	288				
17	10日(月)	20	19	20	6600	6595	6600	1	0.9	1	228	8	4480	270	99.9	50	27	1	61	8	182				
18	11日(火)	37.5	36.5	37.5	6595	6600	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	27	11	60.5	28	373				
19	12日(水)	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.9	50	27	11	60.5	30	258				
20	13日(木)	37	36	37	6600	6600	6600	2.5	2.4	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	27	10	60	28	183				
21	14日(金)	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.6	2.5	2.5	428	28	8960	540	99.9	50	27	11	59.5	29	375				
22	15日(土)	38	37	38	6595	6595	6595	2.7	2.6	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	27	11	59	28	370				
23	16日(日)	25	24	25	6595	6595	6595	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.8	50	27	6	59	13	255				
24	17日(月)	20	19	20	6595	6600	6595	1	0.9	1	228	8	4480	270	99.9	50	27	1	58.5	8	180				
25	18日(火)	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	26	11	58.5	28	373				
26	19日(水)	38	37	38	6600	6595	6600	2.7	2.6	2.6	428	28	8960	540	99.9	50	26	11	58	29	375				
27	20日(木)	37	36	37	6595	6600	6595	2.5	2.4	2.5	423	28	8960	540	99.9	50	25	10	58	28	377				
28	21日(金)	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.9	50	25	11	57.5	30	378				
29	22日(土)	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	25	11	57	28	376				
30	23日(日)	25	24	25	6600	6595	6600	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.8	50	25	6	56	13	254				
31	24日(月)	20	19	20	6595	6600	6595	1	0.9	1	228	8	4480	270	99.8	50	25	1	55.5	8	182				
32	25日(火)	37.5	36.5	37.5	6600	6600	6600	2.6	2.5	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	25	11	56	28	373				
33	26日(水)	37.5	36.5	37.5	6600	6595	6600	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.9	50	25	11	55.5	29	371				
34	27日(木)	37	36	37	6595	6595	6595	2.5	2.4	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	24	10	55.5	28	373				
35	28日(金)	37.5	36.5	37.5	6595	6600	6595	2.6	2.5	2.6	428	28	8960	540	99.9	50	24	11	55	29	370				
36	29日(土)	38	37	38	6600	6600	6600	2.7	2.6	2.6	423	28	8960	540	99.9	50	24	11	54.5	28	375				
37	30日(日)	25	24	25	6600	6600	6600	1.5	1.4	1.5	285	13	6030	360	99.8	50	24	6	54	13	255				
38	31日(月)	20	19	20	6600	6595	6600	1	0.9	1	423	8	4480	270	99.8	50	24	1	53.5	8	180				
39	前月値												462830	154270											
40	当月値												703540	168760											
41	倍率												1	1											
42	合計値												240710	14490											
43	最大値	38	37	38	6600	6600	6600	2.7	2.6	2.6	428	28	8960	540	99.8	50	27	11	64	30	380				
44	平均値	32.7	31.7	32.7	6598	6598	6598	2.2	2.1	2.2	377	22	7765	467	99.9	50	26	9	58.8	22.7	314				
45	12月29日(水)から1月4日(火)まで冬季休暇																								
46																									
47																									

図 4.4-30　月報保存例

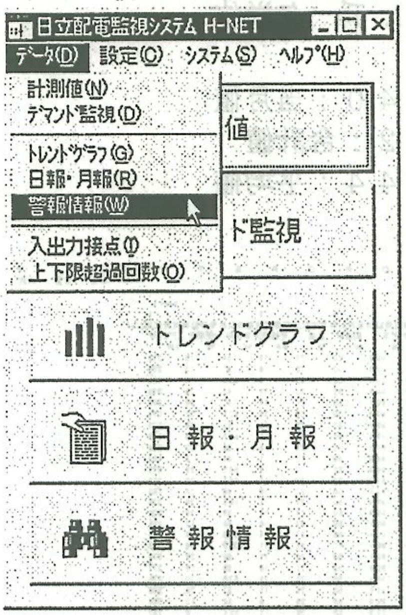
◆　補　足　◆

● 保存したデータファイルを市販の表計算ソフトで読み込む場合、ファイルを開く時に「ファイルの種類」を「すべてのファイル (*.*)」等に変更しないと、データファイルの名称が一覧に表示されないことがあります。
「ファイルの種類」の変更方法や詳細については、ご使用の表計算ソフトのマニュアルをご覧ください。

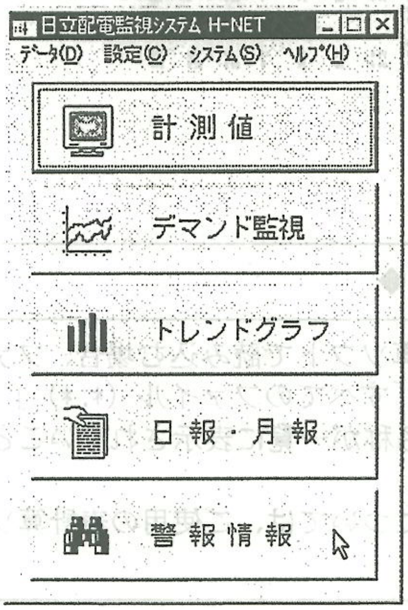
4.5 警報情報

「警報情報」画面を表示するには
次の２つの方法があります。

（1）［データ］メニューの［警報情報］コマンドをクリックします。

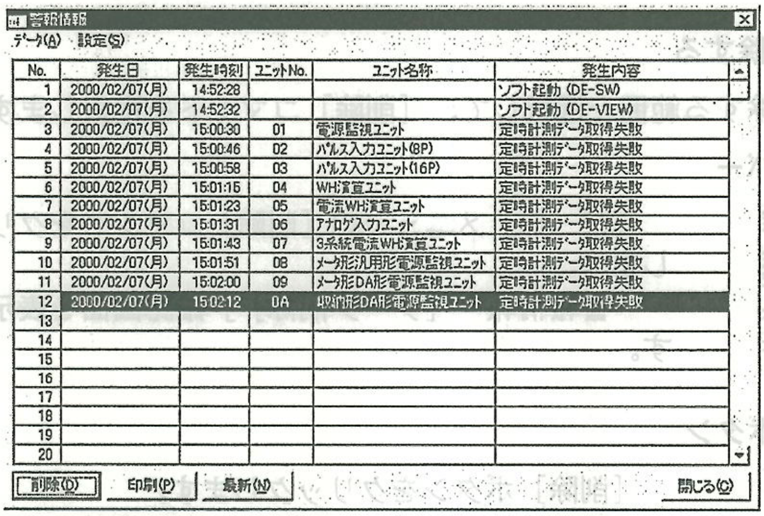


（2）［警報情報］ボタンをクリックします。



4.5.1 警報情報

- デマンド監視機能で取得したデマンド異常・復帰の情報、状態監視機能で取得した接点の動作情報の、発生した日時やユニットなどの来歴を、表示、印刷します。
- 設定により、ソフト起動・終了、定時計測データの取得失敗、デマンド監視データの取得失敗、状態監視データの取得失敗、現在値データの取得失敗、日報自動保存の失敗の、発生した日時やユニットなどの来歴を、表示、印刷します。
- 最大 1000 件までの警報情報を保存します。1000 件を超えた場合には、古いデータから順次削除し、新しいデータを保存します。



No.	発生日	発生時刻	ﾕﾆｯﾄNo.	ﾕﾆｯﾄ名称	発生内容
1	2000/02/07(月)	14:52:28			ｿﾌﾄ起動 (DE-SW)
2	2000/02/07(月)	14:52:32			ｿﾌﾄ起動 (DE-VIEW)
3	2000/02/07(月)	15:00:30	01	電源監視ﾕﾆｯﾄ	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
4	2000/02/07(月)	15:00:46	02	ﾊﾟﾙｽ入力ﾕﾆｯﾄ(8P)	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
5	2000/02/07(月)	15:00:58	03	ﾊﾟﾙｽ入力ﾕﾆｯﾄ(16P)	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
6	2000/02/07(月)	15:01:15	04	WH演算ﾕﾆｯﾄ	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
7	2000/02/07(月)	15:01:23	05	電流WH演算ﾕﾆｯﾄ	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
8	2000/02/07(月)	15:01:31	06	ｱﾅﾛｸﾞ入力ﾕﾆｯﾄ	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
9	2000/02/07(月)	15:01:43	07	3系統電流WH演算ﾕﾆｯﾄ	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
10	2000/02/07(月)	15:01:51	08	ﾒｰﾀ形汎用形電源監視ﾕﾆｯﾄ	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
11	2000/02/07(月)	15:02:00	09	ﾒｰﾀ形DA形電源監視ﾕﾆｯﾄ	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
12	2000/02/07(月)	15:02:12	0A	収納形DA形電源監視ﾕﾆｯﾄ	定時計測ﾃﾞｰﾀ取得失敗
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

図 4.5-1　警報情報画面

(1) 閉じる

(a) コマンドボタン

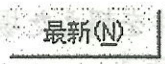
［閉じる］ボタンをクリックします。
「警報情報」画面を閉じます。

(2) 最新データを表示する

(a) メニューバー

［データ］メニューの［最新］コマンドをクリックします。
最新の警報情報データを表示します。

(b) コマンドボタン



［最新］ボタンをクリックします。
最新の警報情報データを表示します。

(3) データを削除する

データを削除する範囲を選択して、［削除］コマンドを選択します。

(a) メニューバー

［データ］メニューの［削除］コマンドをクリックします。
「警報情報－［データ削除］」確認画面を表示します。

(b) コマンドボタン

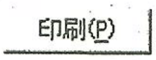
［削除］ボタンをクリックします。
「警報情報－［データ削除］」確認画面を表示します。

(4) データを印刷する

(a) メニューバー

［データ］メニューの［印刷］コマンドをクリックします。
「警報情報－［印刷］」画面を表示します。

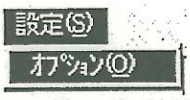
(b) コマンドボタン



［印刷］ボタンをクリックします。
「警報情報－［印刷］」画面を表示します。

(5) オプションを設定する

(a) メニューバー

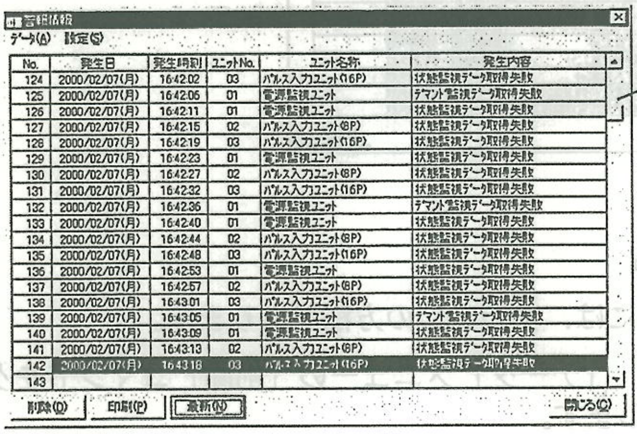


［設定］メニューの［オプション］コマンドをクリックします。

「警報情報－［オプション］」画面を表示します。

(6) 表示されていない部分を表示する

(a) 垂直スクロールバー



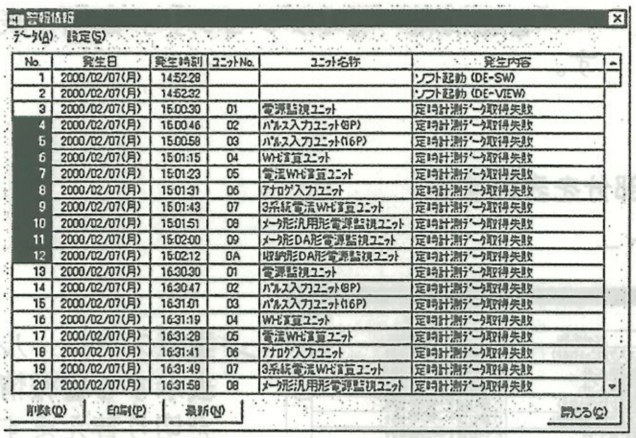
No.	発生日	発生時刻	ユニットNo.	ユニット名称	発生内容
124	2000/02/07(月)	16:42:02	03	パルス入力ユニット(16P)	状態監視データ取得失敗
125	2000/02/07(月)	16:42:06	01	電源監視ユニット	デマンド監視データ取得失敗
126	2000/02/07(月)	16:42:11	01	電源監視ユニット	状態監視データ取得失敗
127	2000/02/07(月)	16:42:15	02	パルス入力ユニット(8P)	状態監視データ取得失敗
128	2000/02/07(月)	16:42:19	03	パルス入力ユニット(16P)	状態監視データ取得失敗
129	2000/02/07(月)	16:42:23	01	電源監視ユニット	状態監視データ取得失敗
130	2000/02/07(月)	16:42:27	02	パルス入力ユニット(8P)	状態監視データ取得失敗
131	2000/02/07(月)	16:42:32	03	パルス入力ユニット(16P)	状態監視データ取得失敗
132	2000/02/07(月)	16:42:36	01	電源監視ユニット	デマンド監視データ取得失敗
133	2000/02/07(月)	16:42:40	01	電源監視ユニット	状態監視データ取得失敗
134	2000/02/07(月)	16:42:44	02	パルス入力ユニット(8P)	状態監視データ取得失敗
135	2000/02/07(月)	16:42:48	03	パルス入力ユニット(16P)	状態監視データ取得失敗
136	2000/02/07(月)	16:42:53	01	電源監視ユニット	状態監視データ取得失敗
137	2000/02/07(月)	16:42:57	02	パルス入力ユニット(8P)	状態監視データ取得失敗
138	2000/02/07(月)	16:43:01	03	パルス入力ユニット(16P)	状態監視データ取得失敗
139	2000/02/07(月)	16:43:05	01	電源監視ユニット	デマンド監視データ取得失敗
140	2000/02/07(月)	16:43:09	01	電源監視ユニット	状態監視データ取得失敗
141	2000/02/07(月)	16:43:13	02	パルス入力ユニット(8P)	状態監視データ取得失敗
142	2000/02/07(月)	16:43:18	03	パルス入力ユニット(16P)	状態監視データ取得失敗
143					

垂直スクロールバー：表示する警報情報 No. を切り替えます。

4.5.2 データ削除

警報情報のデータを削除します。

(1) データ削除範囲を選択する



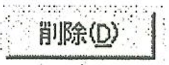
No.	発生日	発生時刻	ユニットNo.	ユニット名称	発生内容
1	2000/02/07(月)	14:52:28			ソフト起動 (DE-SW)
2	2000/02/07(月)	14:52:32			ソフト起動 (DE-VIEW)
3	2000/02/07(月)	15:00:30	01	電源監視ユニット	定時計測データ取得失敗
4	2000/02/07(月)	15:00:46	02	パルス入力ユニット(8P)	定時計測データ取得失敗
5	2000/02/07(月)	15:00:58	03	パルス入力ユニット(16P)	定時計測データ取得失敗
6	2000/02/07(月)	15:01:15	04	WH演算ユニット	定時計測データ取得失敗
7	2000/02/07(月)	15:01:23	05	電流WH演算ユニット	定時計測データ取得失敗
8	2000/02/07(月)	15:01:31	06	アナログ入力ユニット	定時計測データ取得失敗
9	2000/02/07(月)	15:01:43	07	3系統電流WH演算ユニット	定時計測データ取得失敗
10	2000/02/07(月)	15:01:51	08	メータ形汎用形電源監視ユニット	定時計測データ取得失敗
11	2000/02/07(月)	15:02:00	09	メータ形DA形電源監視ユニット	定時計測データ取得失敗
12	2000/02/07(月)	15:02:12	0A	収納形DA形電源監視ユニット	定時計測データ取得失敗
13	2000/02/07(月)	16:30:30	01	電源監視ユニット	定時計測データ取得失敗
14	2000/02/07(月)	16:30:47	02	パルス入力ユニット(8P)	定時計測データ取得失敗
15	2000/02/07(月)	16:31:01	03	パルス入力ユニット(16P)	定時計測データ取得失敗
16	2000/02/07(月)	16:31:19	04	WH演算ユニット	定時計測データ取得失敗
17	2000/02/07(月)	16:31:28	05	電流WH演算ユニット	定時計測データ取得失敗
18	2000/02/07(月)	16:31:41	06	アナログ入力ユニット	定時計測データ取得失敗
19	2000/02/07(月)	16:31:49	07	3系統電流WH演算ユニット	定時計測データ取得失敗
20	2000/02/07(月)	16:31:58	08	メータ形汎用形電源監視ユニット	定時計測データ取得失敗

選択する範囲の開始位置から終了位置までドラッグします。

(2) データを削除する

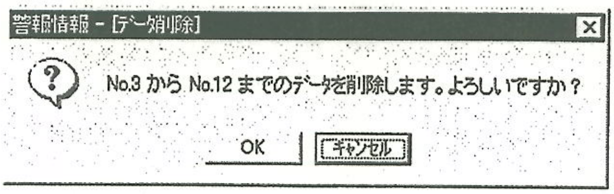
データを削除するには、次の２つの方法があります。

① ［データ］メニューの［削除］コマンドをクリックします。



② ［削除］ボタンをクリックします。

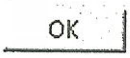
(a) 「警報情報－［データ削除］」確認画面



「警報情報－［データ削除］」確認画面を表示します。

図 4.5-2　警報情報－［データ削除］確認画面

(b) データの削除を開始する



［ＯＫ］ボタンをクリックします。
警報情報データを削除します。

(c) データの削除を中止する

［キャンセル］ボタンをクリックします。
警報情報データを削除しません。

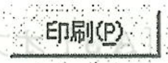
4.5.3 データ印刷

警報情報のデータを印刷します。

(1) データを印刷する

データを印刷するには、次の２つの方法があります。

① ［データ］メニューの［印刷］コマンドをクリックします。



② ［印刷］ボタンをクリックします。

「警報情報－［印刷］」画面を表示します。

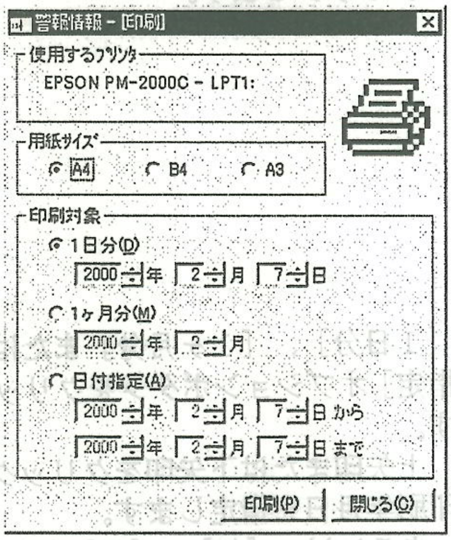
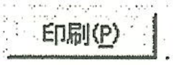


図 4.5-3　警報情報－［印刷］画面

(2) 印刷を開始する



［印刷］ボタンをクリックします。

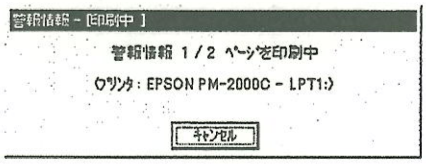
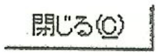


図 4.5-4　印刷中画面

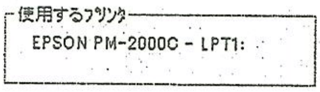
「印刷中」画面を表示します。
印刷を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

(3) 閉じる



［閉じる］ボタンをクリックします。
「警報情報－［印刷］」画面を閉じます。

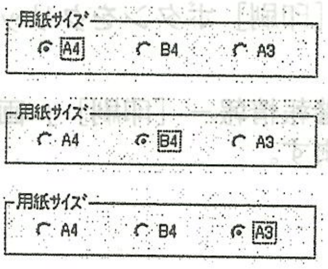
(4) 使用するプリンタの機種



使用するプリンタの機種を表示します。
ご使用のパソコンにて、通常使うプリンタに設定しているプリンタの機種を表示します。

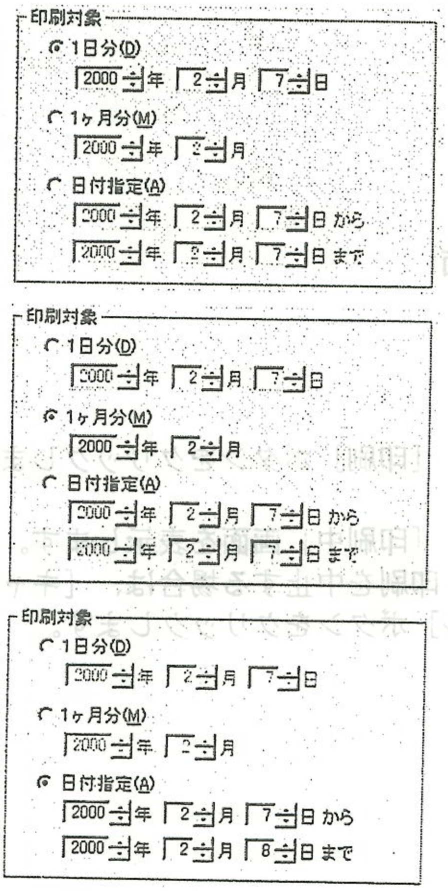
(5) 用紙サイズを設定する

警報情報を印刷する用紙のサイズの設定です。
「Ａ４」、「Ｂ４」または「Ａ３」が設定可能です。プリンタの設定、セットされている用紙のサイズを確認して、設定してください。



［Ａ４］、［Ｂ４］または［Ａ３］オプションボタンをクリックします。

(6) 印刷対象を設定する

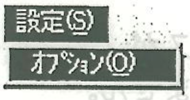


［１日分］、［1ヶ月分］または［日付指定］オプションボタンをクリックします。
上矢印または下矢印をクリックして印刷年月日を指定します。
あるいは、［年］、［月］または［日］ボックスをクリックして、直接印刷年月日を入力します。

4.5.4 警報情報オプション

警報情報のオプションを設定します。

(1) 「警報情報－［オプション］」画面を表示する



［設定］メニューの［オプション］コマンドをクリックします。

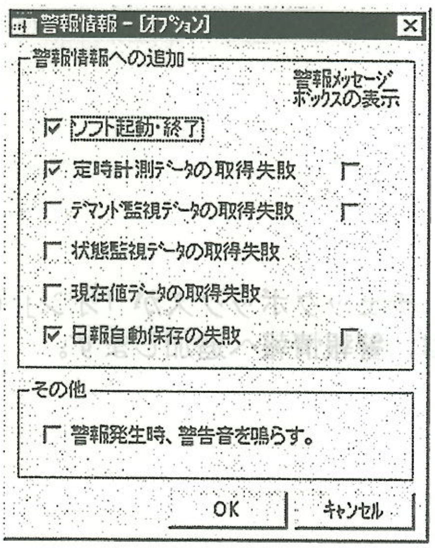
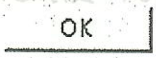


図 4.5-5　警報情報
－［オプション］画面

「警報情報－［オプション］」画面を表示します。

(2) オプションの設定を登録し、終了する

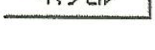
(a) コマンドボタン



［OK］ボタンをクリックします。
表示されている設定内容を登録し、「警報情報－［オプション］」画面を閉じます。

(3) オプションの設定を登録せずに、終了する

(a) コマンドボタン

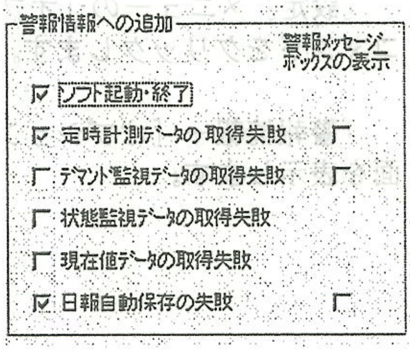


［キャンセル］ボタンをクリックします。
表示されている設定内容を登録せずに、「警報情報－［オプション］」画面を閉じます。

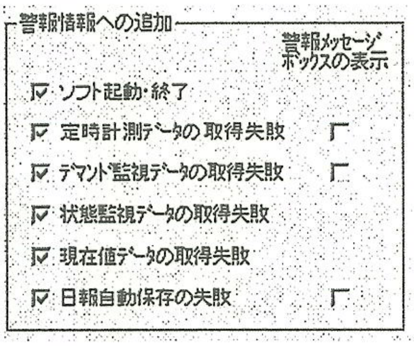
(4) 警報情報への追加を設定する

デマンド監視、状態監視での警報情報以外の状態を、警報情報へ追加するかを設定します。

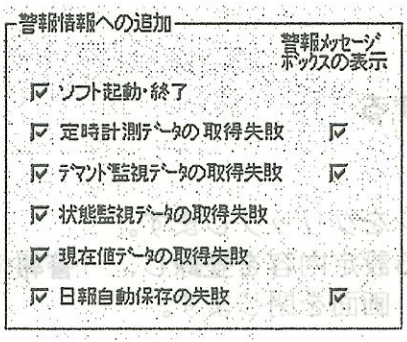
チェックボックスを「オン」にすることにより、警報情報へ追加します。



チェックボックスが「オフ」の場合は、警報情報としません。



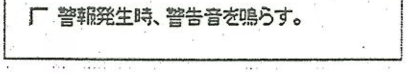
チェックボックスが「オン」の場合は、警報情報へ追加します。



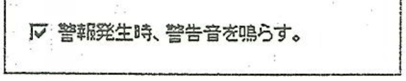
［警報メッセージボックスの表示］
チェックボックスが、
「オン」の場合は、警報発生時に警報メッセージを表示します。
「オフ」の場合は、表示しません。

(5) その他を設定する

警報が発生し、警報メッセージボックス表示時、警告音を鳴らすかを設定します。



チェックボックスが「オフ」の場合は、警報が発生しても、警告音を鳴らしません。

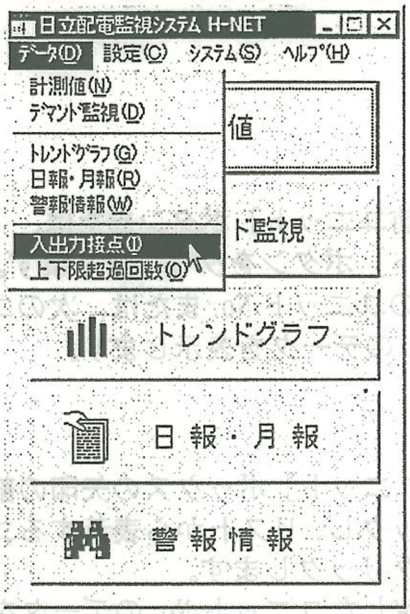


チェックボックスが「オン」の場合は、警報発生時、警告音を鳴らします。

4.6 入出力接点

「入出力接点」画面を表示するには

（1）［データ］メニューの［入出力接点］コマンドをクリックします。



4.6.1 入出力接点

- 電源監視ユニット（メータ形及び収納形電源監視ユニットを除く）のみの機能です。
- 電源監視ユニットから取得した、入力接点・出力接点のリアルタイムの状態を表示します。
- 出力接点（Y1a, Y2a, Y3b）の CLOSE/OPEN の切替を行います。
- 通信異常の場合は、接点状態表示ボックスを黄色で表示します。

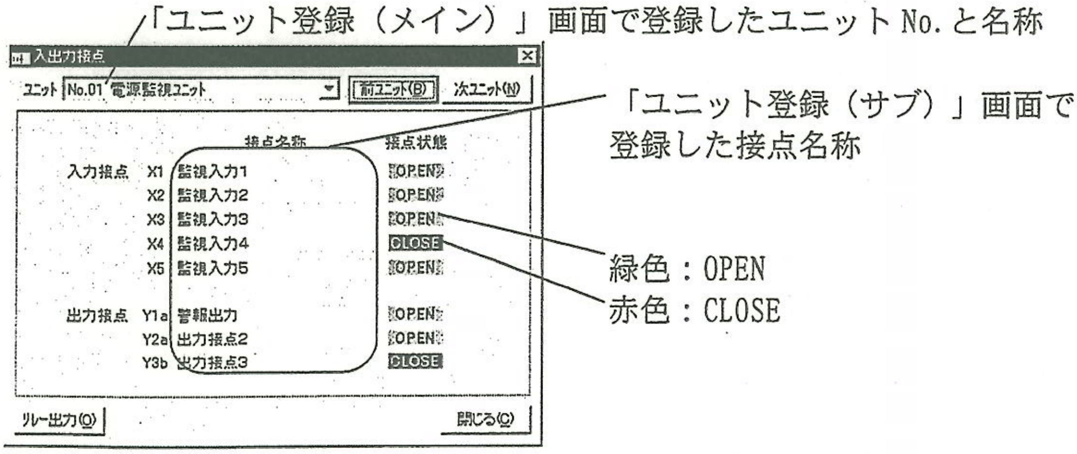
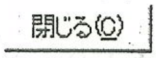


図 4.6-1　入出力接点画面

(1) 閉じる

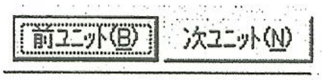
(a) コマンドボタン



［閉じる］ボタンをクリックします。
「入出力接点」画面を閉じます。

(2) ユニットを選択する

(a) コマンドボタン



［前ユニット］ボタンまたは、［次ユニット］ボタンをクリックします。

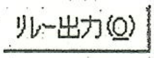
前のユニットNo.または、次のユニットNo.のデータを表示します。

(b) ボックス

［ユニット］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示するユニットをクリックします。

指定したユニットNo.のデータを表示します。

(3) 出力接点のCLOSE/OPENを切り替える



［リレー出力］ボタンをクリックします。

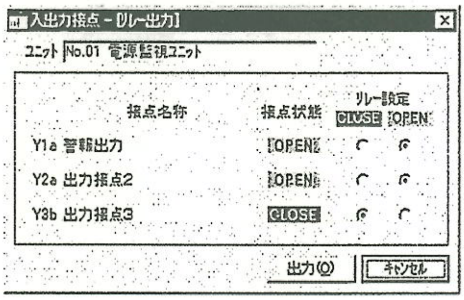
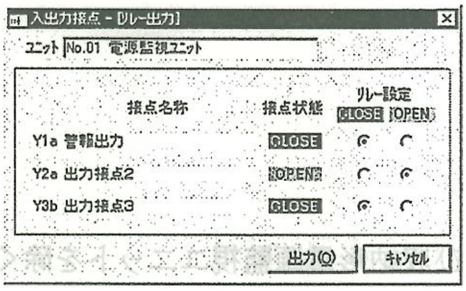
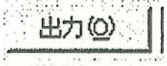


図 4.6-2　入出力接点
－［リレー出力］画面

「入出力接点－［リレー出力］」画面を表示します。



［CLOSE］または［OPEN］オプションボタンをクリックします。
［出力］ボタンをクリックすると、「リレー出力確認」画面を表示します。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、「入出力接点」画面へ戻ります。



［出力］ボタンをクリックします。

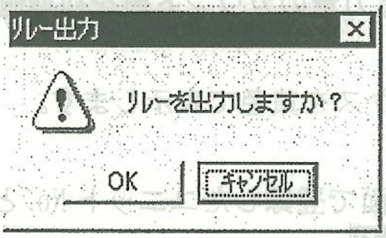


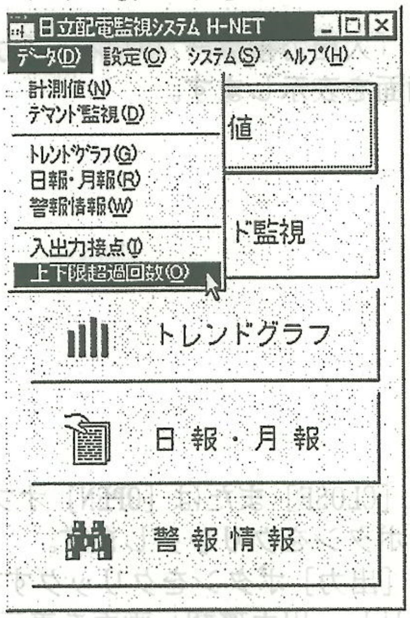
図 4.6-3　リレー出力確認画面

「リレー出力確認」画面を表示します。
［OK］ボタンをクリックすると、リレーに出力し、「入出力接点」画面へ戻ります。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、リレーに出力せずに、「入出力接点－［リレー出力］」画面へ戻ります。

4.7 上下限超過回数

「上下限超過回数」画面を表示するには

（1）［データ］メニューの［上下限超過回数］コマンドをクリックします。



4.7.1 上下限超過回数

- 電源監視ユニット（メータ形及び収納形電源監視ユニットを除く）のみの機能です。
- 電源監視ユニットから取得した、上・下限値に対する計測値の超過回数を表示します。
- 上下限超過回数をクリア、または、電力量のカウント値を初期値にリセットします。
- 通信異常の場合は、データ表示ボックスを黄色で表示します。

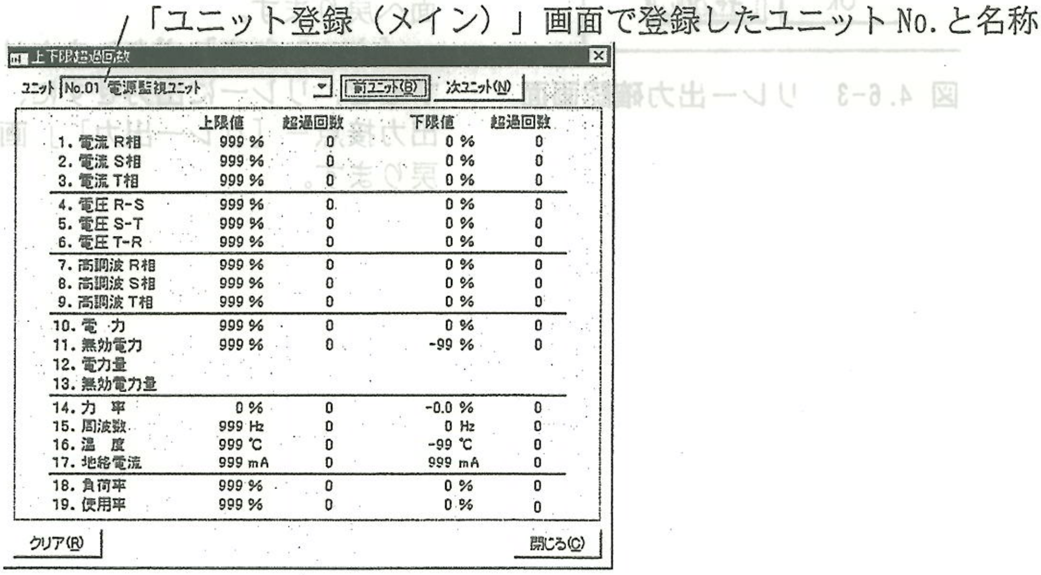
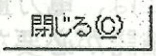


図 4.7-1 上下限超過回数画面

(1) 閉じる

(a) コマンドボタン



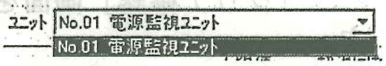
［閉じる］ボタンをクリックします。
「上下限超過回数」画面を閉じます。

(2) ユニットを選択する

(a) コマンドボタン

［前ユニット］ボタンまたは、［次ユニット］ボタンをクリックします。
前のユニットNo.または、次のユニットNo.のデータを表示します。

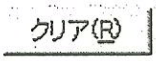
(b) ボックス



［ユニット］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示するユニットをクリックします。
指定したユニットNo.のデータを表示します。

(3) 上下限超過回数をクリア（リセット）します。

クリア操作は項目単位で行います。この操作により、ユニットが記憶している上下限超過回数・最大値・最小値がクリア、または、電力量のカウント値が初期値にリセットされます。最大値・最小値の確認が必要な場合は、クリア実行前に行ってください。



［クリア］ボタンをクリックします。

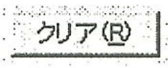
図 4.7-2 上下限超過回数－［クリア］画面

「上下限超過回数－［クリア］」画面を表示します。

クリアする項目のオプションボタンをクリックします。

［クリア］ボタンをクリックすると、「クリア確認」画面を表示します。

［キャンセル］ボタンをクリックすると、「上下限超過回数」画面へ戻ります。



［クリア］ボタンをクリックします。

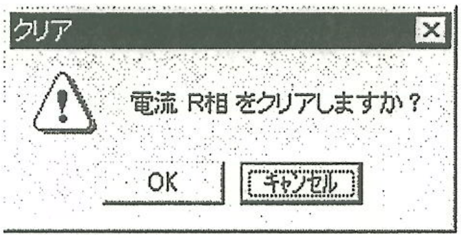


図 4.7-3 クリア確認画面

「クリア確認」画面を表示します。

［ＯＫ］ボタンをクリックすると、上下限超過回数、最大値、最小値をクリアし、「上下限超過回数」画面へ戻ります。

［キャンセル］ボタンをクリックすると、クリアせずに、「上下限超過回数－［クリア］」画面へ戻ります。

⚠ 注　意

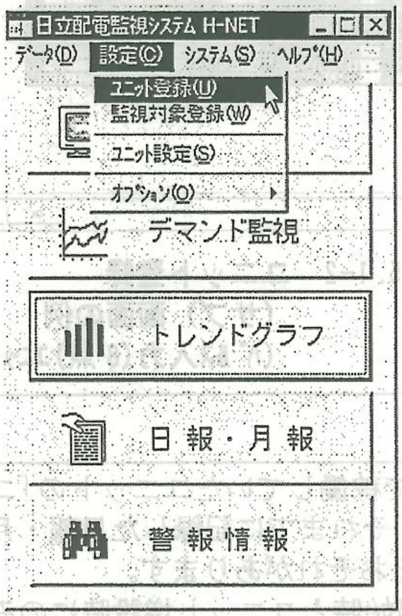
● 電力量やデマンドのデータは、カウント値の差し引きによって算出していますので、電力量の値をクリアすると、日報・月報の電力量やデマンドのデータが異常な値となることがあります。
電力量の値をクリアする場合は、十分ご確認の上行ってください。

5 設定

5.1 ユニット登録

「ユニット登録」画面を表示するには

（1）［設定］メニューの［ユニット登録］コマンドをクリックします。



5.1.1 ユニット登録

各ユニットの接続状態や名称の設定を行います。

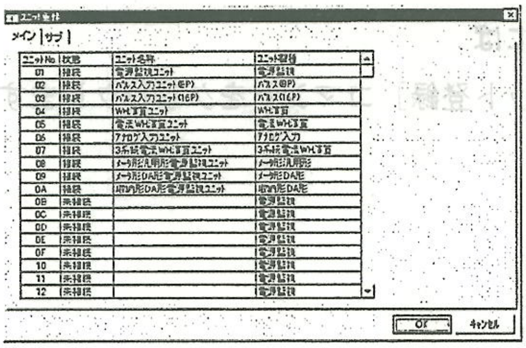


図 5.1-1　ユニット登録
（メイン）画面

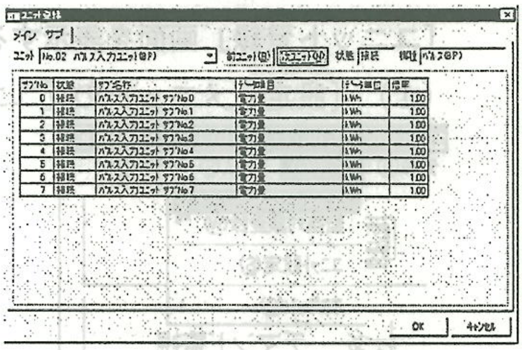


図 5.1-2　ユニット登録
（サブ）画面の例
（ﾊﾟﾙｽ入力(8 点)ﾕﾆｯﾄの場合）

⚠ 注　意

- 本ソフトの運用開始後に、「接続」状態で稼働していたユニットの「ユニット機種」の設定を変更されますと、それまでに記録した日報・月報データなどが正常に表示できなくなるおそれがあります。
  「ユニット機種」の設定変更は、運用開始時とユニット増設時にのみ行ってください。

◆ 補　足 ◆

「ユニット名称」、「サブ名称」、「データ項目」の設定と表示について

- 設定した内容によっては、画面上に全て表示しきれない場合があります。
- 設定した内容が半角文字の連続する内容だった場合、日報・月報画面での表示の際に、設定内容の一部しか表示されない場合があります。
  その場合は、設定内容の 7～8 文字目ごとに半角スペース文字を入れてください。半角スペース文字の位置で改行して表示されます。

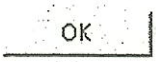
「ユニット名称」、「サブ名称」、「データ項目」、「データ単位」の設定と日報・月報の保存について

- 設定した内容にカンマ（,）が入っていた場合、日報・月報を CSV ファイルで保存して表計算ソフトで読み込む際に、カンマがデータ区切り文字として認識されてしまいます。
  日報・月報の保存を行う場合は、設定文字列中にカンマを入れないでください。

「データ項目」の設定と日報・月報の印刷について

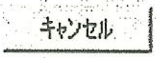
- 半角文字と全角文字の組み合わせによっては、全て印刷されない場合があります。

(1) ユニット登録内容を保存し、終了する



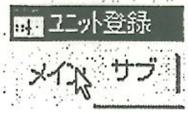
［OK］ボタンをクリックします。
登録内容を保存し、「ユニット登録」画面を閉じます。

(2) ユニット登録内容を保存せずに、終了する



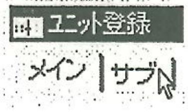
［キャンセル］ボタンをクリックします。
登録内容を保存せずに、「ユニット登録」画面を閉じます。

(3) ユニット登録（メイン）画面を表示する



［メイン］タブをクリックします。
ユニット登録（メイン）画面を表示します。

(4) ユニット登録（サブ）画面を表示する



［サブ］タブをクリックします。
ユニット登録（サブ）画面を表示します。

(5) 設定を変更し、画面を切り替える

設定を変更して、メイン／サブ切り替え、表示ユニット切り替えを行うと、確認画面を表示します。

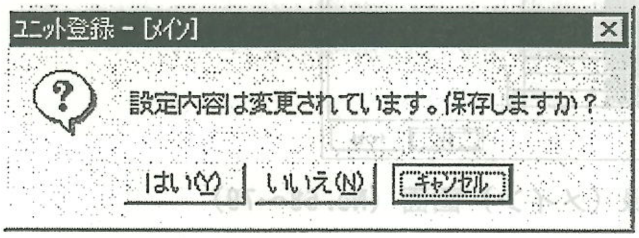
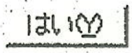


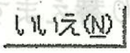
図 5.1-3　設定内容変更確認画面

(a) 設定を登録し、画面を切り替える



［はい］ボタンをクリックします。
表示されている設定を登録し、画面を切り替えます。

(b) 設定を登録せずに、画面を切り替える



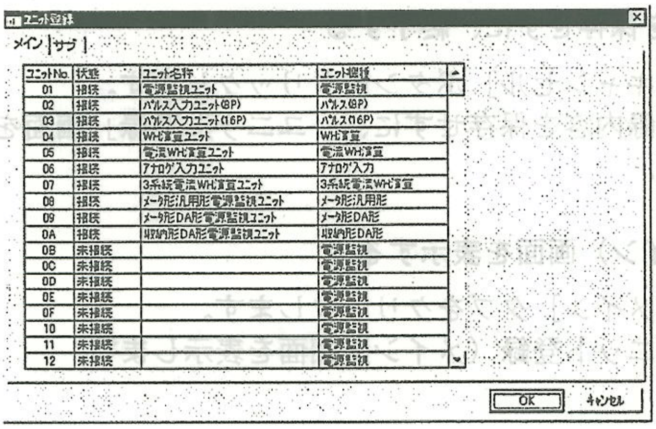
［いいえ］ボタンをクリックします。
表示されている設定を登録せずに、画面を切り替えます。

(c) 画面を切り替えない

［キャンセル］ボタンをクリックします。
画面は切り替わりません。

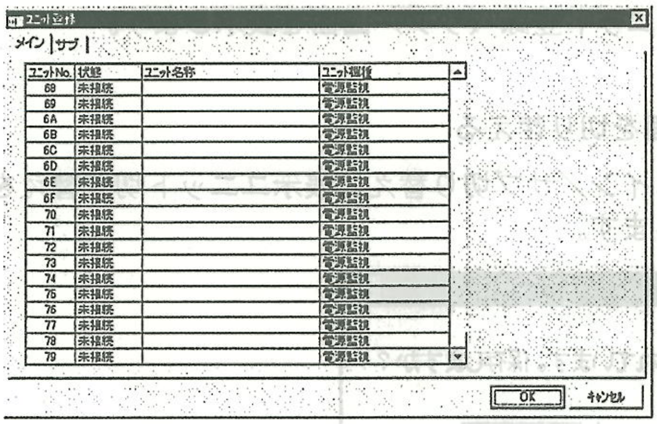
5.1.2 ユニット登録（メイン）画面

各ユニットの接続状態、名称、機種の設定を行います。
ユニット No.01H～79H まで登録できます。



ユニットNo.	状態	ユニット名称	ユニット機種
01	接続	電源監視ユニット	電源監視
02	接続	パルス入力ユニット(8P)	パルス(8P)
03	接続	パルス入力ユニット(16P)	パルス(16P)
04	接続	WH演算ユニット	WH演算
05	接続	電流WH演算ユニット	電流WH演算
06	接続	アナログ入力ユニット	アナログ入力
07	接続	3系統電流WH演算ユニット	3系統電流WH演算
08	接続	メータ形汎用形電源監視ユニット	メータ形汎用形
09	接続	メータ形DA形電源監視ユニット	メータ形DA形
0A	接続	収納形DA形電源監視ユニット	収納形DA形
0B	未接続		電源監視
0C	未接続		電源監視
0D	未接続		電源監視
0E	未接続		電源監視
0F	未接続		電源監視
10	未接続		電源監視
11	未接続		電源監視
12	未接続		電源監視

図 5.1-4　ユニット登録（メイン）画面（No.01～12）

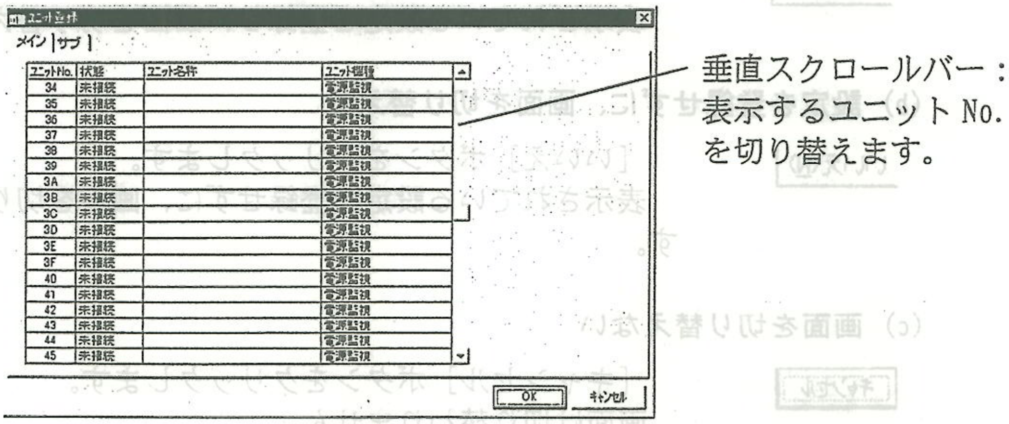


ユニットNo.	状態	ユニット名称	ユニット機種
68	未接続		電源監視
69	未接続		電源監視
6A	未接続		電源監視
6B	未接続		電源監視
6C	未接続		電源監視
6D	未接続		電源監視
6E	未接続		電源監視
6F	未接続		電源監視
70	未接続		電源監視
71	未接続		電源監視
72	未接続		電源監視
73	未接続		電源監視
74	未接続		電源監視
75	未接続		電源監視
76	未接続		電源監視
77	未接続		電源監視
78	未接続		電源監視
79	未接続		電源監視

図 5.1-5　ユニット登録（メイン）画面（No.68～79）

(1) 表示されていない部分を表示する

(a) 垂直スクロールバー



ユニットNo.	状態	ユニット名称	ユニット機種
34	未接続		電源監視
35	未接続		電源監視
36	未接続		電源監視
37	未接続		電源監視
38	未接続		電源監視
39	未接続		電源監視
3A	未接続		電源監視
3B	未接続		電源監視
3C	未接続		電源監視
3D	未接続		電源監視
3E	未接続		電源監視
3F	未接続		電源監視
40	未接続		電源監視
41	未接続		電源監視
42	未接続		電源監視
43	未接続		電源監視
44	未接続		電源監視
45	未接続		電源監視

(2) 接続状態を設定する

「状態」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

ボックスをクリックすると、リストが表示します。

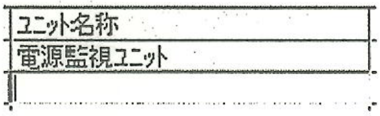
［状態］ボックスのリストから接続または未接続をクリックします。

「接続」に設定したユニットに対し通信を行います。

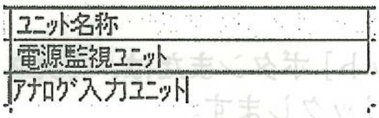
デフォルトの設定は「未接続」になっています。

⚠ 注　意
● 「状態」の設定は、接続ユニットと一致させて設定してください。一致していない場合は、通信エラーとなったり、データが異常となったりします。

(3) ユニット名称を設定する



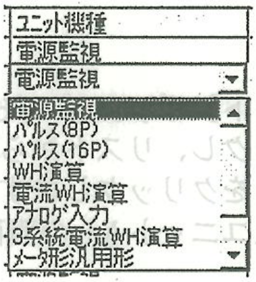
「ユニット名称」列のセルを2回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。



ユニット名称を入力します。

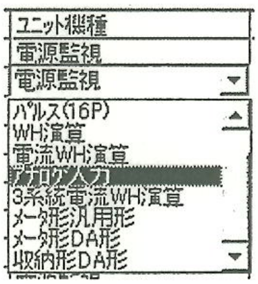
名称は、全角文字で12文字（半角文字で24文字）の長さまで設定できます。

(4) ユニット機種を設定する



「ユニット機種」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

ボックスをクリックすると、リストが表示します。



［ユニット機種］ボックスのリストから設定するユニット機種をクリックします。

デフォルトの設定は「電源監視」になっています。

⚠ 注　意
● 「ユニット機種」の設定内容と、実際に接続しているユニットの機種を合わせて設定してください。機種が異なる場合は、通信エラーとなったり、データが異常となったりします。

5.1.3 ユニット登録（サブ）画面

各ユニットの入力毎の接続状態や名称の設定を行います。
表示する内容はユニット機種により異なります。

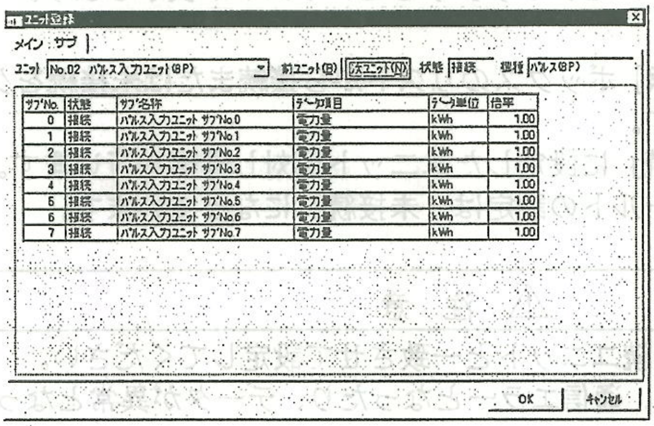
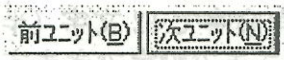


図 5.1-6　ユニット登録（サブ）画面の例
（パルス入力（8点）ユニットの場合）

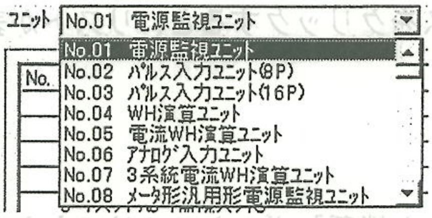
(1) ユニットを選択する

(a) コマンドボタン



［前ユニット］ボタンまたは、［次ユニット］ボタンをクリックします。
　前のユニットNo.または、次のユニットNo.の画面を表示します。

(b) ボックス



［ユニット］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示するユニットをクリックします。
　指定したユニットNo.の画面を表示します。

5.1.4 電源監視ユニット登録（サブ）画面

電源監視ユニットの各入出力接点の接点名称、または電力量の倍率の設定を行います。

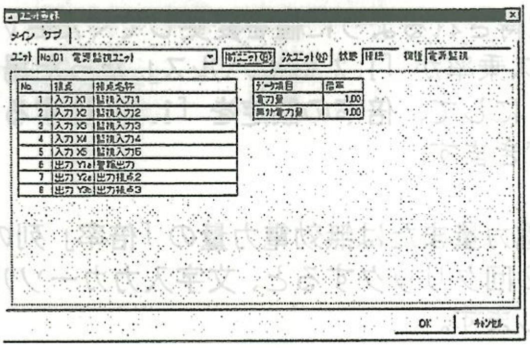


図 5.1-7 電源監視ユニット登録（サブ）画面

(1) 接点名称を設定する

「接点名称」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。

接点名称を入力します。

接点名称は、全角文字で 12 文字（半角文字で 24 文字）の長さまで設定できます。

(2) 電力量の倍率を設定する

定時データ計測時やデマンド監視時、電力量のデータを取得するときに、電力量の単位時間当たりのカウント値に掛けられる値のことです。

ユニットのパルス乗率設定とパルス発信器のパルス乗率が一致しないなどの場合は、データが正しく取得されるように値を変更してください。例えば、接続したWHメータのパルス乗率が「1.2 kWh/パルス」だった場合、ユニット本体の乗率設定を「1」にして、倍率の設定を「1.2」にすると、正しいデータを取得することができます。

データ項目	倍率
電力量	1.00
無効電力量	1.00

電力量または無効電力量の「倍率」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。

データ項目	倍率
電力量	1.20
無効電力量	1.00

電力量または無効電力量の倍率を入力します。

設定可能な倍率は、0.01～100.00 の範囲の値です。

デフォルトの設定は「1.00」になっています。

◆ 補　足 ◆

- 「計測値」画面で表示する電源監視ユニットの電力量のカウント値や「月報」画面で「前月値」「当月値」として表示するカウント値には、倍率の設定値は掛けられません。ユニットから取得したカウントデータをそのまま表示します。

5.1.5 パルス入力ユニット登録（サブ）画面

パルス入力ユニットの各パルス入力接点に対して、接続状態、サブ名称、データ項目、データ単位、倍率の設定を行います。

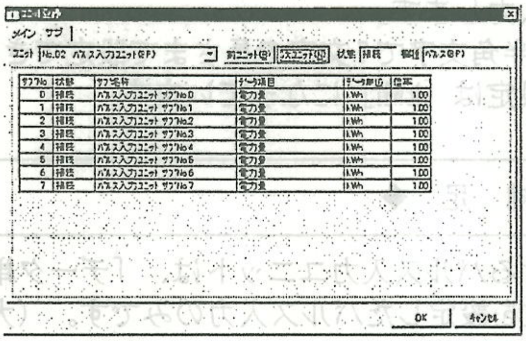


図 5.1-8 ﾊﾟﾙｽ入力（8 点）ﾕﾆｯﾄ登録（サブ）画面

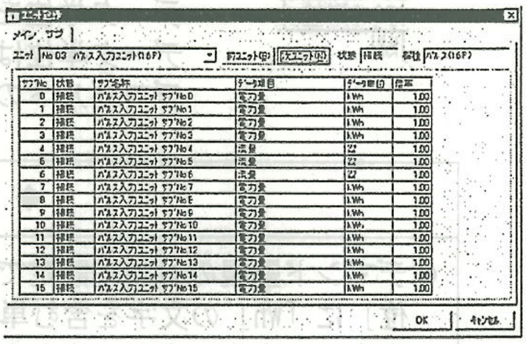
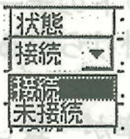


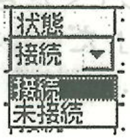
図 5.1-9 ﾊﾟﾙｽ入力（16 点）ﾕﾆｯﾄ登録（サブ）画面

(1) サブ No. の接続状態を設定する



「状態」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

ボックスをクリックすると、リストが表示します。

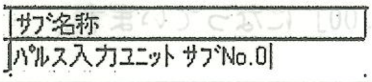


[状態] ボックスのリストから接続または未接続をクリックします。

デフォルトの設定は「接続」になっています。

(2) サブ名称を設定する

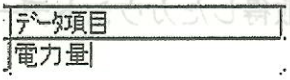
「サブ名称」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。



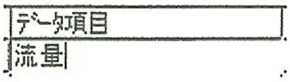
サブ名称を入力します。

サブ名称は、全角文字で 12 文字（半角文字で 24 文字）の長さまで設定できます。

(3) データ項目を設定する



「データ項目」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。

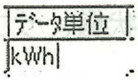


データ項目を入力します。

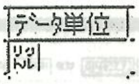
データ項目は、全角文字で 9 文字（半角文字で 18 文字）の長さまで設定できます。

デフォルトの設定は「電力量」になっています。

(4) データ単位を設定する



「データ単位」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。



データ単位を入力します。
データ単位は、半角文字で7文字の長さまで設定できます。
デフォルトの設定は「kWh」になっています。

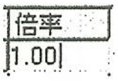
◆ 補 足 ◆

● デマンド監視の対象に設定できるパルス入力ユニットは、「データ単位」に「Wh」の文字を含む単位を設定したパルス入力のみです。（大文字、小文字、全角、半角を区別しません）

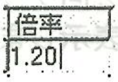
(5) 倍率を設定する

定時データ計測時やデマンド監視時、パルス入力ユニットのデータを取得するときに、ユニットの単位時間当たりのカウント値に掛けられる値のことです。

ユニットのパルス乗率設定とパルス発信器のパルス乗率が一致しないなどの場合は、データが正しく取得されるように値を変更してください。例えば、接続したWHメータのパルス乗率が「1.2 kWh/パルス」だった場合、ユニット本体の乗率設定を「1」にして、倍率の設定を「1.2」にすると、正しいデータを取得することができます。



「倍率」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。



倍率を入力します。
設定可能な倍率は、0.01～100.00の範囲の値です。
デフォルトの設定は「1.00」になっています。

◆ 補 足 ◆

● 「計測値」画面で表示するパルス入力ユニットのカウント値や「月報」画面で「前月値」「当月値」として表示するカウント値には、倍率の設定値は掛けられません。ユニットから取得したカウントデータをそのまま表示します。

5.1.6 WH演算ユニット登録（サブ）画面、電流WH演算ユニット登録（サブ）画面

WH演算ユニットまたは電流WH演算ユニットの各入力に対して、接続状態、サブ名称の設定を行います。

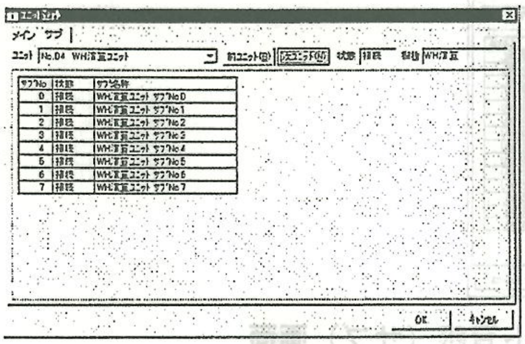


図 5.1-10　WH演算ユニット登録（サブ）画面

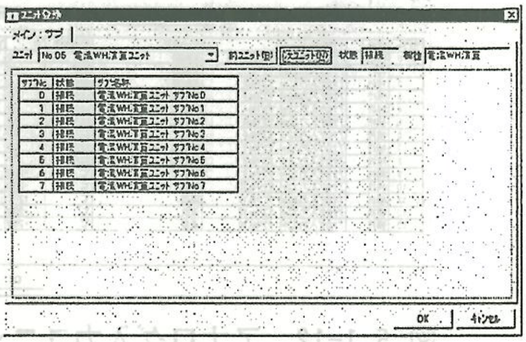
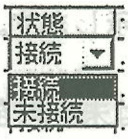


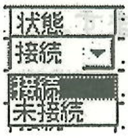
図 5.1-11　電流WH演算ユニット登録（サブ）画面

(1) サブ No. の接続状態を設定する



「状態」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

ボックスをクリックすると、リストが表示します。

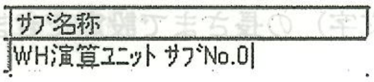


［状態］ボックスのリストから接続または未接続をクリックします。

デフォルトの設定は「接続」になっています。

(2) サブ名称を設定する

「サブ名称」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。



サブ名称を入力します。

サブ名称は、全角文字で 12 文字（半角文字で 24 文字）の長さまで設定できます。

5.1.7 アナログ入力ユニット登録（サブ）画面

アナログ入力ユニットの各入力に対して、接続状態、サブ名称、データ項目、データ単位、スケーリング値、小数点有り/無しの設定を行います。

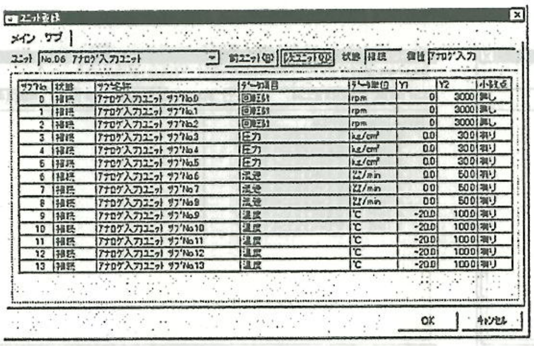
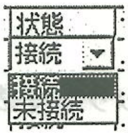


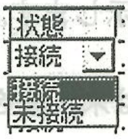
図 5.1-12　アナログ入力ユニット登録（サブ）画面

(1) サブ No.の接続状態を設定する



「状態」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

ボックスをクリックすると、リストが表示します。

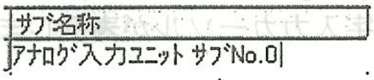


［状態］ボックスのリストから接続または未接続をクリックします。

デフォルトの設定は「接続」になっています。

(2) サブ名称を設定する

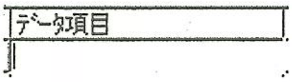
「サブ名称」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。



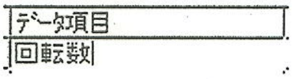
サブ名称を入力します。

サブ名称は、全角文字で 12 文字（半角文字で 24 文字）の長さまで設定できます。

(3) データ項目を設定する



「データ項目」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。



データ項目を入力します。

データ項目は、全角文字で 9 文字（半角文字で 18 文字）の長さまで設定できます。

(4) データ単位を設定する

データ単位

「データ単位」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。

データ単位
rpm

データ単位を入力します。
データ単位は、半角文字で７文字の長さまで設定できます。

(5) スケーリング値 Y1 を設定する

Y1	Y2	小数点
0.0	100.0	有り

スケーリング値「Y1」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。

Y1	Y2	小数点
0.0	100.0	有り

スケーリング値 Y1 を入力します。
設定可能な値は、-999999～9999999 または -9999.9～99999.9 の範囲の値です。
デフォルトの設定は「0.0」になっています。
スケーリング値 Y2 と同じ値にならないように設定してください。

(6) スケーリング値 Y2 を設定する

Y1	Y2	小数点
0.0	100.0	有り

スケーリング値「Y2」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。

Y1	Y2	小数点
0.0	3000.0	有り

スケーリング値 Y2 を入力します。
設定可能な値は、-999999～9999999 または -9999.9～99999.9 の範囲の値です。
デフォルトの設定は「100.0」になっています。
スケーリング値 Y1 と同じ値にならないように設定してください。

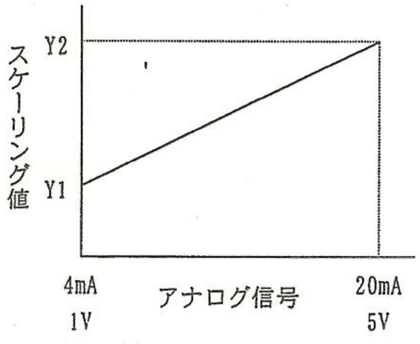
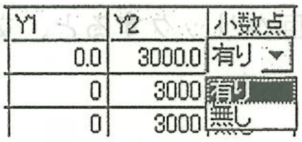


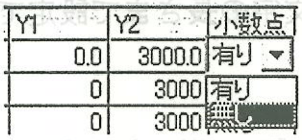
図 5.1-12 アナログ信号とスケーリング値 Y1,Y2 の関係

スケーリング値 Y1,Y2 はアナログ入力ユニットに入力されるアナログ信号を、実際の計測値に換算するための設定値です。Y1 がアナログ信号の最小値（4mA または 1V）、Y2 が最大値（20mA または 5V）に対応します。

アナログ入力ユニットに接続されているセンサやトランスデューサの計測範囲に合わせて、値を設定してください。例えば温度センサが接続されているとして、アナログ信号の 4～20mA に対応するセンサの計測値が-50～150℃だった場合、Y1 と Y2 の値をそれぞれ-50 と 150（または-50.0 と 150.0）に設定してください。

(7) 小数点の有り・無しを設定する





「小数点」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

ボックスをクリックすると、リストが表示します。

[小数点] ボックスのリストから有りまたは無しをクリックします。

デフォルトの設定は「有り」になっています。

小数点を「有り」に設定した場合は、スケーリング値Y1,Y2に小数点以下第１位の値を設定できます。

5.1.8 3系統電流ＷＨ演算ユニット登録（サブ）画面

3系統電流ＷＨ演算ユニットの各入力に対して、接続状態、サブ名称、系統名称の設定を行います。

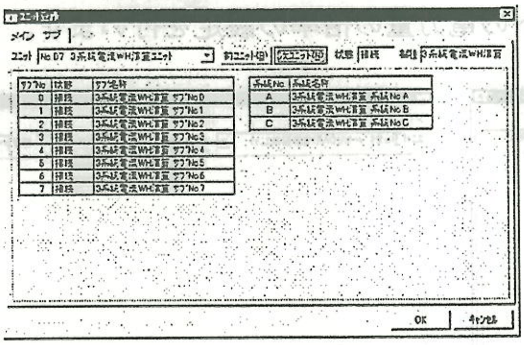
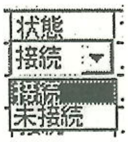


図 5.1-13　3系統電流ＷＨ演算ユニット
登録（サブ）画面

(1) サブ No.の接続状態を設定する



「状態」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

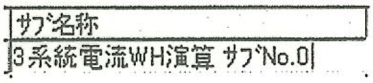
ボックスをクリックすると、リストが表示します。

［状態］ボックスのリストから接続または未接続をクリックします。

デフォルトの設定は「接続」になっています。

(2) サブ名称を設定する

「サブ名称」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。

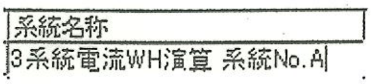


サブ名称を入力します。

サブ名称は、全角文字で 12 文字（半角文字で 24 文字）の長さまで設定できます。

(3) 系統名称を設定する

「サブ名称」列のセルを２回クリックすると、文字入力カーソルが表示します。



サブ名称を入力します。

サブ名称は、全角文字で 12 文字（半角文字で 24 文字）の長さまで設定できます。

5.1.9 メータ形汎用形電源監視ユニット登録（サブ）画面、
メータ形ＤＡ形電源監視ユニット登録（サブ）画面、
収納形　ＤＡ形電源監視ユニット登録（サブ）画面

メータ形汎用形電源監視ユニット、メータ形ＤＡ形電源監視ユニットまたは収納形ＤＡ形電源監視ユニットの電力量の倍率の設定を行います。

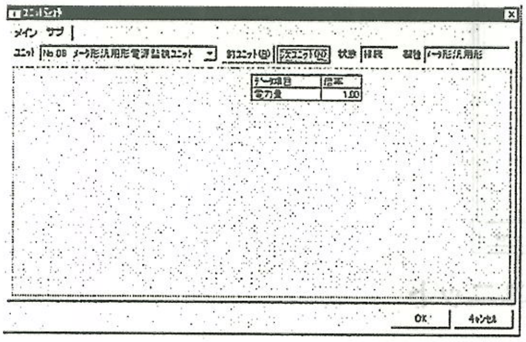


図 5.1-14 メータ形汎用形電源監視ユニット登録（サブ）画面

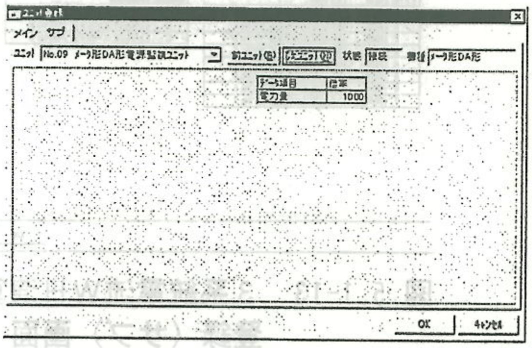


図 5.1-15 メータ形ＤＡ形電源監視ユニット登録（サブ）画面

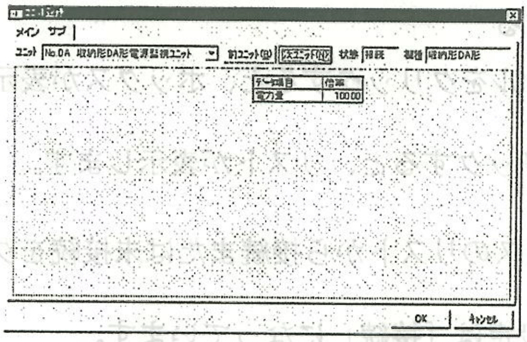


図 5.1-16 収納形ＤＡ形電源監視ユニット登録（サブ）画面

(1) 電力量の倍率を設定する

定時データ計測時やデマンド監視時、電力量のデータを取得するときに、電力量の単位時間当たりのカウント値に掛けられる値のことです。

ﾃﾞｰﾀ項目	倍率
電力量	1.00

電力量の「倍率」列のセルを２回クリックすると、
文字入力カーソルが表示します。

ﾃﾞｰﾀ項目	倍率
電力量	10.00

電力量の倍率を入力します。

設定可能な倍率は、0.01～100.00 の範囲の値です。

デフォルトの設定は「1.00」になっています。

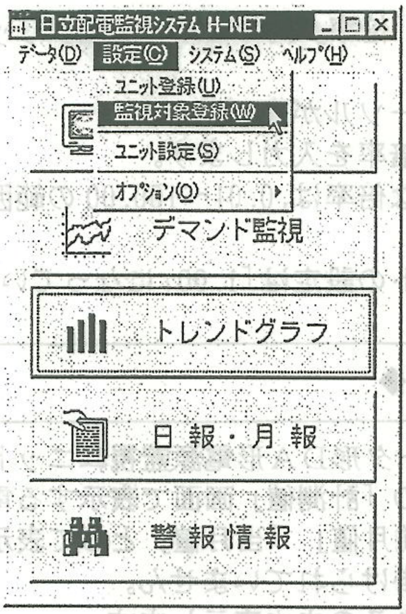
◆ 補　足 ◆

● メータ形汎用形電源監視ユニット、メータ形ＤＡ形電源監視ユニットまたは収納形ＤＡ形電源監視ユニットの「計測値」画面で表示する電力量のカウント値や「月報」画面で「前月値」「当月値」として表示するカウント値には、倍率の設定値は掛けられていません。
ユニットから取得したカウントデータをそのまま表示します。

5.2 監視対象登録

「監視対象登録」画面を表示するには

［設定］メニューの［監視対象登録］コマンドをクリックします。



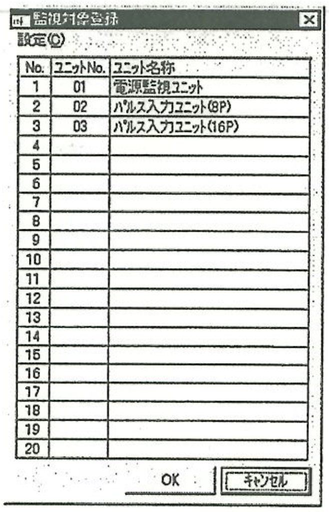


図 5.2-1　監視対象登録画面

5.2.1 状態監視機能

- 「監視対象登録」画面にて指定された最大 20 台までのユニットの入出力接点のデータを順次取得し、状態を比較します。
- 入出力接点の状態が、前回取得したときの状態と比較して変化していた場合を「接点動作」と判断し、その時の状態を記録・保存して「警報情報」画面で表示します。
- 状態監視機能は表示されている画面に関係なく実行されます。定時計測時や計測値画面等の表示時には、それらの処理と交互に通信を行います。
- 入力接点の接点動作時、指定された出力接点を動作させることができます。出力接点の指定は、「出力接点設定」画面で行います。

⚠ 注　意

- データ取得の時間間隔は、監視対象ユニットの登録台数に比例し、台数１台につき約 0.5～１秒の時間を要します。
- 計測値画面等のユニットと通信を行う画面を表示している間や、定時計測処理中は、データの取得間隔が通常時（メニュー画面表示時）の約２倍になります。
- データ取得間隔の間に、入出力接点の状態が変化して元に戻った場合、そのデータは記録されません（変化を検出できません）。

5.2.2 監視対象登録

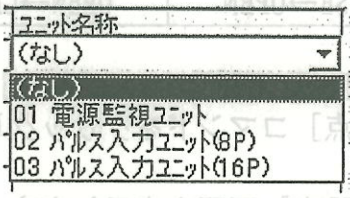
- 状態監視の対象となる接点をユニット単位で設定します。
- 監視対象として設定できるのは、以下のユニットです。

（１）電源監視ユニット（ﾒｰﾀ形及び収納形電源監視ユニットを除きます。）
入出力接点（X1,X2,X3,X4,X5,Y1a,Y2a,Y3b）の状態を監視します。

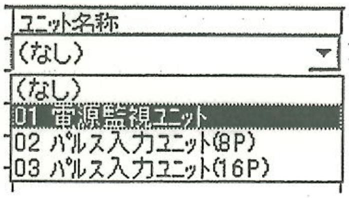
（２）パルス入力ユニット
ON/OFF 入力接点の状態を監視します。（ON/OFF 入力として使用している場合のみ）

- 最大 20 台までのユニットを監視対象として設定することができます。

(1) 監視対象のユニットを設定する

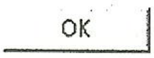


「ユニット名称」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。
ボックスをクリックすると、リストが表示します。



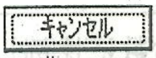
［ユニット名称］ボックスのリストから監視対象として設定するユニットをクリックします。

(2) 監視対象を登録し、終了する



［ＯＫ］ボタンをクリックします。
表示されている設定内容を登録し、「監視対象登録」画面を閉じます。

(3) 監視対象を登録せずに、終了する



［キャンセル］ボタンをクリックします。
表示されている設定内容を登録せずに、「監視対象登録」画面を閉じます。

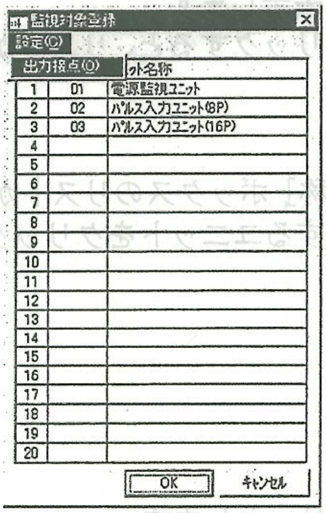
5.2.3 出力接点設定

- 状態監視機能において入力接点の状態に変化があった場合に、動作させる出力接点を設定します。
- 出力接点は各入力接点毎に１点のみを設定可能とします。
- 同一の出力接点が、複数の入力接点に対して設定されている場合は、出力接点の動作条件は各入力の OR となります。従って、複数の入力接点のうちの１点以上が OPEN から CLOSE に変化したときに、出力接点を ON 動作させます。また、全ての入力接点が OPEN に戻ったときに、出力接点を OFF 動作させます。
- 出力接点として設定できるのは、以下のユニットです。

（１）電源監視ユニット（ﾒｰﾀ形及び収納形電源監視ユニットを除きます。）
　　出力接点（Y1a,Y2a,Y3b）を動作させます。

表 5.2-1　入力接点の変化と出力接点の動作

入力接点の変化状態	出力接点の動作		
	動作	Y1a,Y2a の状態	Y3b の状態
OPEN→CLOSE	ON	OPEN→CLOSE	CLOSE→OPEN
CLOSE→OPEN	OFF	CLOSE→OPEN	OPEN→CLOSE



「監視対象登録」画面にて、［設定］メニューの［出力接点］コマンドをクリックします。

［出力接点設定］画面を表示します。

⚠ 注　意

- 本機能は、ブザー、ランプ等の警報用出力としてのみ利用できます。制御には絶対に使用しないでください。

- 入力接点が変化してから出力接点が動作（ON/OFF）するまでの時間は、状態監視機能の登録台数や、表示している画面等の条件により、数秒～数十秒となります。

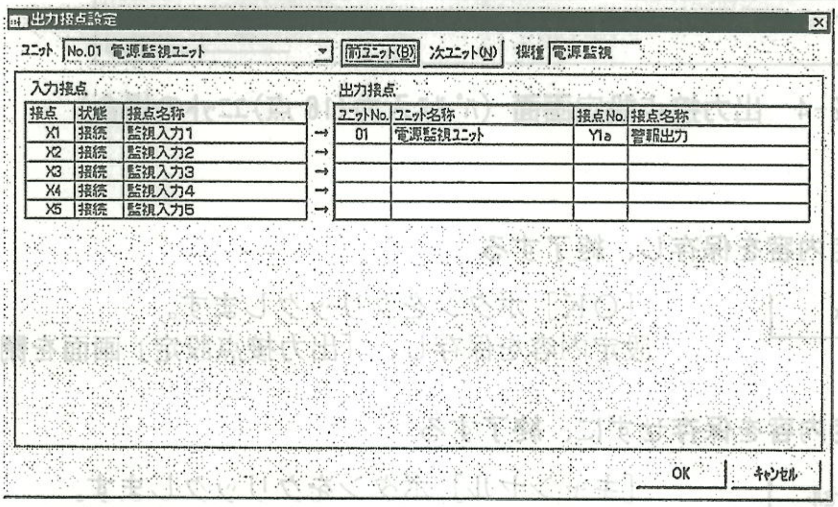


図 5.2-2　出力接点設定画面（電源監視ﾕﾆｯﾄの場合）

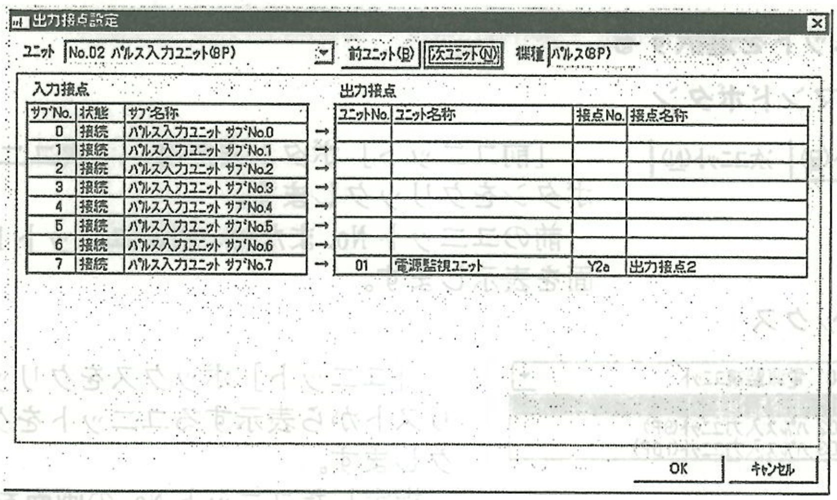


図 5.2-3　出力接点設定画面（ﾊﾟﾙｽ入力(8 点)ﾕﾆｯﾄの場合）

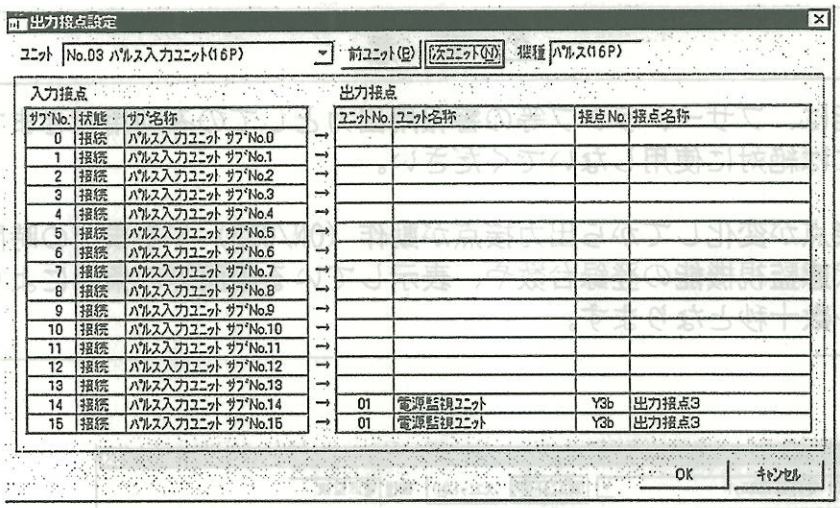
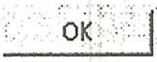


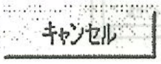
図 5.2-4　出力接点設定画面（パルス入力(16 点)ユニットの場合）

(1) 設定内容を保存し、終了する



［OK］ボタンをクリックします。
設定内容を保存し、「出力接点設定」画面を閉じます。

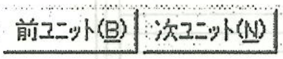
(2) 設定内容を保存せずに、終了する



［キャンセル］ボタンをクリックします。
設定内容を保存せずに、「出力接点設定」画面を閉じます。

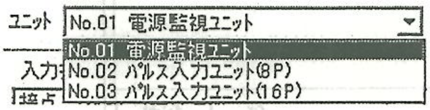
(3) ユニットを選択する

(a) コマンドボタン



［前ユニット］ボタンまたは、［次ユニット］ボタンをクリックします。
前のユニット No. または、次のユニット No. の画面を表示します。

(b) ボックス



［ユニット］ボックスをクリックし、リストから表示するユニットをクリックします。
指定したユニット No. の画面を表示します。

(4) 設定を変更し、画面を切り替える

設定を変更して、表示ユニット切り替えを行うと、確認画面を表示します。

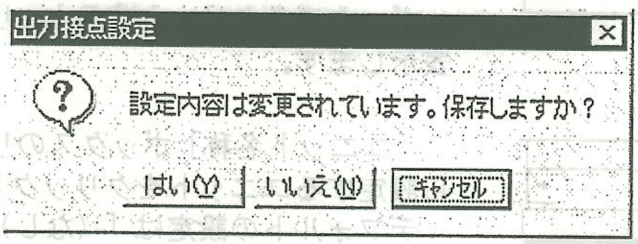
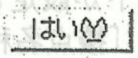


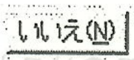
図 5.2-5　設定内容変更確認画面

(a) 設定内容を保存し、画面を切り替える



［はい］ボタンをクリックします。
表示されている設定内容を保存し、画面を切り替えます。

(b) 設定内容を保存せずに、画面を切り替える

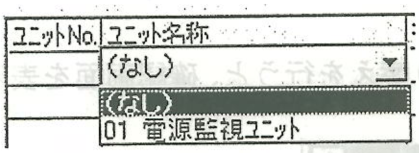


［いいえ］ボタンをクリックします。
表示されている設定内容を保存せずに、画面を切り替えます。

(c) 画面を切り替えない

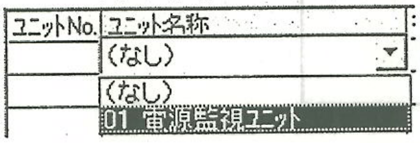
［キャンセル］ボタンをクリックします。
画面は切り替わりません。

(5) 出力ユニットを設定する



出力接点の「ユニット名称」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

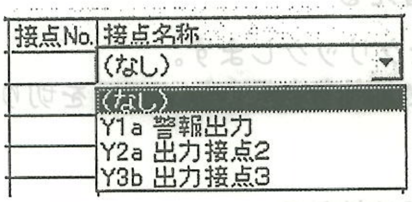
ボックスをクリックすると、リストが表示します。



[ユニット名称] ボックスのリストから設定するユニットをクリックします。

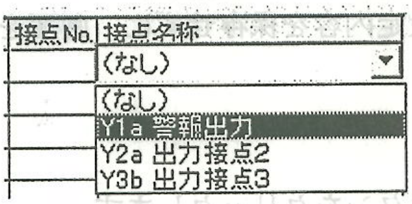
デフォルトの設定は「(なし)」になっています。

(6) 出力接点を設定する



同じ行に出力ユニットが設定されている場合、出力接点の「接点名称」列のセルをクリックすると、ボックスが表示します。

ボックスをクリックすると、リストが表示します。



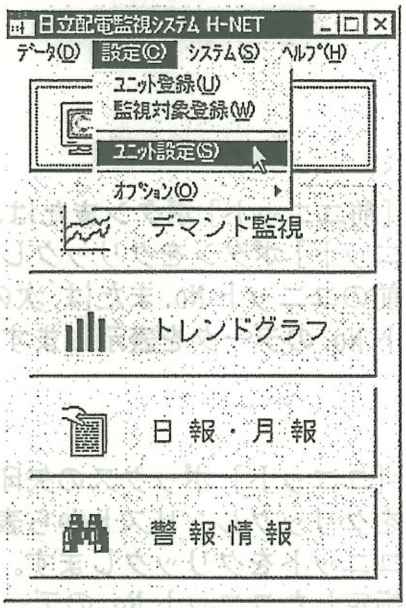
[接点名称] ボックスのリストから設定する出力接点をクリックします。

デフォルトの設定は「(なし)」になっています。

5.3 ユニット設定

「ユニット設定」画面を表示するには

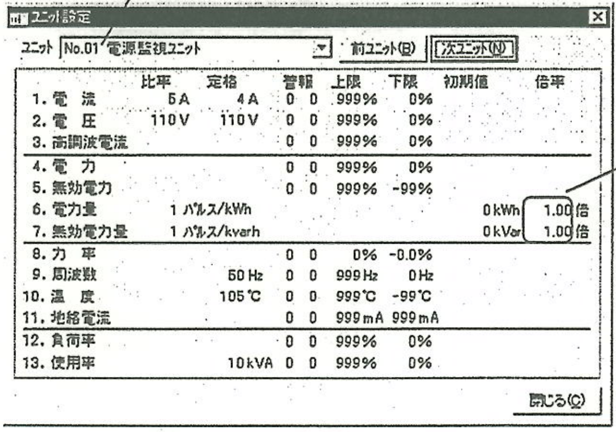
（1）［設定］メニューの［ユニット設定］コマンドをクリックします。



5.3.1 ユニット設定

- 電源監視ユニット（メータ形及び収納形電源監視ユニットを除く）のみの機能です。
- 電源監視ユニットから取得した、設定状態を表示します。
- 通信異常の場合は、データ表示ボックスを黄色で表示します。

「ユニット登録（メイン）」画面で登録したユニット No. と名称

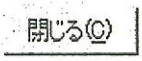


「ユニット登録（サブ）」画面で登録した倍率

図 5.3-1 ユニット設定画面

(1) 閉じる

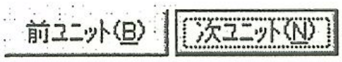
(a) コマンドボタン



［閉じる］ボタンをクリックします。
「ユニット設定」画面を閉じます。

(2) ユニットを選択する

(a) コマンドボタン



［前ユニット］ボタンまたは、［次ユニット］ボタンをクリックします。
前のユニットNo.または、次のユニットNo.のデータを表示します。

(b) ボックス

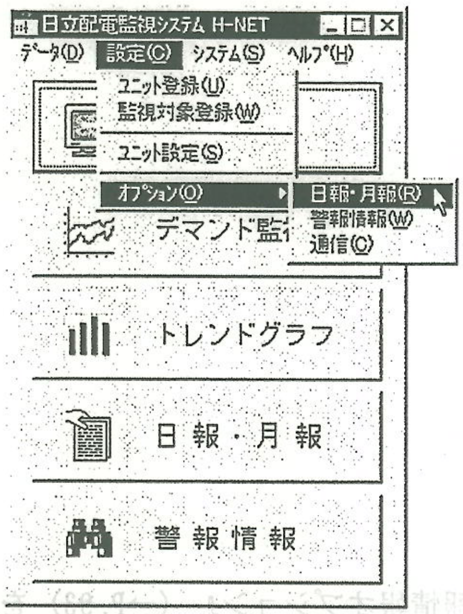
［ユニット］ボックスの矢印の部分をクリックし、リストから表示するユニットをクリックします。
指定したユニットNo.のデータを表示します。

5.4 オプション

5.4.1 日報・月報オプション

「日報・月報－［オプション］」画面を表示するには

［設定］メニューの［オプション］－［日報・月報］コマンドをクリックします。

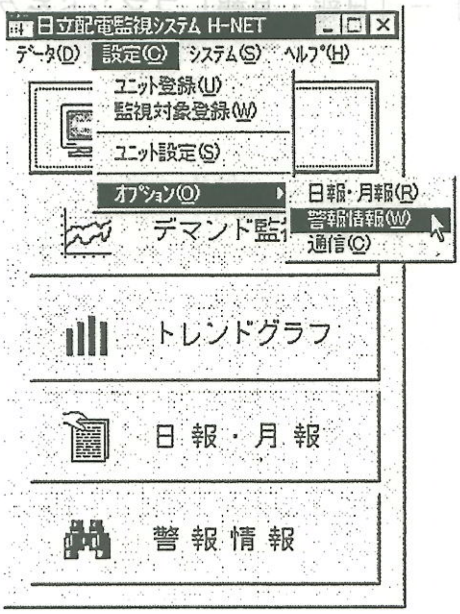


設定方法については、『4.4.2 日報・月報オプション』（→P.55）を参照してください。

5.4.2 警報情報オプション

「警報情報－［オプション］」画面を表示するには

［設定］メニューの［オプション］－［警報情報］コマンドをクリックします。

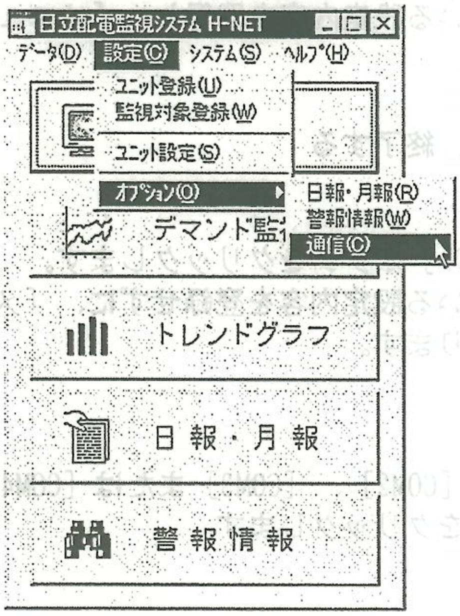


設定方法については、『4.5.4 警報情報オプション』（→P.93）を参照してください。

5.4.3 通信オプション

「通信－［オプション］」画面を表示するには

［設定］メニューの［オプション］－［通信］コマンドをクリックします。



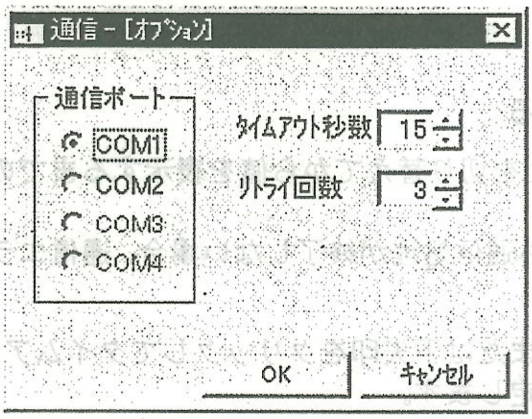
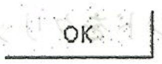


図 5.4-1　通信－［オプション］画面

⚠ 注　意
● 本ソフト起動時に、「COM1 通信ポート」を他のソフトウェアで使用している場合、「通信－[オプション]」画面が表示されますので、「COM1 通信ポート」以外のポートに設定してください。 ● 「計測値」画面などでもデマンド監視や状態監視のための通信を行っていますので、計測値などを表示するまでに時間がかかることがあります。 デマンド監視や状態監視で時間がかかる場合は、通信エラーとなることがありますので、タイムアウト秒数を大きい値に設定してください。

(1) オプションの設定を登録し、終了する

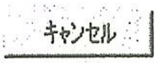
(a) コマンドボタン



［ＯＫ］ボタンをクリックします。
表示されている設定内容を登録し、「メニュー」画面へ戻ります。

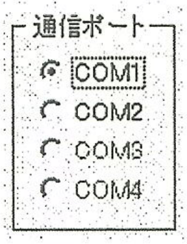
(2) オプションの設定を登録せずに、終了する

(a) コマンドボタン



［キャンセル］ボタンをクリックします。
表示されている設定内容を登録せずに、「メニュー」画面へ戻ります。

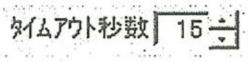
(3) 通信ポートを設定する



［COM1］、［COM2］、［COM3］または［COM4］オプションボタンをクリックします。

(4) タイムアウト秒数を設定する

「計測値」画面などで、画面を切り替えてから値を表示するまでの待ち時間の設定です。
タイムアウト秒数を超えても通信処理が終了しない場合、通信エラー表示となります。



上矢印または下矢印をクリックしてタイムアウト秒数を設定します。
あるいは、［タイムアウト秒数］ボックスをクリックして、直接秒数を入力します。
設定可能な秒数は、((リトライ回数＋1)×3)＋3～60 の範囲の値です。

(5) リトライ回数を設定する

ユニットとの通信が正常に行われなかった場合、再度通信を行う回数の設定です。
リトライ回数＋１回分通信を行っても正常データを取得できなかった場合、通信エラーと判断します。
ユニットとの通信時、応答が返ってくるまでに待つ時間は、１秒です。

上矢印または下矢印をクリックしてリトライ回数を設定します。
あるいは、［リトライ回数］ボックスをクリックして、直接回数を入力します。
設定可能な回数は、3～9 の範囲の値です。

6 トラブルシューティング

「DE-SW」で発生する問題の原因を突き止め、問題を解決する手順を示します。

どのような問題がありますか？
以下の内容を確認してください。

内容	参照場所
● 「DE-SW」をインストールできない。	6.1 (P.132)
● 「DE-SW」を起動できない。	6.2 (P.132)
● 「DE-SW」の動作が不安定。	6.3 (P.133)
● ユニットとの通信時に通信エラーが発生する。	6.4 (P.133)
● アドレスSWの確認	6.4.1 (P.133)
● ユニット電源の確認	6.4.2 (P.134)
● RS-485 通信ケーブルの確認	6.4.3 (P.134)
● I/F ユニット、リピータの確認	6.4.4 (P.134)
● RS-232C 通信ケーブルの確認	6.4.5 (P.134)
● 通信ポートの確認	6.4.6 (P.135)
● ユニット登録の確認	6.4.7 (P.135)
● リトライ回数、タイムアウト秒数の確認	6.4.8 (P.135)
● 「日報」「月報」「警報情報」が正常に印刷できない。	6.5 (P.136)
● 「日報」「月報」「警報情報」を印刷できない。	6.5.1 (P.136)
● 「日報」の自動印刷ができない。	6.5.2 (P.137)
● 「日報」「月報」が正常に保存できない。	6.6 (P.137)
● 「日報」「月報」が正常に保存できない。	6.6.1 (P.137～138)
● 「日報」の自動保存ができない。	6.6.2 (P.138)
● 日報・月報のデータが異常な値となる。	6.7 (P.138)
● 「日報」「月報」のデータが抜ける。	6.7.1 (P.138～139)
● 「日報」「月報」のフォーマットが異常。	6.7.2 (P.139)

6.1 「DE-SW」をインストールできない。

以下の内容を確認の上、もう一度インストールしてください。

(1) 以前に「DE-SW」をインストールしたことがありますか？

以前にインストールしたことがある場合は、Windows の画面から、[スタート] − [設定] − [コントロールパネル] − [アプリケーションの追加と削除] を選択し、「日立配電監視システム」を削除してください。

(2) 「DE-SW」をインストールするディレクトリと同名のディレクトリが存在しますか？

既に同名のディレクトリが存在する場合は、「DE-SW」をインストールするディレクトリを変更してください。
デフォルトでは、「¥Program Files¥H-NET」になっています。

(3) インストールに必要なだけのディスクの空き領域がありますか？

ディスクの空き領域が足りない場合、「ディスクの空き容量が足りません。」というメッセージと「必要な容量」「空き容量」「不足な容量」が表示されますので、表示された「不足な容量」をディスク上にさらに確保してください。
空き容量を増やすには、不要なファイルを削除する、ごみ箱を空にする等の操作を行ってください。

(4) フロッピーディスクドライブ（ＦＤＤ）にセットアップディスクはセットされていますか？

セットされていない場合は、セットアップディスクをＦＤＤにセットしてください。

(5) セットアップディスクの順番は合っていますか？

セットアップディスクを正しい順番でＦＤＤにセットしてください。

6.2 「DE-SW」を起動できない。

以下の内容を確認の上、もう一度起動してください。

(1) 起動に必要なだけのディスクの空き領域がありますか？

ディスクの空き領域が足りない場合、「ディスクの空き容量が足りません。(xxxxxx) KB」というメッセージが表示されますので、表示された分の空き容量をディスク上にさらに確保してください。
空き容量を増やすには、不要なファイルを削除する、ごみ箱を空にする等の操作を行ってください。

6.3 「DE-SW」の動作が不安定。

以下の内容を確認の上、もう一度起動してください。

(1) 動作に必要なだけのメモリ容量がありますか？

「DE-SW」を単独で動作させるのに32 Mバイト以上のメモリ容量が必要です。
プリンタドライバおよび日本語入力システムを含む他のソフトウェアを動作させる場合は、それらに必要な分のメモリを追加してください。

6.4 「計測値」「入出力接点」「上下限超過回数」「ユニット設定」画面にて、通信エラーが発生する。

以下の内容を確認してください。

6.4.1 ユニットのアドレスSWのNo.を確認してください。

(1) 表示しているユニットNo.とユニットのアドレスSWのNo.は合っていますか？

合っていない場合は、表示しているユニットNo.とユニットのアドレスSWのNo.を合わせて設定してください。

(2) 表示しているユニットNo.が複数のユニットに設定されていませんか？

複数のユニットに設定されている場合は、1台のユニットにのみ設定しなおしてください。

(3) 電源監視ユニットが接続されていますか？

電源監視ユニット（メータ形及び収納形電源監視ユニットを除く）は、電源投入時のアドレスSW No.が有効となりますので、アドレスの変更後に、電源再投入またはハードリセットを行ってください。

(4) パルス入力ユニットまたはWH演算ユニットが接続されていますか？

パルス入力ユニットまたはWH演算ユニットは、電源を切ってから再び投入した場合、「電源監視ユニットフォーマット」で通信を行い、監視点数分のアドレスを専有しますので、電源投入後に、「計測値」画面表示で先頭アドレスから順次表示してください。

6.4.2 ユニットの電源を確認してください。

(1) ユニットの電源表示ランプ（POW）は点灯していますか？

消灯している場合でかつ電源が入っていない場合は、電源を投入してください。
消灯している場合でかつ電源が入っている場合は、ユニットに何らかの問題があると考えられます。ユニットの取扱説明書に記載されている「異常時の対処方法」に従ってください。

6.4.3 RS-485 通信ケーブルを確認してください。

(1) ユニットから I/F ユニットの間の RS-485 通信ケーブルは正しく接続されていますか？

RS-485 通信ケーブルの仕様、極性、分岐、断線等を確認し、正しく接続してください。

(2) ユニットの接続台数は、31 台を超えていませんか？

31 台を超えている場合は、リピータを接続してください。

(3) 通信距離は、1.2Km を超えていませんか？

1.2Km を超えている場合は、リピータを接続してください。

6.4.4 I/F ユニット、リピータを確認してください。

(1) I/F ユニットの電源は入っていますか？

入っていない場合は、電源を投入してください。

(2) リピータの電源は入っていますか？

入っていない場合は、電源を投入してください。

6.4.5 RS-232C 通信ケーブルを確認してください。

(1) I/F ユニットからパソコンの間の RS-232C 通信ケーブルは正しく接続されていますか？

RS-232C 通信ケーブルの仕様、断線等を確認し、正しく接続してください。

6.4.6 RS-232C通信ポートを確認してください。

(1) RS-232C通信ケーブルを接続している通信ポートが使用可能ですか？

使用不可能または他のプログラムで使用している場合は、RS-232C通信ケーブルを他の通信ポートに接続しなおし、［オプション］－［通信］画面にて、「通信ポート」を変更してください。

(2) RS-232C通信ケーブルを接続している通信ポートと［オプション］－［通信］画面にて設定した「通信ポート」は合っていますか？

合っていない場合は、［オプション］－［通信］画面にて、「通信ポート」を合わせて設定してください。

6.4.7 「ユニット登録」の設定内容を確認してください。

(1) ［ユニット登録］－［メイン］画面にて設定されている「状態」と実際のユニットの接続状態は合っていますか？

実際にユニットを接続していない場合は、［ユニット登録］－［メイン］画面にて、「状態」を「未接続」に設定してください。

(2) ［ユニット登録］－［メイン］画面にて設定されている「ユニット機種」と実際に接続しているユニットの機種は合っていますか？

合っていない場合は、実際に接続しているユニットの機種に合わせて［ユニット登録］－［メイン］画面にて、「ユニット機種」を設定してください。

6.4.8 リトライ回数、タイムアウト秒数を確認してください。

(1) 以上の対策で通信エラーは発生しなくなりましたか？

通信エラーが改善されない場合は、ノイズによる誤受信等の原因が考えられますので、［オプション］－［通信］画面にて、「リトライ回数」や「タイムアウト秒数」を大きい値に設定してください。

6.5 「日報」「月報」「警報情報」が正常に印刷できない。

どのような問題がありますか？

6.5.1 「日報」「月報」「警報情報」を印刷できない。

以下の内容を確認の上、もう一度印刷してください。

(1) パソコンとプリンタの間のケーブルは接続されていますか？

接続されていない場合は、一旦プリンタの電源を切ってからケーブルを接続し、電源を再投入してください。

(2) プリンタの電源は入っていますか？

入っていない場合は、プリンタの電源を投入してください。

(3) プリンタに用紙はセットされていますか？

セットされていない場合は、用紙をセットしてください。

(4) [日報・月報] − [印刷] または [警報情報] − [印刷] 画面に表示している「使用するプリンタ」の機種と、実際に接続しているプリンタの機種は合っていますか？

合っていない場合は、一旦「DE-SW」を終了し、Windows の画面から [スタート] − [設定] − [プリンタ] を選択し、実際に接続しているプリンタを「通常使うプリンタ」に設定し、「DE-SW」を再起動してください。

(5) パソコン BIOS 設定のプリンタ出力の設定内容（双方向(Bidirectional)通信の可否）と、プリンタドライバの双方向通信の設定内容は合っていますか？

合っていない場合は、一旦「DE-SW」を終了し、パソコンのセットアップメニューを起動し、プリンタの双方向通信の設定をプリンタドライバの設定に合わせて、「DE-SW」を再起動してください。

(6) [日報・月報] − [印刷] または [警報情報] − [印刷] 画面にて設定した「用紙サイズ」と、プリンタにセットしている用紙のサイズは合っていますか？

合っていない場合は、プリンタにセットしている用紙のサイズに合わせて、「用紙サイズ」を設定してください。

6.5.2 「日報」の自動印刷ができない。

6.5.1 の(1)～(5)の内容を確認してください。

さらに［日報・月報］－［オプション］－［日報の自動印刷］画面にて、以下の内容を確認してください。

(1) 「日報の自動印刷」は「する」に設定されていますか？

「しない」に設定されている場合は、「する」に設定してください。

(2) 「用紙サイズ」と、プリンタにセットしている用紙のサイズは合っていますか？

合っていない場合は、プリンタにセットしている用紙のサイズに合わせて、「用紙サイズ」を設定してください。

6.6 「日報」「月報」が正常に保存できない。

どのような問題がありますか？

6.6.1 「日報」「月報」が正常に保存できない。

以下の内容を確認の上、もう一度保存してください。

(1) ＦＤに保存する場合、ＦＤＤにＦＤがセットされていますか？

セットされていない場合は、ＦＤＤにＦＤをセットしてください。

(2) ＦＤに保存する場合、ＦＤはフォーマットされていますか？

フォーマットされていない場合は、ＦＤをフォーマットしてください。

(3) ネットワークドライブに保存する場合、保存先のディスクにドライブは割り当てられていますか？

ドライブが割り当てられていない場合は、保存先のドライブのボックスにそのドライブ名が表示されません。ドライブの割り当てを行ってください。
ドライブの割り当て方法については、使用するＯＳやネットワークＯＳのマニュアルをご覧ください。

(4) ネットワークドライブに保存する場合、そのドライブに対して「書き込み可能」のアクセス権が与えられていますか？

アクセス権が「読み取り専用」等に設定されている場合は、ネットワークドライブに対してデータの書き込みが行えません。アクセス権の設定を「書き込み可能」に変更してください。
アクセス権の設定方法については、使用するＯＳやネットワークＯＳのマニュアルをご覧ください。

(5) 保存先のドライブ、ディレクトリに保存に必要なだけの空き領域がありますか？

空き領域が足りない場合は、空き領域を確保してください。

(6) [日報・月報] ー [保存] 画面にて、「保存先」のドライブ、ディレクトリは正しく設定されていますか？

実際の保存先に合わせて設定してください。

6.6.2 「日報」の自動保存ができない。

6.6.1の(1)～(5)の内容を確認してください。

さらに [日報・月報] ー [オプション] ー [日報の自動保存] 画面にて、以下の内容を確認してください。

(1) 「日報の自動保存」は「する」に設定されていますか？

「しない」に設定されている場合は、「する」に設定してください。

(2) 「保存先」のドライブ、ディレクトリは正しく設定されていますか？

実際の保存先に合わせて設定してください。

6.7 日報・月報のデータが異常な値となる。

どのような問題がありますか？

6.7.1 「日報」「月報」のデータが抜ける。

以下の内容を確認してください。

(1) 「計測値」画面にて、通信エラーは発生していますか？

発生している場合は、6.4を参照して、通信エラーの原因を排除してください。

(2) 「DE-SW」を終了していませんでしたか？

「DE-SW」を終了しますと、計測データの取得等の通信処理も停止しますので、日報・月報の作成は行われません。

(3) パソコンが停止（サスペンド）状態になっていませんでしたか？

パソコン本体等に付属している省電力機能等により、一定時間キー入力がない場合にパソコンが停止状態になってしまうことがあります。その場合、本ソフトの動作も停止しますので、定時計測等の処理が行われません。停止状態の原因となる省電力機能等を解除し、パソコンが停止状態にならないようにしてください。
また、ノートパソコン等をご使用の場合、ディスプレイ部分を閉じると停止状態になってしまう場合があります。ディスプレイ部分は閉じないでください。
省電力機能等の解除方法については、パソコン本体や省電力ソフト等のマニュアルをご覧ください。

(4) ［日報］または［月報］画面にて、「ユニットNo.」および「データ項目」は正しく表示されていますか？

［日報］または［月報］－［フォーマット］画面にて、「ユニットNo.」および「データ項目」を正しく設定してください。
「（空欄）」に設定した場合は、データを表示しません。

6.7.2 「日報」「月報」のフォーマットが異常。

以下の内容を確認してください。

(1) ［日報・月報］－［オプション］－［その他］画面にて、「日報・月報のフォーマット設定」はどのような設定になっていますか？

「共通にする」に設定した場合は、日報のフォーマットで月報も表示します。
「共通にしない」に設定した場合は、日報と月報で異なるフォーマットの設定が可能です。
設定したいフォーマットの内容に合わせて「共通にする」または「共通にしない」を選択してください。

(2) 「ユニット登録」はどのような設定になっていますか？

［ユニット登録］－［メイン］画面にて、「ユニット名称」を、［ユニット登録］－［サブ］画面にて、「サブ名称」「データ項目」「データ単位」を設定してください。

(3) 「ユニット登録」画面にて、「ユニット名称」「サブ名称」「データ項目」が半角文字の連続する内容で設定されていませんか？

半角文字の連続する内容の場合は、「日報」または「月報」画面での表示の際に、設定内容の一部しか表示されない場合があります。
設定内容の7～8文字目ごとに半角スペース文字を入れてください。半角スペース文字の位置で改行して表示されます。

7 資料

7.1 データファイル

表 7.1-1　データファイル一覧

No.	ファイル名	内　容	容量(byte)	備考
1	yyyymmdd.DAT	日報データファイル	1,621,400 ×33	注1
2	yyyymm.DAT	月報データファイル	982,762 ×26	注1
3	yyyymmddW.DAT	日報の天候情報・コメント情報設定ファイル	320 ×0～32	注2
4	yyyymmW.DAT	月報のコメント情報設定ファイル	320 ×0～24	注2
5	DMTARGET.DAT	デマンド監視設定ファイル	17	
6	DEMAND.DAT	デマンド監視データファイル	638	
7	GRAPHMAX.DAT	トレンドグラフ縦軸設定ファイル	247,808	
8	FORMAT.DAT	日報・月報フォーマット設定ファイル	15,000	
9	RPOPTION.DAT	日報・月報オプション設定ファイル	359	
10	STAMP.DAT	検印欄設定ファイル	52	
11	WARNINFO.DAT	警報情報ファイル（最大1000件）	76,004	
12	WNOPTION.DAT	警報情報オプション設定ファイル	13	
13	UNITINFO.DAT	ユニット登録設定ファイル	125,114	
14	WATCH.DAT	監視対象登録設定ファイル	20	
15	OUTPUT.DAT	出力接点設定ファイル	3,872	
16	CMOPTION.DAT	通信オプション設定ファイル	6	
17	SUMDATE.DAT	日報最終集計日付データファイル	6	
18	REQUEST.DAT	データ送信要求ファイル	9	
19	RESPONSE.DAT	データ送信応答ファイル	324	
20	TASKBUSY.DAT	要求／応答フラグファイル	42	
		合計	79,527,296 ～ 79,545,216	注3

yyyy：西暦年号4桁
mm　：月2桁
dd　：日2桁

注1：パソコンの内臓時計を基準に、月／日が変わると、自動的に古いファイルを消去し、新しいファイルが生成されます。
注2：日報または月報の天候情報またはコメント情報が設定された分だけファイルを作成します。
注3：実際に必要となるディスクの容量は、クラスタのサイズにより、ファイルの合計容量よりも若干大きくなります。

索引

あ

インストール前の準備 ………… 13
オプション ………………… 127
　警報情報オプション …… 93,128
　通信オプション ………… 129
　日報・月報オプション … 55,127

か

各画面の注意 ……………… 21
画面構成 …………………… 10
監視対象登録 ……………… 2,118
　出力接点設定 …………… 120
　状態監視機能 …………… 118
機能概要 …………………… 1
基本操作 …………………… 5
計測値 ……………………… 1,26
警報情報 …………………… 2,86
　警報情報オプション …… 93,128
　データ印刷 ……………… 91
　データ削除 ……………… 90

さ

システム環境 ……………… 11
システム構成 ……………… 12
上下限超過回数 …………… 2,98
ソフトウェアのインストール … 14
ソフトウェアの起動 ……… 16
ソフトウェアの終了 ……… 17

た

立ち上げ後の設定 ………… 19
データファイル …………… 140
デマンド監視 ……………… 1,29
　デマンド監視設定 ……… 32
トラブルシューティング … 131
トレンドグラフ …………… 1,36
　縦軸の設定 ……………… 41
　データの表示 …………… 43

な

日報・月報 ………………… 3,44
　データ印刷 ……………… 74
　データ修正 ……………… 71
　データ保存 ……………… 79
　日報・月報オプション … 55,127
　フォーマット設定 ……… 68
入出力接点 ………………… 2,95

は

バージョン情報 …………… 18
表記規則 …………………… 4
本ソフトの時間的な動作 … 22

ま

メニュー …………………… 23
　コマンドボタン ………… 25
　メニューバー …………… 23

や

ユニット設定 ……………… 3,125
ユニット登録 ……………… 101
　ユニット登録（サブ）画面 … 106
　ユニット登録（メイン）画面 … 104

ら

わ

ゆき届いたサービスネットワーク

日立では、つぎのサービスステーションを中心に、ゆき届いた保守・サービス活動を行っています。

株式会社日立東サービスエンジニアリング

(本社) 〒135-8422 東京都江東区福住 1-13-12 (03)3643-1111 (代) FAX(03)3643-2257

北海道	北海道サービスステーション 〒063-0814 札幌市西区琴似四条 1-1-1 (011)611-4121 FAX(011)642-2740		
東　北	八戸サービスステーション 〒031-0071 八戸市沼館 1-13-96 (0178)41-2711 FAX(0178)41-2718	東北サービスステーション 〒985-0843 多賀城市明月 2-3-2 (022)364-4121 FAX(022)364-4126	
	秋田サービスステーション 〒010-0816 秋田市泉字道田 24-2 (018)865-6771 FAX(018)865-7303	郡山サービスステーション 〒963-8071 郡山市富久山町久保田字前田 83 (024)923-7256 FAX(024)923-1979	
関甲越	新潟サービスステーション 〒950-0892 新潟市寺山 2-1-5 (025)274-6914 FAX(025)274-6910	茨城サービスステーション 〒312-0033 ひたちなか市市毛 1103-2 (029)273-7424 FAX(029)273-7354	高崎サービスステーション 〒370-0033 高崎市中大類町 410-1 (027)353-1132 FAX(027)352-7932
	栃木サービスステーション 〒323-0808 小山市出井 1201-4 小山第 3 工業団地内 (0285)25-3536 FAX(0285)25-1438	筑波サービスステーション 〒300-0066 土浦市大字虫掛 3476-2 (0298)26-5851 FAX(0298)26-5861	甲信サービスステーション 〒391-0001 茅野市ちの葛井 328-7 (0266)72-5581 FAX(0266)72-5878
首都圏	東京サービスステーション 〒275-0024 習志野市茜浜 3-1-2 (047)451-3111 FAX(047)451-3129	埼玉サービスステーション 〒363-0002 桶川市赤堀 1-35 (048)728-8521 FAX(048)728-8531	新横浜サービスステーション 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-15-1 新横浜中村ビル 2F (045)474-2511 FAX(045)474-2517
	西東京サービスステーション 〒203-0042 東久留米市八幡町 2-14-7 (0424)76-3881 FAX(0424)76-3884	横浜サービスステーション 〒252-1125 綾瀬市吉岡東 4-10-5 (0467)76-5511 FAX(0467)76-7472	沼津サービスステーション 〒410-0022 沼津市大岡 2883-1 (0559)21-2393 FAX(0559)23-2311

株式会社日立西サービスエンジニアリング

(本社) 〒531-0061 大阪市北区長柄西 1-7-31 (06)6358-1551〜4 FAX(06)6358-2117

北　陸	北陸サービスステーション 〒930-0887 富山市五福莇骨 5518 (076)441-3361 FAX(076)433-6984		
中　部	静岡サービスステーション 〒422-8007 静岡市聖一色 79-3 (054)262-4796 FAX(054)262-4148	中部サービスステーション 〒481-8544 愛知県西春日井郡西春町大字鍛治ヶ一色字端須賀 19 (0568)25-6114 FAX(0568)25-5536	豊田サービスステーション 〒471-0842 豊田市土橋町 4-67-2 豊田日立ビル 2F (0565)29-7823 FAX(0565)28-6321
近　畿	滋賀サービスステーション 〒521-1341 滋賀県蒲生郡安土町大字上豊浦字西才行 950-1 (0748)46-6606 FAX(0748)46-6616	東大阪サービスステーション 〒571-0015 門真市大字三ッ島 1472-1 (0720)83-2215 FAX(0720)85-1391	姫路サービスステーション 〒672-8078 姫路市飾磨区英賀東浜甲 1958-9 (0792)34-9571 FAX(0792)34-9573
	京都サービスステーション 〒600-8898 京都市下京区西七条東御前田町 15-1 (075)311-1081 FAX(075)312-7175	奈良サービスステーション 〒639-1007 大和郡山市南郡山町 326-1 (0743)55-1994 FAX(0743)55-1996	
	大阪サービスステーション 〒531-0061 大阪市北区長柄西 1-7-31 (06)6358-1201 FAX(06)6358-0621	神戸サービスステーション 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通 4-2-34 (078)681-3811 FAX(078)681-6852	
中　国	岡山サービスステーション 〒702-8022 岡山市福成 2-15-26 (086)263-3022 FAX(086)263-7285	山陰サービスステーション 〒692-0000 安来市西恵乃島町 837-53 (0854)22-5552 FAX(0854)23-2673	
	中国サービスステーション 〒735-0029 広島県安芸郡府中町茂陰 1-9-20 (082)282-8111 FAX(082)285-7151	山口サービスステーション 〒747-0822 防府市勝間 3-9-17 (0835)23-7705 FAX(0835)23-7706	
四　国	四国サービスステーション 〒761-8012 高松市香西本町 142-5 (087)882-1212 FAX(087)881-0072	松山サービスステーション 〒790-0053 松山市竹原 2-2-15 (089)931・8788 FAX(089)931-8789	
九　州	九州サービスステーション 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭 5-9-26 (092)651-0131 FAX(092)651-0136	大分中津サービスステーション 〒871-0043 中津市栄町 1-586-10 (0979)22-3634 FAX(0979)22-3642	
	北九州サービスステーション 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町 92-12 (093)582-1175 FAX(093)582-5148	南九州サービスステーション 〒891-0113 鹿児島市東谷山 7-1-3 (099)260-2818 FAX(099)269-7232	

株式会社　日立製作所　産業機器グループ

営業統括本部

〒101-8010 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地（日立本社ビル）TEL(03)3258-1111(大代)

北海道支社	(011)221-6945(ダイヤルイン)	北陸支社	(076)263-3251(ダイヤルイン)	中国支社	(082)223-4111(代)
東北支社	(022)223-0528(ダイヤルイン)	中部支社	(052)243-3111(大代)	四国支社	(087)831-2111(代)
横浜支社	(045)451-5012(ダイヤルイン)	関西支社	(06)6616-1111(大代)	九州支社	(092)852-1111(代)